

令和5年度 施策・事務事業評価表

〔第七期帯広市総合計画〕

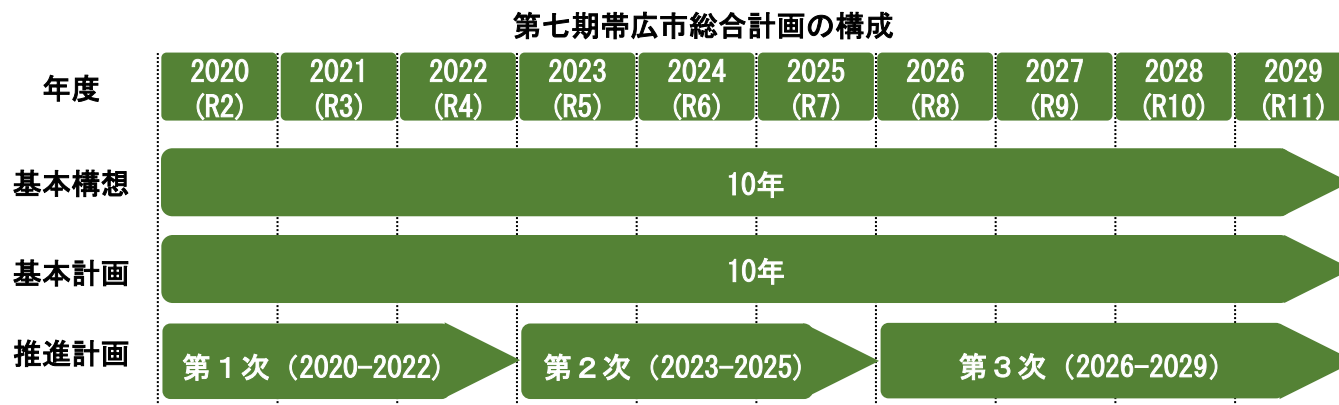
令和6年9月
帯 広 市

目 次

1. 第七期帯広市総合計画について	1	施策11	つなげて広げるビジネスチャンス	49
2. 総合計画推進の考え方について	1	施策12	未来を拓くこどもをともに育む	53
（1）第七期総合計画のPDCAサイクル	1	施策13	いつまでも学んで面白い	57
（2）施策・事務事業評価	1	施策14	潤いのある暮らしと地域をつくる	61
3. 第七期帯広市総合計画の体系図	2	施策15	スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	65
4. 評価年度	3	施策16	地球のために今、行動する	69
5. 評価表の見方	3	施策17	「まさか」に備え今、行動する	73
（1）施策評価表	3	施策18	とかちで守るみんなの安心	77
（2）事務事業評価表	6	施策19	みんなでつくる笑顔と安全	81
6. 施策評価結果の概要	7	施策20	未来につなぐ、おいしい水	85
		施策21	未来につなぐ、住みよいまち	89
		施策22	認め合い、つながり、暮らす	93
		施策23	未来に夢をつなぐ	97
■ 施策評価表				
施策1	健康なからだところをつくる	9		
施策2	笑顔でつなぐ、みんなの子育て	13		
施策3	たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	17		
施策4	ずーっと生き活きと暮らす	21		
施策5	個性はみんなのたからもの	25		
施策6	医療を身近に安心な暮らしをつくる	29		
施策7	誰もが安心できる暮らしの支えになる	33		
施策8	世界に冠たる十勝農業を創る	37		
施策9	「とかちのかち」を創り続ける	41		
施策10	アウトドアの聖地にする	45		
■ 事務事業評価表				
施策1～施策23				101

1. 第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。



2. 総合計画推進の考え方について

(1) 第七期総合計画のPDCAサイクル

第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくPDCAサイクルのもと推進します。

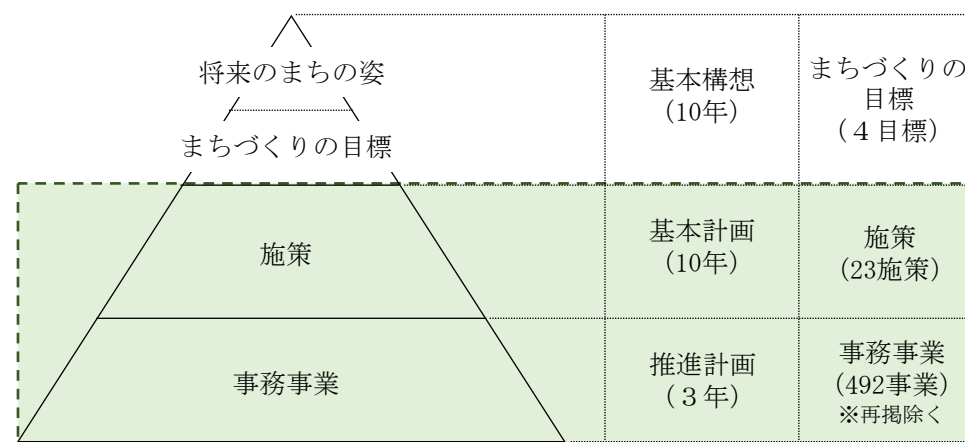
(2) 施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という3つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況の評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。

総合計画と施策・事務事業評価



3. 第七期帯広市総合計画の体系図



4. 評価年度

本評価表は、令和5年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

5. 評価表の見方

(1) 施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ事務事業の進捗状況」、市民と市と一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の3区分で判定します。

①「Ⅰ事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

○進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く)に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数(目標設定をしていない事務事業)の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A ≥ 80%	80% > A ≥ 60%	60% > A
40点	30点	25点

例)

$$\left[\frac{3(\text{目標を達成できた事務事業数}) + 4(\text{事業を実施した事務事業数})}{10(\text{施策の全事務事業数})} \right] \times 100 = 70\% = 30\text{点}$$

施策評価表 (Ⅰ事務事業の進捗状況)


施策1 健康なからだところをつくる
—健康づくりの推進—


目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。


Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 70.0% :
40点
30点
25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。



市民への運動支援の様子

②「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」

目指そう指標の動向や結果に対する要因分析を記載しています。
 なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

○進捗率の算出・点数化の方法

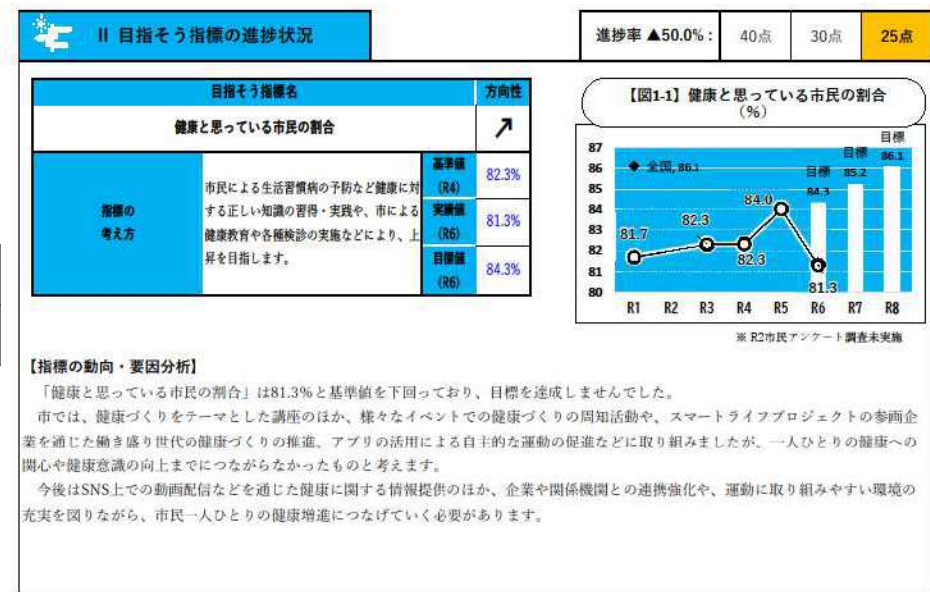
目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 100\%$	$100\% > A \geq 90\%$	$90\% > A$
40点	30点	25点

例) $[81.3\% (\text{評価年度の実績値}) - 82.3\% (\text{基準値})] /$

$[84.3\% (\text{目標値}) - 82.3\% (\text{基準値})] \times 100 = \blacktriangle 50\% = 25\text{点}$

施策評価表 （Ⅱ 目指そう指標の進捗状況）



※ 各指標で定めた基準年から4年後に到達すべき目標を設定し、評価年度の目標に対する達成状況やその要因等を記載しています。

※ 全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。
また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	—
3	策定時より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 80\%$	$80\% > A \geq 60\%$	$60\% > A$
20点	15点	10点

例) $[4(2点 \times 2つ) + (0点 \times 1つ)] / 15$ (データ数3つ×最高得点5点) $\times 100 = 26.7\% = 10点$

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

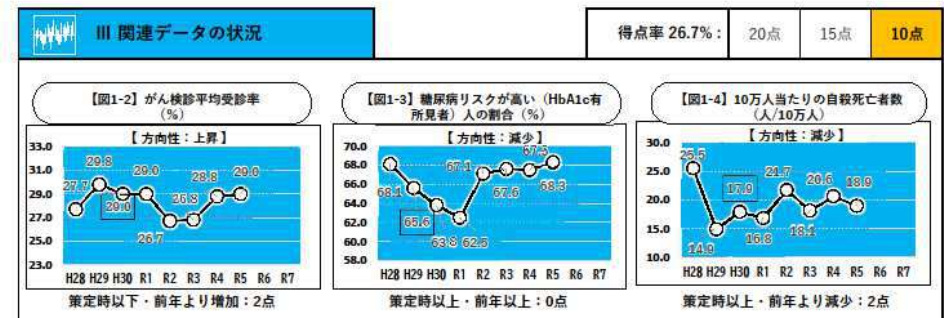
「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

例) ①30点+②25点+③10点=65点

施策評価の判定結果はさらなる進捗が必要

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			概ね順調に進んでいる			さらなる進捗が必要		

施策評価表 (Ⅲ関連データの状況)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。
※口で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

※ 統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

施策評価表 (Ⅳ施策評価)

Ⅳ 施策評価	さらなる進捗が必要 (Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 65点 / 100点)
市民の主体的な健康づくりに向け、LINEによる健康体操動画配信のほか、歩数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、目標値に及びませんでした。 今後も医療機関や企業等と連携して、対面での健康講座を継続しながら、SNSを活用した動画配信などにも取り組み、運動を行いやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。 健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発のほか、保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c 6.5以上者の割合【図1-3】」は増加しています。 今後も有所見者の推移を注視しながら、健康講座の開催や対象者への個別面談の実施などを通じ、生活習慣の改善や糖尿病の発症、重症化予防につなげていく必要があります。 また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も、アプリを活用した効果的な周知啓発や、働き世代が受診しやすい環境づくりなど、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。 生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は毎年の増減はあるものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていく必要があります。今後も、自殺対策計画に基づき、精神保健分野に留まらない、より幅広い分野での取り組みを実施していきます。 施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。	

（２）事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から３年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表

事務事業評価表

施策 1	取組 1	番号 1	事務事業 健康づくり推進事業						
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。			担当課	健康推進課				
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。								
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改27人、健康30人） ・健康マイレージの推進（参加者数延4,458人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延99社） ・おびひろ健康まつりの実施（R 5来場者数940人）			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	1,866	0	0		
				特定財源	200	0	0		
				一般財源	1,666	0	0		
	指標名			健康マイレージ事業参加者数		単位	人		
	基準値			R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
					実績値		実績値		実績値
	2,878				4,500		5,000		5,400
					4,458				
評価検証	R5年度の健康マイレージ事業の参加者数は4,458人であり、目標を達成しませんでした。広報紙やパネル展などでの周知や、企業へ協賛の働きかけを行いました。協賛企業の加入が少なく事業としての魅力が不足したことが要因と考えます。今後は他課や関係機関と連携して協賛企業を増やし、積極的に周知をしながら、事業内容を充実させていく必要があると考えます。								

- ※ 「目標」は推進計画最終年度（R 7年度）の目標です。なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。
- ※ 目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています（指標名“—”としています）。
- ※ 事業実施状況には主に事業量（人数・回数等）を示しています。
- ※ 事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。

6. 施策評価結果の概要

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
1 ともに支え合い、 健やかに暮らせるまち	施策 1	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策 2	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 3	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策 4	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策 5	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 6	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策 7	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	施策 8	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
	施策 9	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策10	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策11	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
3 ともに学び、輝く人 を育むまち	施策12	40点	30点	25点	40点	35点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
	施策13	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策14	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策15	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	施策16	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策18	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策19	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策20	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策21	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
施策22		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
施策23		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、 子どもも大人も 健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	3 ともに学び、 輝く人を育むまち	4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	3 施策	0 施策	3 施策	1 施策	7 施策
概ね順調に進んでいる	2 施策	3 施策	0 施策	3 施策	10 施策
さらなる進捗が必要	2 施策	1 施策	1 施策	2 施策	6 施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。



施策 1 健康なからだところをつくる ―健康づくりの推進―



目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 70.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や感染症の発生状況及び予防に関する情報を発信。



糖尿病予防のための講座



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲50.0% :

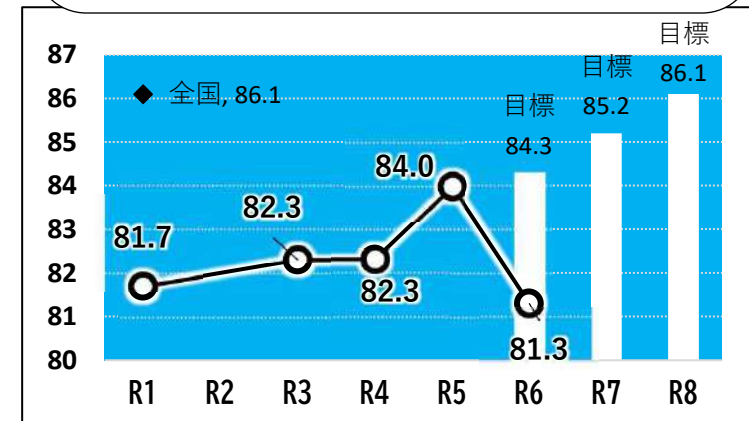
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	82.3%
		実績値 (R6)	81.3%
		目標値 (R6)	84.3%

【図1-1】健康と思っている市民の割合(%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は81.3%と基準値を下回っており、目標を達成しませんでした。

市では、健康づくりをテーマとした講座のほか、様々なイベントでの健康づくりの周知活動や、スマートライフプロジェクトの参画企業を通じた働き盛り世代の健康づくりの推進、アプリの活用による自主的な運動の促進などに取り組みましたが、糖尿病リスクが高い人の割合や、がん検診の再検査率が増加していることが要因の一つと考えます。

今後はSNS上での動画配信などを通じた健康に関する情報提供のほか、企業や関係機関との連携強化や、運動に取り組みやすい環境の充実を図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

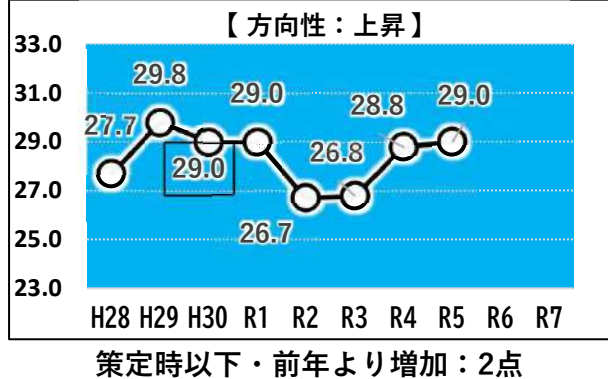
得点率 26.7% :

20点

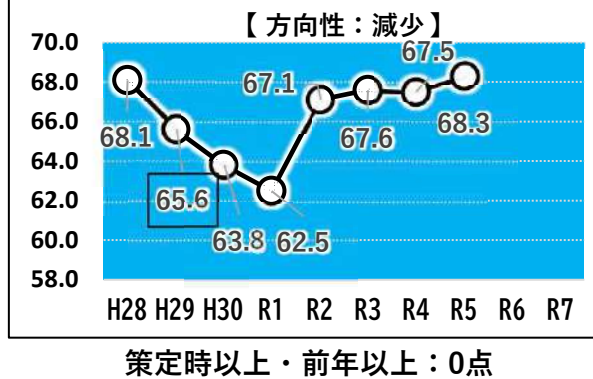
15点

10点

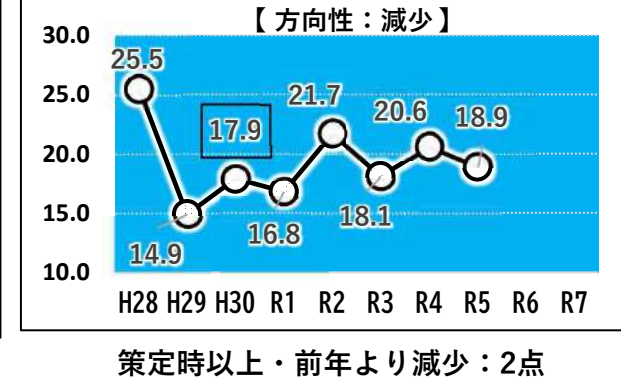
【図1-2】 がん検診平均受診率
(%)



【図1-3】 糖尿病リスクが高い (HbA1c有
所見者) 人の割合 (%)



【図1-4】 10万人当たりの自殺死亡者数
(人/10万人)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、LINEによる健康体操動画を配信したほか、歩数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進などに取り組みましたが、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、目標値に及びませんでした。

今後も医療機関や企業等と連携して、対面での健康講座を継続しながら、SNSを活用した動画配信などにも取り組み、運動を行いやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発のほか、保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」は増加しています。

今後も有所見者の推移を注視しながら、健康講座の開催や対象者への個別面接の実施などを通し、生活習慣の改善や糖尿病の発症・重症化予防につなげていく必要があります。

また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も、アプリを活用した効果的な周知啓発や、働き世代が受診しやすい環境づくりなど、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。

生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は毎年の増減はあるものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。今後も、自殺対策計画に基づき、精神保健分野に留まらない、より幅広い分野での取り組みを実施していきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て ―子育て支援の充実―



目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 87.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援のため、子育て情報のタイムリーな通知やこどもの成長記録を管理できる「子育てアプリおびモ」を導入したほか、子育て世代包括支援センターにおける相談対応や、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援、経済的支援を一体的に実施。
- 地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業や地域子育て支援拠点事業、子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。
- 妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、妊娠出産サポート事業を実施。
- 母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊婦・乳幼児健康診査による異常の早期発見のほか、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。
- 発達の遅れや障害のある児童とその家庭を支援するため、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。
- 保護者の多様化する保育ニーズに対応するため、保育所の改築補助に伴う低年齢児の受入枠の拡大や、小学校内の児童保育センター分室設置などを実施。
- 子どもたちの様々な体験活動や、地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。



赤ちゃん訪問の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲147.1% :

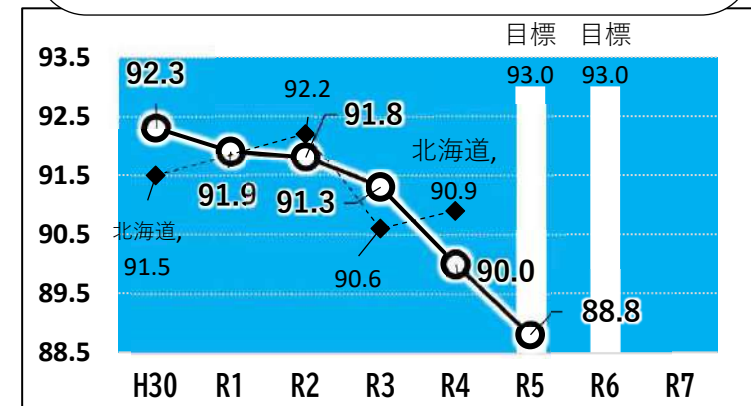
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合			↗
指標の考え方	市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	91.3%
		実績値 (R5)	88.8%
		目標値 (R5)	93.0%

【図1-1】この地域で子育てをしたいと思う親の割合（%）



※ R7年度の目標値は分野計画との整合を図り後年時に設定する

【指標の動向・要因分析】

「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は88.8%であり、目標を達成しませんでした。

市では、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や親同士の交流を促進する地域子育て支援センター、会員相互による子育ての援助活動を行うファミリーサポートセンター事業など地域全体で子育てを支える取り組みなどを進めているものの、この地域で子育てをしたいと思わない人の中では、「子育てする人同士の交流がある」や「育児への困り感がない」とする割合が低く、子育てに孤立や不安を感じ、悩んでいる人がいるものと捉えています。

今後は、子育て世帯をとりまく環境の変化などを踏まえながら、支援事業の認知度の向上や相談体制の充実などにより、子育て世帯への切れ目のない支援を通じて、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0% :

20点

15点

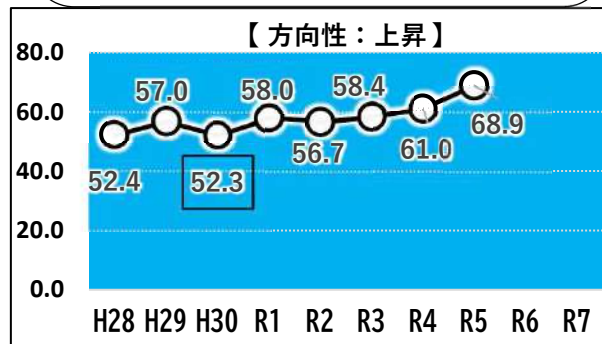
10点

【図1-2】4月1日時点の保育所等の
待機児童数（人）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】育児休業制を規定している事業
所の割合（％）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応、伴走型の支援の充実、地域の子育てに関する情報の発信、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境の裾野が広がっている一方で、「この地域で子育てをしたいと思う親の割合【図1-1】」は低下しています。

今後は、支援事業の認知度の向上と支援体制の充実を行い、妊娠期から出産・子育てに至るまでの様々な支援を通し、地域で子育てを支える環境づくりにつなげます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、認可保育所における低年齢児の受入枠の拡大を進めたことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は前年に引き続き0人を達成しました。今後も共働き世帯の増加を背景とした保育ニーズは高い状況が続くと見込んでいることから、引き続き受入体制の確保などに努めていく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んだことにより「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は前年より増加しました。依然として事業規模の小さい事業所ほど導入されていない傾向にあることから、今後も企業などへの周知啓発を行うなど、子育てしやすい環境づくりを進めます。

青少年の健全育成を図るため、子ども会や学校などにおける地域のリーダーを養成するための研修会を実施したほか、関係団体との情報交流会等を開催しました。今後も関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし ―地域福祉の推進―



目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 66.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の担い手の確保及び活動を支援。
- 住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。
- 地域で支え合い活動等を行うボランティアの養成及び活動を支援。
- 判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。
- 高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。
- 高齢者や障害のある人への地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。
- 複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、ひきこもり相談窓口を開設するなど、地域福祉にかかる関係団体等との連携等による包括的な相談・調整を推進。



地域交流サロンの様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 81.7% :

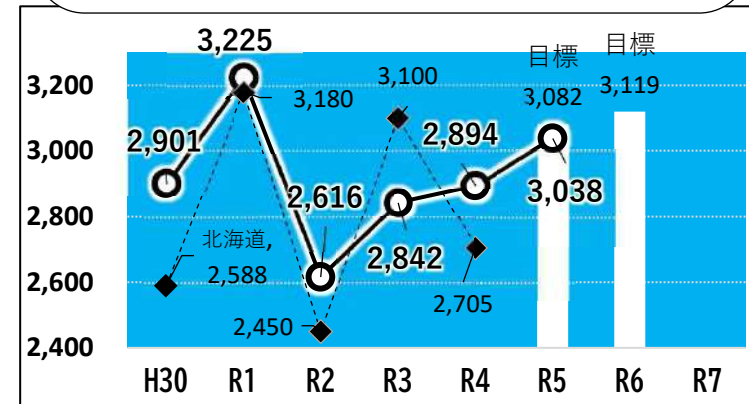
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりのボランティア登録者数			↗
指標の考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	2,842人
		実績値 (R5)	3,038人
		目標値 (R5)	3,082人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



※ R7年度の目標値は分野計画との整合を図り後年時に設定する

【指標の動向・要因分析】

地域活動等を行うボランティアとして帯広市社会福祉協議会に登録している「10万人あたりのボランティア登録者数」は3,038人であり、目標を達成しませんでした。

社会福祉協議会によるボランティアセンターの運営や人材の育成・確保に向けたボランティア養成講座などを支援してきたほか、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い市民の活動が活発になったことで、目標値には届かなかったものの、前年度より100名以上増加しており、登録者数は増加傾向にあります。

今後も、ボランティア養成講座の開催回数の拡大や、ボランティア活動にかかる普及啓発、参加の呼びかけ強化などを通し、さらなる登録者数の増加をはかり、地域での支え合いの仕組みづくりの促進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

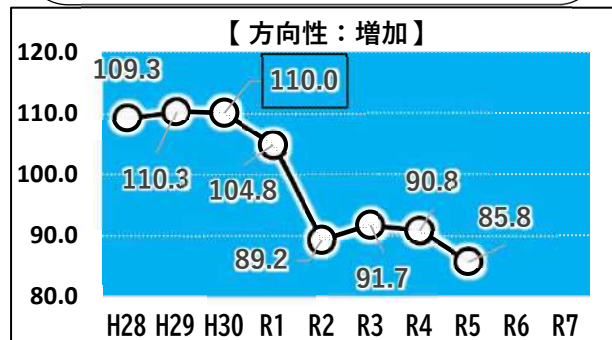
得点率 20.0% :

20点

15点

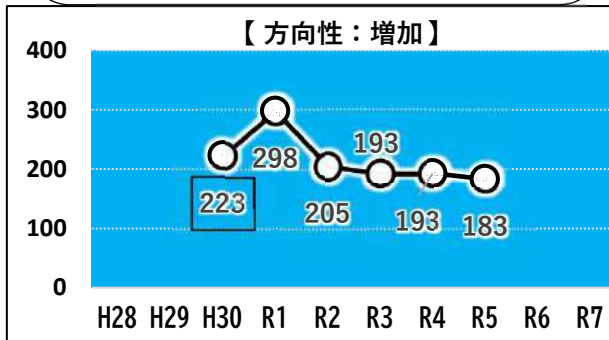
10点

【図1-2】 民生委員・児童委員 1人当たりの活動日数（日）



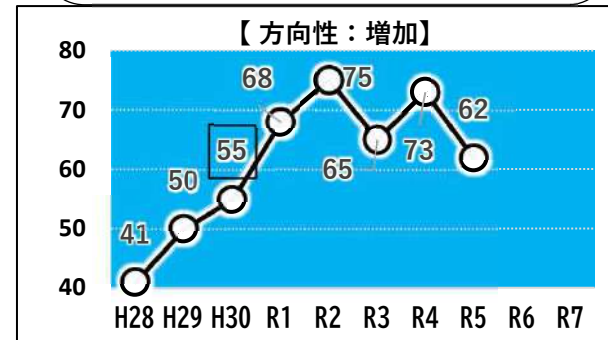
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】 法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民相互の支え合いの意識を高め、様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体と連携した「きづきネットワーク事業」の推進を図ったほか、高齢者が日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。また、令和5年度には市民相談室に新たにひきこもり相談窓口を開設しました。

しかしながら、「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は、地域活動の担い手の減少などに伴い、前年度より減少しているほか、訪問対象者の減少などを背景として「民生委員・児童委員一人当たりの活動日数【図1-2】」は、前年度より減少しています。

一方、「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」は、ボランティア養成講座の内容を多くの人が興味を持ちやすいテーマとしたことなどにより新規登録につながり、目標には及んでいませんが、増加傾向にあります。

高齢化や核家族化の進行等を背景とした単身世帯の増加により、社会的に孤立し生活に様々な不安や悩みを抱えている人は、今後も増加していくことが見込まれることから、引き続き地域での見守り・支え合いの重要性の啓発や、身近にある相談窓口の周知に取り組み、支援体制の強化を図る必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めたことで、市民後見人養成講座の受講者数、登録率はともに増加しましたが、家庭の事情や仕事を理由に、登録抹消した人の方が多く「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は減少しています。今後も持続的な権利擁護を図っていくため、市民後見人養成講座の受講しやすい開催形式への見直しや、講座受講者が支援員登録に結びつく仕組みづくりを検討するなど、関係機関と連携し、法人後見支援員の育成や活動促進に取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策4 ゴーっと生き活きと暮らす ―高齢者福祉の推進―



目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 92.9% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 高齢者及び介護する家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者、寝たきり・認知症高齢者登録のほか、各種サービスによる生活支援を実施。
- 高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。
- 高齢者が安心して生活できる環境を整備するため、グループホーム等の地域密着型サービス事業所の整備支援を実施。
- 高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。
- 高齢者の社会活動や生きがいづくり促進のため、老人クラブへの支援や学習機会の提供。
- 地域の見守り体制の構築のため、認知症の人を早期から支援するチームオレンジの活動や、認知症高齢者等SOSネットワークの事前登録制を実施。
- 高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。
- 生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。
- 在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。
- ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域の助け合いにより支えていくため、掃除や買い物などを手助けする生活援助員や、支え合いを日常生活の中で実践できる人を養成。
- 関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保。



介護予防普及啓発



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.4% :

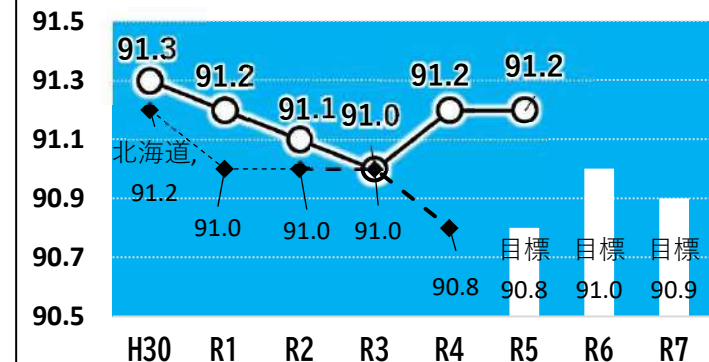
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合			→
指標の考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値(R3)	91.0%
		実績値(R5)	91.2%
		目標値(R5)	90.8%

【図1-1】要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合(%)



【指標の動向・要因分析】

「要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合」は91.2%であり、目標を達成しました。

日常生活の自立に向けた介護サービスの提供や、地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施により、介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などが進み、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

今後も引き続き関係機関等と連携し、介護予防の普及啓発や活動支援、社会参加の促進などに取り組めます。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】地域支え合いを推進する協議体の実施回数（回）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】雇用保険の高年齢被保険者の年平均数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援や地域密着型サービス事業所等の整備支援、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や、生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。

ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有し、実践につなげる「地域支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は、地域住民主体の生活支援を行う団体の設立に向けた積極的な支援を行ったことなどにより、新たな協議体の増加につながり、前年を大きく上回っています。

少子高齢化は今後も進んでいくことが見込まれており、高齢者等の生活支援ニーズが拡大していくことから、引き続き、日常生活上の課題を地域の支え合いで解決する仕組み作りを進めていく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保などにより、「高齢者の雇用保険被保険者数【図1-3】」の増加につながっています。

今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策5 個性はみんなのたからもの ―障害者福祉の推進―



目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 93.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流など各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。
- 権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関の連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。
- 支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成に係る検討を進めるため、帯広市地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。
- 緊急時の受入れ対応などを行うため、地域生活支援拠点等を整備。
- 障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。
- 地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。
- 希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、就労支援事業所への研修や企業に対する障害者雇用の啓発活動を実施。
- 障害のある人の自立や社会参加を促進するため、身体機能の回復・強化を図るトレーニングや日中活動の機会を提供する障害者生活支援センターを運営。



帯広市地域自立支援協議会の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲5.8% :

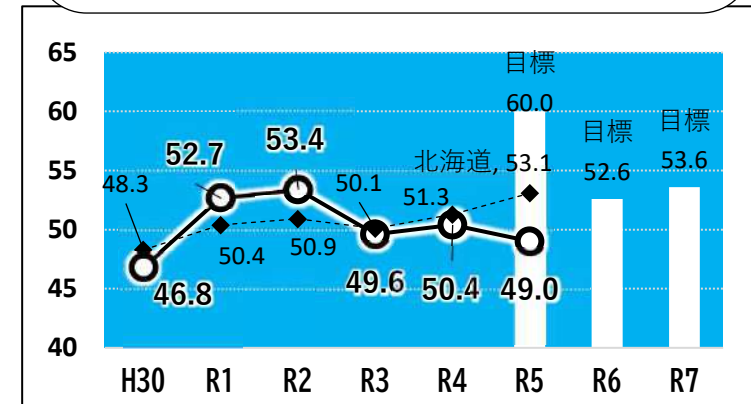
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合			↗
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	49.6%
		実績値 (R5)	49.0%
		目標値 (R5)	60.0%

【図1-1】 障害者雇用率を達成した企業の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「障害者雇用率を達成した企業の割合」は49.0%であり、目標を達成しませんでした。

市役所職場体験実習や就労移行・継続支援事業を通じた相談対応・研修など、障害者の就労意欲の向上や職場定着に向けた取り組みを進めてきたほか、関係機関や企業等とともに障害者雇用の課題共有や意見交換などを行ってきました。また、令和4年度より、企業における障害者雇用の理解促進に向け、企業訪問や障害者雇用の事例集の作成、関係機関との連携強化などにも取り組んでおり、障害者の就労者数は増加しています。

しかしながら、令和3年度に民間企業における障害者の法定雇用率が引き上げられたことに伴い、障害者雇用の対象となる企業の範囲が拡大し、これまでに経験のない企業において雇用が進まなかったことから、達成割合は大きく減少しました。一般企業における障害者に対する理解が十分に浸透しておらず、雇用後の職場定着に向けた支援や障害者を雇用する企業の拡大が進んでいないこと、また、就労支援事業所における一般企業への移行を見据えた支援の不足が要因と考えます。

今後も、関係機関と連携し、障害者の受入れに向けた理解を促進するため、雇用事例集を活用した取り組みの実施や、就労支援事業所の支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通し、障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

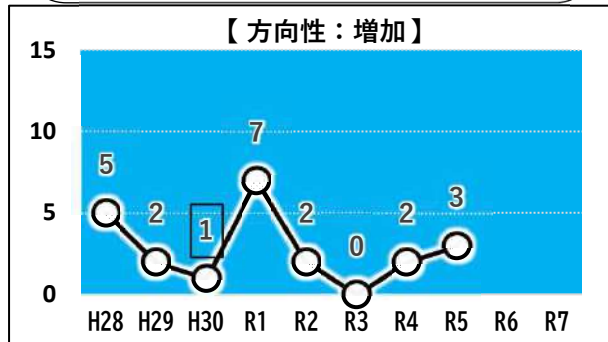
得点率 50.0% :

20点

15点

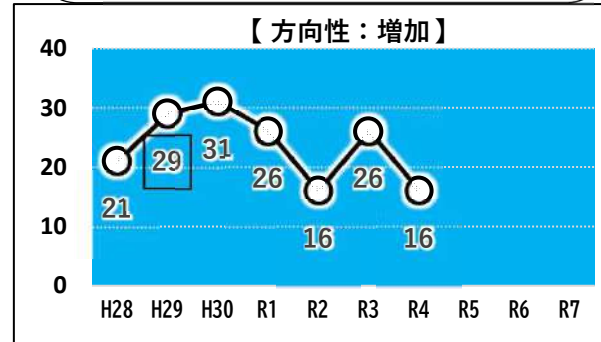
10点

【図1-2】施設入所者の地域生活
移行者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】福祉施設から一般就労への
移行者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

障害の特性など、障害のある人の理解促進に向け、出前講座やおびひろ市民学における手話講座の開催、障害者週間記念事業の実施、ヘルプマークの配布などに取り組みました。改正障害者差別解消法の施行により、令和6年度からは民間企業においても障害者への合理的配慮が義務化されており、今後は、これまでの取り組みに加え、SNSなどを活用した効果的な情報発信や出前講座、市民フォーラム等による啓発活動を行うほか、障害のある人となない人が共生していく社会の実現に向け、帯広市地域自立支援協議会の権利擁護部会において、問題意識の共有や課題解決に向けた協議を行います。

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスの提供を行ったほか、圏域相談支援事業所を活用し、相談機能の充実を図りました。近年では、グループホームや、施設での短期入所をはじめとする日中活動系サービスの事業所など、障害特性に応じたサービスを提供できる事業所が増え、施設入所だけでなく地域で暮らすための選択肢が徐々に広がってきており、「施設入所者の地域移行者数【図1-2】」は前年より増加し3人となっています。

令和5年度には、緊急時の受入れ対応などを行う地域生活支援拠点等を整備したことから、今後は地域で暮らす障害者のさらなる支援体制の充実を図るほか、施設入所者数が前年度に比べ微増していることから、本人や家族、施設関係者へのアウトリーチ調査等を通じ、支援ニーズの把握に努めていく必要があります。

障害のある人への就労支援については、令和4年度から企業に対する障害者雇用の啓発活動に取り組んだことにより、障害者就労者数は増加したものの、一般企業における障害者に対する理解が十分に浸透しておらず、雇用後の定着支援や障害者を雇用する企業の拡大が進んでいないこと、また、就労支援事業所における一般企業への移行を見据えた支援の不足などを理由に、「福祉施設からの一般就労移行者数【図1-3】」は前年より減少しました。今後も、企業訪問やマッチングの成功事例の周知などを通じた企業における障害者雇用や定着支援への理解促進、就労支援事業所支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通じ、一般就労につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策 6 医療を身近に安心な暮らしをつくる – 医療体制の安定的確保 –



目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。
- 帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。
- 二次救急や三次救急に係る体制の構築のため、医療機関や関係機関と連携するとともに、帯広厚生病院をはじめとする関係医療機関へ運営費を支援。



帯広市休日夜間急病センター



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 197.4% :

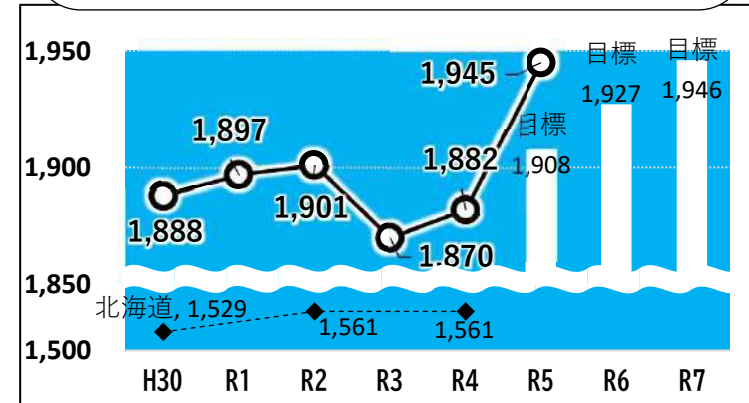
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりの看護師就業者数			↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	1,870人
		実績値 (R5)	1,945人
		目標値 (R5)	1,908人

【図1-1】 10万人あたりの看護師就業者数
(人)



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりの看護師就業者数」は1,945人であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市内看護学校による看護師養成のほか、看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供により、看護師等の市内定着率が増加したものと考えます。

今後も、高齢化の進行に伴う医療需要の増加に伴い、看護師等の医療に従事する人材不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師の養成や、管外へ進学した卒業生への働きかけなどを通し看護師の確保に努めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

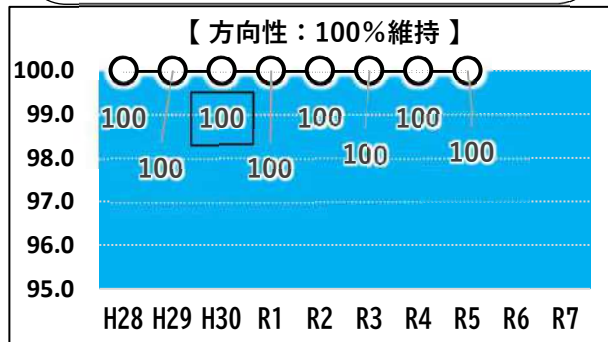
得点率 100.0% :

20点

15点

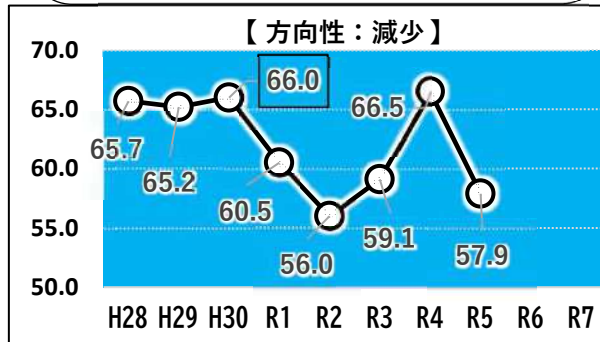
10点

【図1-2】 初期救急医療の対応可能日数の割合（％）



基準以上：3点

【図1-3】 救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合（％）



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供などに取り組み、看護師等の市内定着率が63.8%と前年より増加したほか、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」の増加にもつながったと考えます。

令和5年4月に開校した帯広市医師会看護専門学校においては、地域の特色や課題に連動させた人材育成が計画されており、こうした取り組みへの支援を通し、地元養成・地元就職の意識の醸成を図り、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、救急医療の適切な利用が図られたことで、「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は減少しました。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－



目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 90.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。
- 疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。
- 介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得者への利用料負担を軽減。
- 保護を必要とする人の早期把握や、被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。
- 保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。



特定保健指導の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.0% :

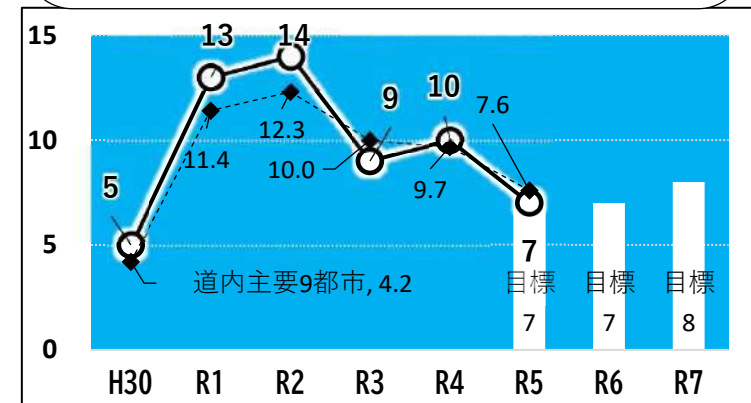
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数			↗
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	7項目
		実績値 (R5)	7項目
		目標値 (R5)	7項目

【図1-1】 介護保険運営の安定化に資する取組項目数（項目）



【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は7項目であり、目標を達成しました。

市では介護保険制度の安定的な運営につなげるため、国が示す取組項目である、ケアプランの点検や、ケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、「介護士定着支援研修会」の開催などを着実に実施してきており、目標の達成につながったものと考えます。

今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、引き続き介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

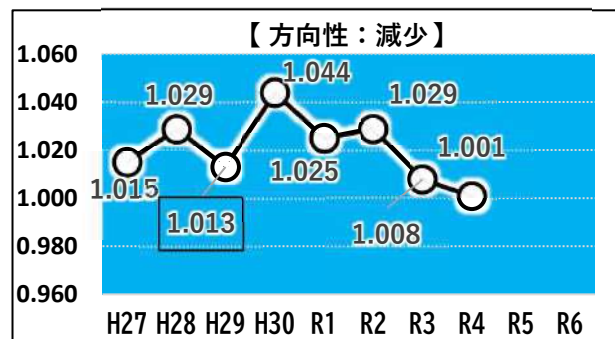
得点率 70.0% :

20点

15点

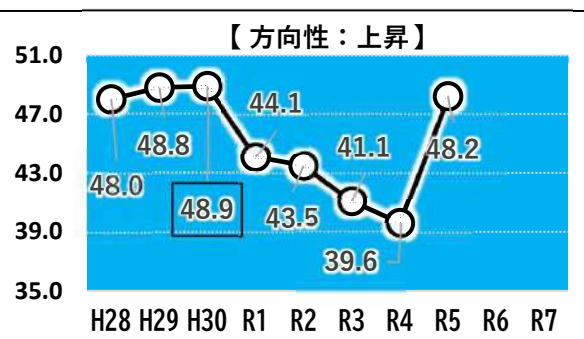
10点

【図1-2】医療費の地域差指数
(全国平均=1.000)



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就
労者の占める割合（％）



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95点 /100点〕

国民健康保険制度については、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導のほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行ってきています。一人当たりの医療費の全国との差を示す「医療費の地域差指数【図1-2】」は、全国平均の1.0を僅かに超えているものの、計画策定時や前年よりも低い値となりました。今後も、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防の取り組みを進め、制度の健全な運営につなげていきます。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けたケアプランの点検や、ケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、「介護士定着支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んだことで、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は目標を達成しています。引き続き、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。

生活保護制度については、生活保護に至る前の相談支援に加え、自立支援プログラムの実施、ハローワークや委託先事業所と連携した就労支援など被保護者の自立を助長する取り組みを進めてきており、「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」は、前年を上回り、計画策定時と同水準となっています。今後も関係機関と連携を図り、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労に繋がるよう、適切に支援を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策 8 世界に冠たる十勝農業を創る ― 農林業の振興 ―



目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 88.9% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 農業経営の高度化・安定化の実現や、優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。
- 環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。
- 経営規模の拡大や農業従事者の不足への対応、労働負担軽減等のため、ロボット技術や情報通信技術（ICT）などの先進技術の導入を支援。
- 農畜産物の販路拡大や信頼性確保、消費者理解の向上のため、食の安全安心に係る取り組みを支援。
- 畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とち帯広和牛生産改良組合の活動を支援。
- 十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。
- 農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。
- 農村地域の活性化を図るため、農業センターの維持管理のほか、農道や明渠の草刈り・補修等、地域における共同活動への支援を実施。
- 森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。
- ばんえい競馬を安定的に運営するため、生産者への奨励金の支給や競馬の公正確保、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝馬投票券の発売日数や発売所の維持の取り組みのほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動を実施。



かんがい排水施設の整備の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 41.4% :

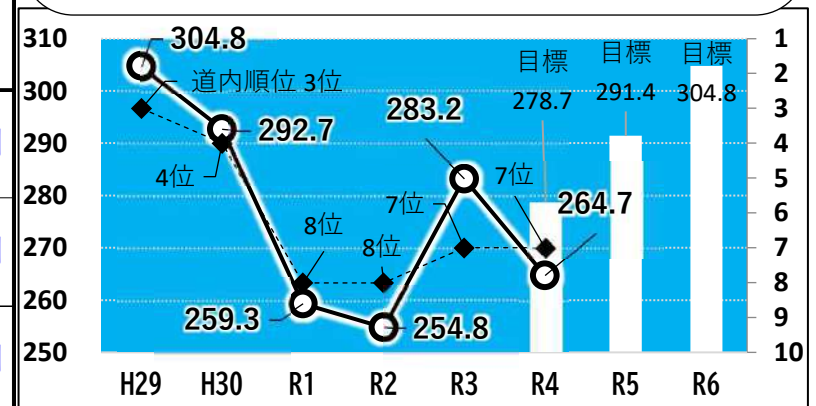
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
農業産出額（農林水産省推計値）			↑
指標の考え方	市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。	基準値 (R2)	254.8億円
		実績値 (R4)	264.7億円
		目標値 (R4)	278.7億円

【図1-1】農業産出額（農林水産省推計値）
（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は264.7億円であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、先進技術及び農業機械の導入支援や、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催、環境保全型農業の推進などに取り組みましたが、耕種部門では天候不良の影響により農作物の収量減少や品質が低下したこと、また畜産部門では肉用牛の取引価格が下落したことなどが要因になったと考えます。

一方で、市が生産者団体等から聴取した数値をもとに推計した額（R3：344億円→R4：330億円）は令和3年に次ぐ過去2番目の産出額となっており、高い水準を維持しています。

今後も、農業団体・農業者との連携のもと、先進技術のさらなる導入促進や長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興や農業の担い手育成・確保に取り組んでいく必要があります。

※（参考）農業産出額は道内全自治体中7位、全国で38位となっているほか、部門別では麦類、豆類が全国3位、ばれいしょが全国2位、てん菜が全国6位、長いもが全国1位などとなっており、上位に位置しています。



Ⅲ 関連データの状況

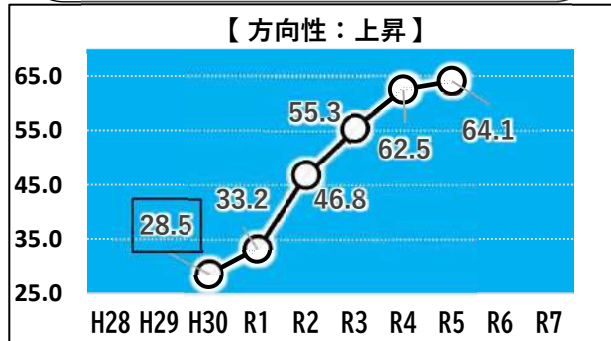
得点率 60.0% :

20点

15点

10点

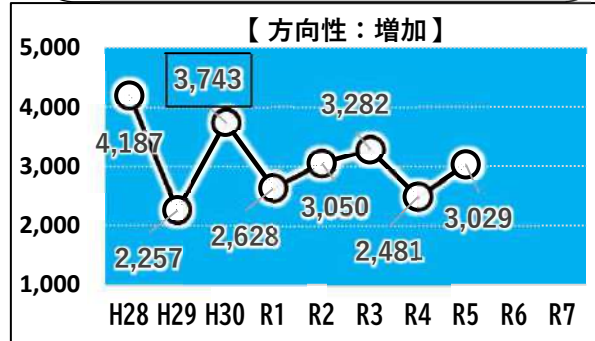
【図1-2】スマート農業普及率(※)
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

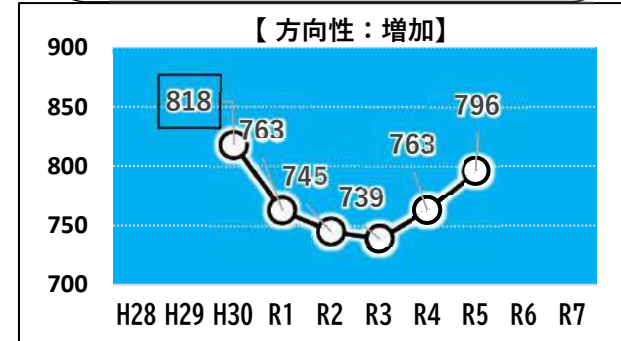
※スマート農業普及率＝
(GPS基地局利用農家数＋
搾乳ロボット等導入農家数)／全農家数

【図1-3】農畜産物輸出力
(t)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】直近5年間の森林整備面積
(ha)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤整備や担い手の育成などに取り組んできたほか、資金貸付等を通じた先進技術の導入支援により「スマート農業普及率【図1-2】」が上昇しましたが、天候不良の影響で農作物の収量が減少したことなどが影響し、「農業産出額【図1-1】」は前年を下回っています。

また、「農畜産物輸出量【図1-3】」は、牛肉の需要が依然として高く、前年並みの輸出量を維持してますが、輸出の大部分を占める長いもの出荷量はコンテナ不足や輸出船減少等の影響が解消したことで増加に転じたものの、前年比で約2割の増加に留まっています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いものの品質向上や収量増加などの生産体制の強化を図り、輸出量の増加につなげていく必要があります。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組んだことで、農業体験・学習に参加した市民の数は増加しました。今後も、学校や関係団体等と連携し、農業技術センター食育展示圃場や帯広の森サラダ館の学童農園を利用した農業体験学習、農産物直売所の支援などに取り組み、市民の農業への関心を高めていく必要があります。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林の整備促進や、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。また、北海道からの補助金配分が前年比で増加したことなどにより、「森林整備面積【図1-4】」も増加しました。今後も市有林の計画的な施業や、私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定した運営を図るため、生産者への支援やばんえい競馬の魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、インターネット投票での売上を中心に発売額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策9 「とかちのかち」を創り続ける ―地域産業の活性化―



目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 61.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地場産品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援や、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、6次産業化の推進に向けた取り組みを実施。
- 地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産や技術に関する相談のほか、資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。
- 地元企業の経営基盤強化のため、物価高騰などの影響も視野に入れた経営相談や制度融資を実施。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。
- 企業立地の促進に向け、企業訪問活動による情報収集、立地企業の設備投資への支援を実施。
- 地域の経済発展に貢献する人材の育成に向け、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとかち人材育成事業等を実施したほか、学び直しの環境づくりとして、とかち熱中小学校の取り組みへの支援を実施。
- 持続的に新事業の創発を促すため、産学官連携による、人材育成、事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に支援を実施。
- 勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とかち勤労者共済センターの運営支援を実施。
- 求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。
- 輸出の促進やインバウンド獲得に向け、機運を醸成するため、商談会の開催支援や空港の利用促進に向けたプロモーション活動を実施。



新たな事業構想を生み出す
「とかち・イノベーション・プログラム」



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲42.1% :

40点

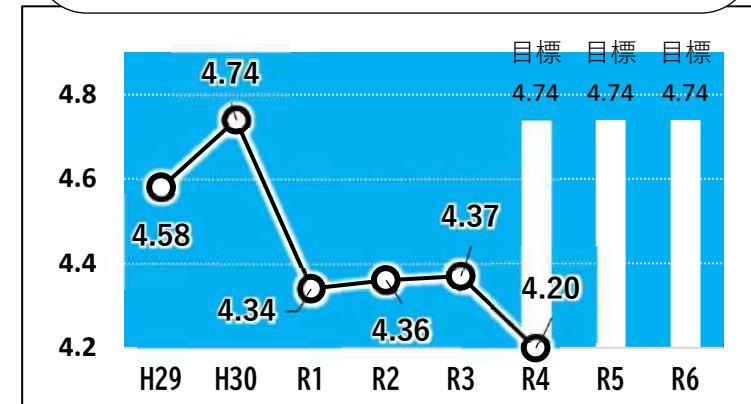
30点

25点

目指そう指標名			方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合			↑
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値 (R2)	4.36%
		実績値 (R4)	4.20%
		目標値 (R4)	4.74%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.20%であり、目標を達成しませんでした。

帯広市の法人市民税賦課金額は、賦課法人数の増加などにより、R3年度から1.1%増加したものの、北海道内主要都市全体の金額は5.3%の増加となっています。北海道内主要都市における増加の要因としては、北海道内主要都市の法人市民税賦課金額の約7割を占める札幌市が全体額を大きく引き上げたことが影響しており、結果として、北海道内主要都市における帯広市の割合は、0.17%減少しました。

今後も、関係機関と連携しながら、地元企業の事業継続を支援するほか、設備投資に対する助成などを通じた企業立地や、域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援し、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 86.7% :

20点

15点

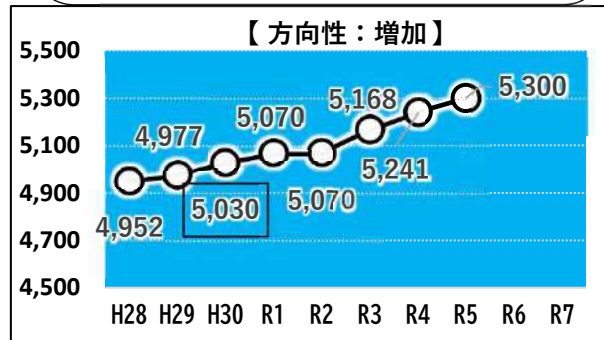
10点

【図1-2】創業・起業件数
(件)



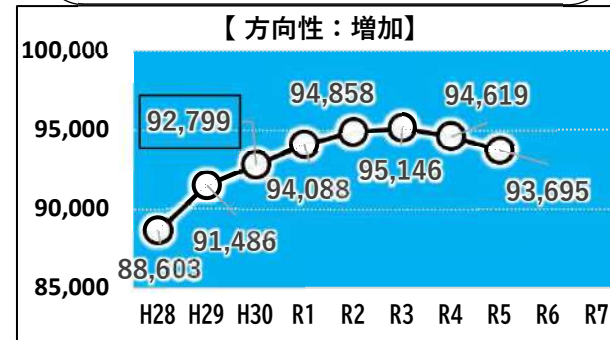
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】法人市民税賦課法人数
(件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】雇用保険被保険者数
(人)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、十勝産品を活用したスイーツなどの開発から、首都圏やE Cサイトでの販路拡大までの一連の取り組みを支援しました。今後も、生産者や企業、試験研究機関等と連携し、農林水産物の高付加価値化に向けた取り組みを推進していく必要があります。

創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことにより、新たな法人の設立や事業の創出につながっており、「創業・起業件数【図1-2】」は策定時、前年をともに上回っています。これまでの取り組みにより、新しい事業にチャレンジする人たちのコミュニティが拡大し、創業・起業の機運が醸成されていることから、今後も、事業創発のさらなる加速に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組んだことにより、「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は平成28年度以降の最高値となっています。今後も、関係機関と連携しながら、きめ細かな相談対応や各種制度の周知の強化などを通し、中小企業の経営基盤強化につなげていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職や子育て応援事業所の登録が着実に進んでいるほか、とかち勤労者共済センター会員数が増加しています。一方、「雇用保険被保険者数【図1-4】」は基準値を上回っているものの前年度と比べ減少していることから、引き続き、雇用確保に向けた取り組みの周知を行い、雇用の定着を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策10 アウトドアの聖地にする ―観光の振興―



目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人が訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 58.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、アクティビティを通じ、十勝地域の開拓の歴史や馬文化のほか、農業を柱として発展し、現在は、食の宝庫として注目されている地域固有のストーリーを体験するアドベンチャートラベルや、北海道唯一のナショナルサイクルート「トカプチ400」を核としたサイクルツーリズム等の新たな観光コンテンツの開発などを実施。
- にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。
- 市内観光入込客数を増加させるため、地域の魅力を活かした観光誘致活動、大会・合宿・コンベンションの誘致活動を実施。
- 広域観光の推進のため、道内他地域と連携し、インフルエンサーを活用して都市間周遊を促すメディアプロモーションを実施。
- 観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援のほか、中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理支援などを実施。
- とち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。＜再掲：施策11＞



アドベンチャートラベルの推進



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 27.8% :

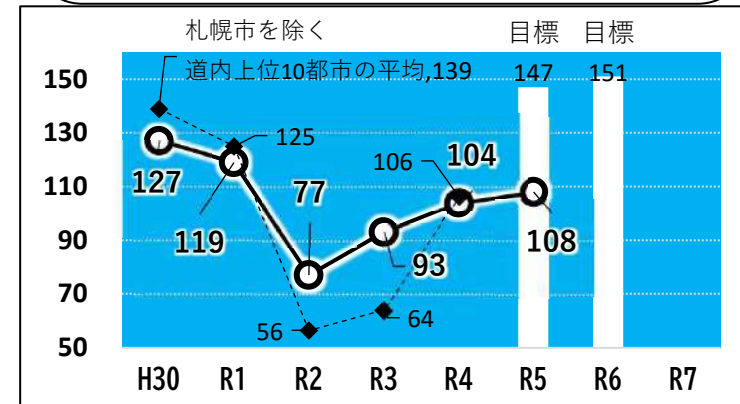
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
宿泊客延べ数			↗
指標の考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	93万人泊
		実績値 (R5)	108万人泊
		目標値 (R5)	147万人泊

【図1-1】宿泊客延べ数
(万人泊)



※ R7年度の目標値は分野計画との整合を図り後年時に設定する

【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は108万人泊であり、目標を達成しませんでした。

自然や食など、地域の魅力を活かした観光コンテンツの開発のほか、観光関係団体と連携したSNSによる情報発信や、道内他地域との連携による広域観光を推進したことで、宿泊客延べ数は回復傾向にありますが、感染症流行前の水準には戻っておらず、目標値を下回りました。国の旅行・観光消費動向調査によると、北海道内の宿泊客数のうち、出張・業務を理由とする宿泊客数が前年と比較して大きく減少しており、帯広においてもビジネス需要の停滞があったものと推察されます。

今後は、アドベンチャートラベルやサイクルツーリズムなどの地域特性を活かした体験型の観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げに努め、効果的なプロモーション活動に取り組むことで、観光客の誘客につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

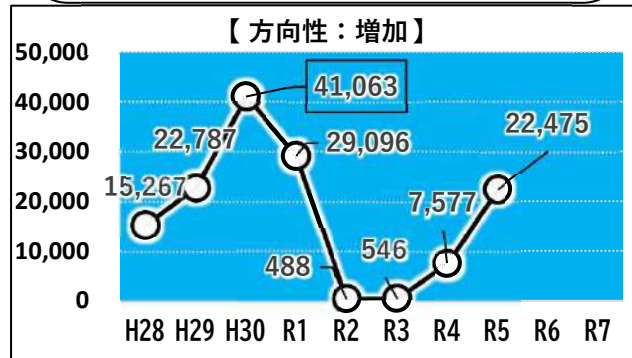
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 訪日外国人宿泊客延数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの開発・提供により、観光客の誘客を図るため、アドベンチャートラベルや、サイクルツーリズムなどの体験・滞在型観光、地域おこし協力隊制度を活用したアウトドア観光などの推進に取り組みました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、前年度と比較して、「宿泊客延べ数（図1-1）」、「観光入込客数」とともに増加しています。

今後は、自然や食・農業といった地域の強みを活かし、関係団体との連携による観光コンテンツの開発や効果的な情報発信を行いながら、観光入込客数の更なる増加につなげていく必要があります。

訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の受入環境の充実に向け、中心市街地等のWi-Fiスポットの維持管理や「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援のほか、関係団体と連携し、観光情報発信拠点の運営や、ホームページやSNSを活用した観光情報の発信を行ったことで、「訪日外国人宿泊客延数【図1-2】」は感染症流行前の水準には戻っていないものの、前年度と比較し大幅に増加しています。

今後は、日本国内におけるインバウンド需要の高まりが見込まれることから、アジアや欧米豪の新たな層に向けたコンテンツの開発や受入環境の充実、情報の効果的な発信に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策11 つなげて広げるビジネスチャンス – 広域交通ネットワークの充実 –



目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 85.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- とちか帯広空港の利用促進を図るため、関係団体と連携したプロモーション活動等を実施。
- 空港機能の維持向上などのため、滑走路端安全区域整備工事に向けた埋蔵文化財発掘調査を実施したほか、車両基地・電源局舎更新工事の支援を実施。
- 北海道エアポート(株)の空港運営に対するモニタリングを実施。
- 広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格道路の整備に関する要望活動を実施。
- 鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じた J R 石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。
- 十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。



航空会社・空港運営者等と連携した
海外プロモーション



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 64.6% :

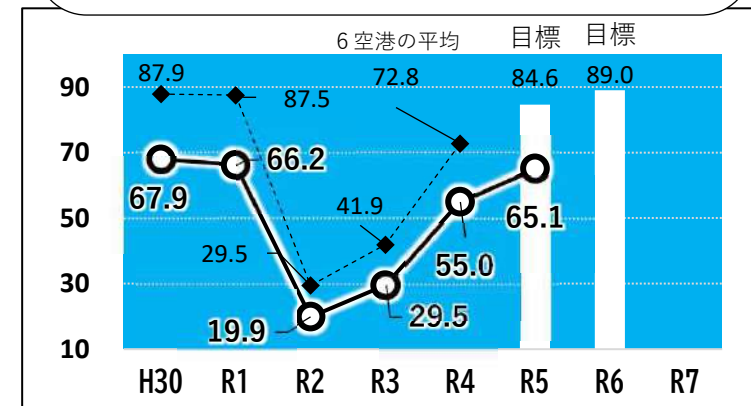
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空港旅客数			↗
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	29.5万人
		実績値 (R5)	65.1万人
		目標値 (R5)	84.6万人

【図1-1】 空港旅客数
(万人)



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

※ R7年度の目標値は分野計画との整合を図り後年時に設定する

【指標の動向・要因分析】

「空港旅客数」は65.1万人であり、目標を達成しませんでした。

とかち帯広空港の利用促進に向け、航空会社との意見・情報交換のほか、関係団体と連携した国内外におけるプロモーション活動やチャーター便の誘致活動などに取り組んだことで、空港旅客数は回復傾向にありますが、感染症流行前の水準には戻っておらず、目標値を下回りました。国の旅行・観光消費動向調査によると、北海道内の旅行者数のうち、出張・業務を理由とする旅行者数が前年と比較して減少しており、帯広においてもビジネス需要の停滞があったものと推察されます。

今後も、空港運営者による空港運営や路線誘致などと歩調を合わせ、航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、航空需要の回復・拡大に向けた取り組みを継続して進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

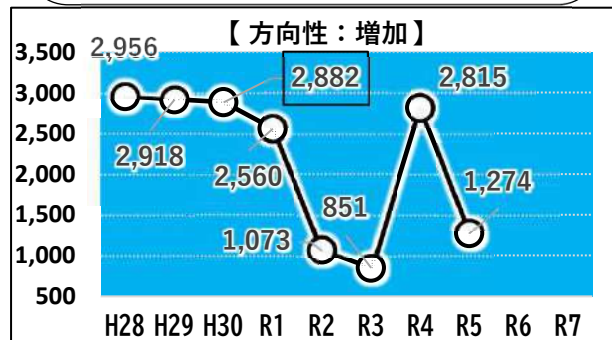
得点率 33.3% :

20点

15点

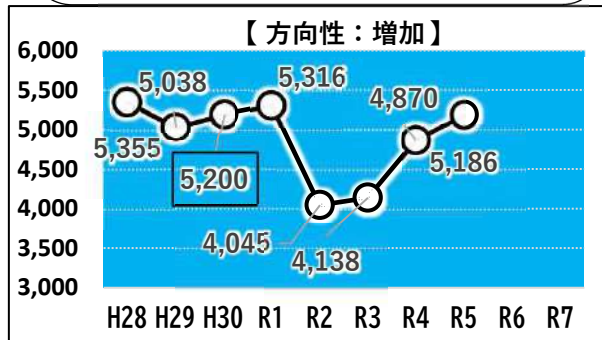
10点

【図1-2】 航空貨物取扱量
(t)



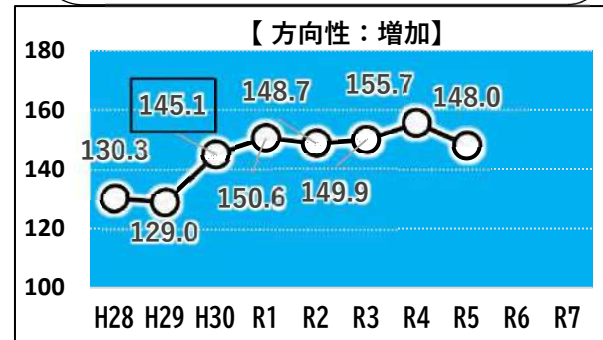
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 道東自動車道の1日あたり
利用台数 (台)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】 十勝港取扱貨物量
(万 t)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことで、道東自動車道「占冠～十勝清水間」の4車線化の事業開始や、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」の堅調な推移などにつながっているものと考えます。また、「道東自動車道の1日あたり利用台数【図1-3】」は、感染症流行前の水準には戻っていないものの、前年度と比較して大きく増加しています。今後も、更なる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港については、関係団体と連携したプロモーションやチャーター便の誘致活動など、空港の利用促進につながる取り組みを進めてきたことで、「空港旅客数【図1-1】」は、感染症流行前の水準には戻っていないものの、前年度と比較して大きく増加しています。一方、「航空貨物取扱量【図1-2】」は、航空機の小型化により搭載量が制限され、前年度から大きく減少しています。今後も、空港運営者・航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、空港利用の回復・拡大に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策12 未来を拓く子どもをともに育む ―学校教育の推進―



目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 89.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- ふるさと教育を拡充するため、全小・中学校及び義務教育学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。
- 南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。
- 教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」や、ベテラン教職員のスキルアップを目的とした「エキスパート研修」等を実施。
- 学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、コミュニティ・スクールに関する研修会や学校支援地域本部事業、子どもの居場所づくり事業を実施。
- 「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修を実施。
- プログラミング教育の推進のため、学習アプリを活用した授業を実施。
- 不登校の児童生徒に多様な学びの機会を提供するため、メタバース空間を活用したオンライン学習プラットフォームの「ひろびろチョイス」を導入。



おびひろ市民学の様子

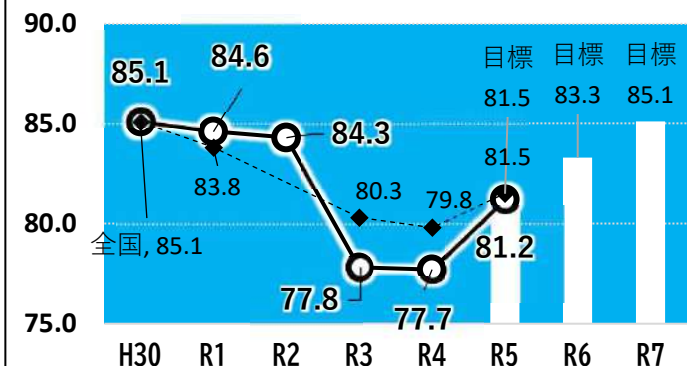


II 目指そう指標の進捗状況

小学6年	進捗率 91.9% :	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 103.9% :	20点	15点	12.5点

目指そう指標名			方向性	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			↗	
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。		小学6年	中学3年
		基準値 (R3)	77.8%	70.0%
		実績値 (R5)	81.2%	68.9%
		目標値 (R5)	81.5%	66.3%

【図1-1】 将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（%）



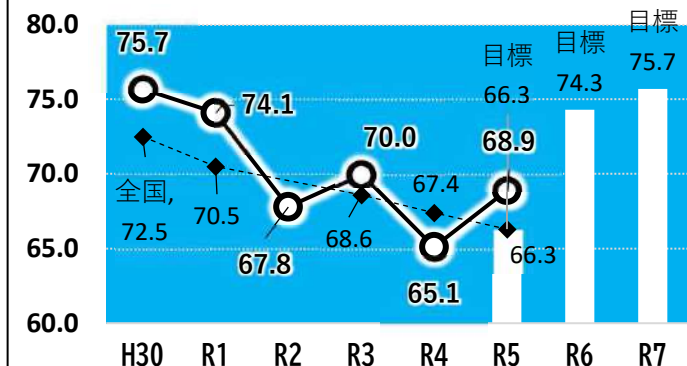
【指標の動向・要因分析】

「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学6年生が81.2%で目標値に達成していないものの、前年度と比べ増加しています。また、中学3年生は68.9%で目標値を達成しました。

自然体験学習やキャリア研修などを通じて、地域の自然や文化、産業への理解を深める取り組みを実施してきたことが、要因になっていると考えます。

今後は、地域住民や企業との対話を通して、キャリア教育のさらなる充実を図り、引き続き児童生徒の主体的な学び、行動する力の育成を進めることで、社会の一員としての意識の醸成につなげていく必要があります。

【図1-2】 将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（%）





III 関連データの状況

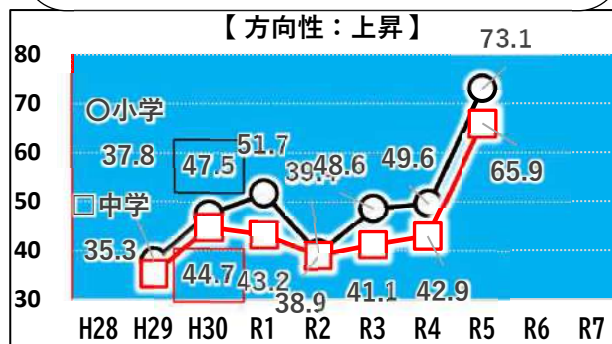
得点率 84.0% :

20点

15点

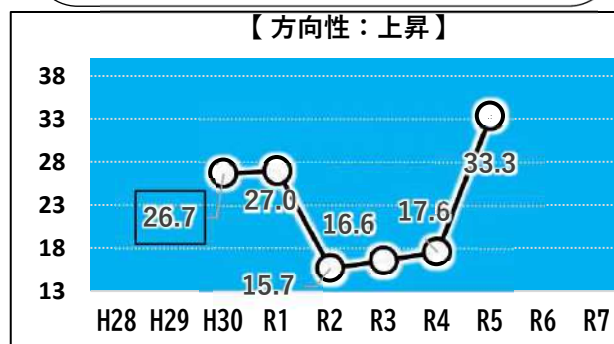
10点

【図1-3】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合 (%)



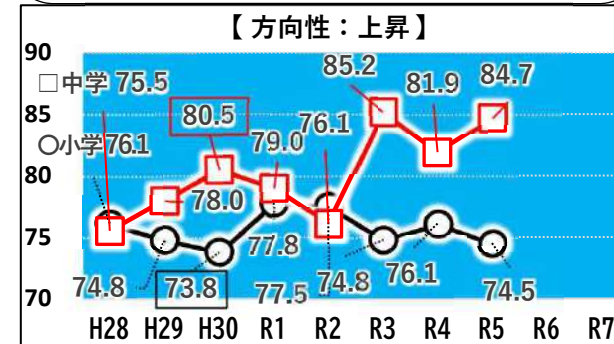
小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-4】 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (南商業高等学校) (%)



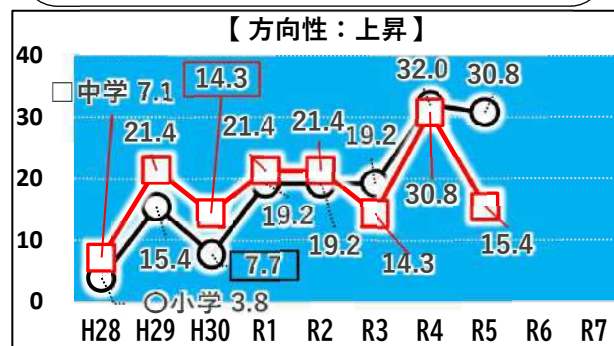
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合 (%)



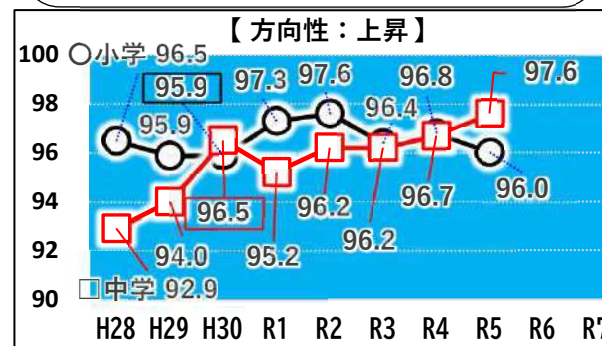
小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-6】 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年以下：1.5点

【図1-7】 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年以下：1.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95.0点 /100点〕

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、小・中学校及び義務教育学校における「おびひろ市民学」の実施や、小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、外部人材と連携・協働しながら、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組んできたことで、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」は、小・中学校ともに増加しています。また、児童生徒がより主体的に学習できるよう授業内容の改善に努めてきたことで、「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、小・中学校のいずれも計画策定時を上回っています。今後も、各学校における授業内容の改善や地域と連携した教育活動を展開し、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育や地域ボランティア活動を実施してきたことで、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は、計画策定時を上回っており、引き続き、取り組みを進めていく必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想のもと、幼保小中の連携やコミュニティ・スクールの運営、小学校高学年における一部教科担任制などに取り組んできたことで、「小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、中学校では前年より減少しているものの、小・中学校いずれも計画策定時を上回っています。今後も、小・中学校の交流活動の取り組みのさらなる充実を図り、子どもたちの9年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、児童会・生徒会によるいじめの未然防止の取り組みや相談員による指導、道徳科の授業を通じた啓発を行ったことにより、「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」は、高い水準を維持しています。引き続き、いじめは絶対に許されないとすることを児童生徒がしっかりと認識できるよう道徳科の授業改善のほか、個別面談を通し、児童生徒一人ひとりの心に寄り添いながらきめ細かな指導を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が35点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策13 いつまでも学んで面白い ―学習活動の推進―



目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 86.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。
- 学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。
- 学習を通じて得られた知識等をまちづくりに活かしてもらうため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。
- 帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。
- 若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みを支援。



市民大学講座「マルハナバチについて」
野外観察を行う参加者の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 650.0% :

40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合			↑
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	33.7%
		実績値 (R6)	40.2%
		目標値 (R6)	34.7%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合（%）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は40.2%であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、社会教育施設での各種講座を参加人数の制限を設けずに開催したほか、新しい分野、形式での講座等を実施し、社会教育施設の来館者数や講座の参加者数の増加につなげてきたことが目標達成の要因と考えます。市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「忙しくて時間がないから」、「きっかけがないから」との回答が多くあったことから、今後も、対面での講座に加え、オンラインによる講座の開催、開催時間帯の工夫や効果的な周知などにより、市民が参加しやすい学習機会の提供に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

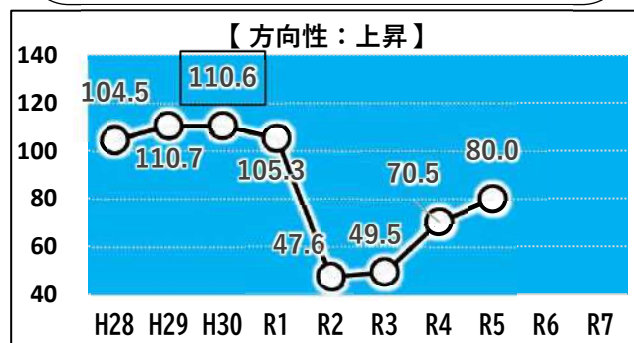
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】社会教育施設の利用者数
(万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設において、オンライン開催や参加人数の制限を設けずに講座を開催したほか、学習情報の発信、ボランティアが行う講座の支援などの取り組みを進めてきたことで、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」や講座の参加者数は前年より増加しています。今後も、市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい学習機会を提供していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識・技能をまちづくりに活かしてもらうため、生涯学習推進委員会等への活動支援や、学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援、大学と連携し地域課題の解決に取り組む学生への活動支援などを進めており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた生涯学習活動は前年度に引き続き回復傾向にあります。今後も継続して市民が活躍できる場の提供や環境づくりを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる ―文化芸術の振興―



目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通じた人のつながりが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。
- 市民主体の文化芸術活動を促進するため、十勝・帯広在住、出身の新進音楽家を対象とした演奏会の開催や、市民文藝・とかちジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。
- 市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、親と子のわくわく音楽会など、文化芸術にふれる機会を提供。
- ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。
- アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。



おびひろ市民芸術祭の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 88.8% :

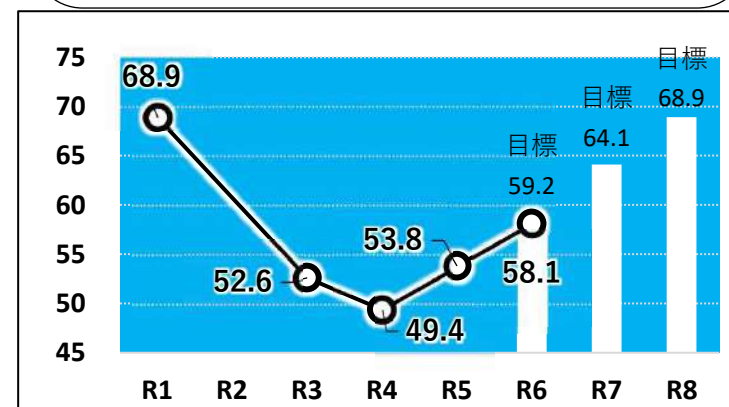
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	49.4%
		実績値 (R6)	58.1%
		目標値 (R6)	59.2%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合」は58.1%であり、目標を達成しませんでした。

市では、市民芸術祭の実施や子ども向けの鑑賞事業など、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供や活動団体の支援などに取り組んだことや新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、市民の活動が活発になったことで、文化芸術活動を行った市民は増加したものの、目標値には達しませんでした。市民まちづくりアンケートでは、「文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「テレビ、インターネット等により鑑賞できるから」、「時間がなかなかとれないから」との回答が多くあったことから、今後は、文化芸術活動を行う市民のすそ野の拡大に向けて、引き続き文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていくほか、社会教育施設が連携してイベントのPRを行うなど、様々な情報発信に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

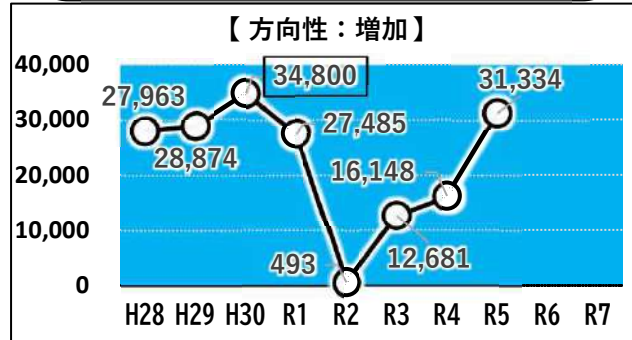
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、鑑賞・発表機会の提供や活動団体への支援などの取り組んだほか、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、市民の活動が活発になったことで、「鑑賞事業の入場者数【図1-2】」が大幅に増加しました。また、「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合【図1-1】」についても前年比では増加したものの、鑑賞スタイルの変化などの影響により目標達成には至りませんでした。今後も個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、文化芸術に取り組む市民のすそ野の拡大に向けて、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりや情報発信の取り組みを進めていく必要があります。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、重要文化財の活用やアイヌ民族文化情報センターによる普及啓発を進めてきました。アイヌ民族文化情報センターの入場者数は目標を達成しませんでした。前年度に比べると増加傾向にあります。今後も、市民が主体的に学べるデジタルモバイルコンテンツを活用した学習機会の提供や講座などの普及事業の周知拡大をはかっていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に — スポーツの振興 —



目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 87.5% :

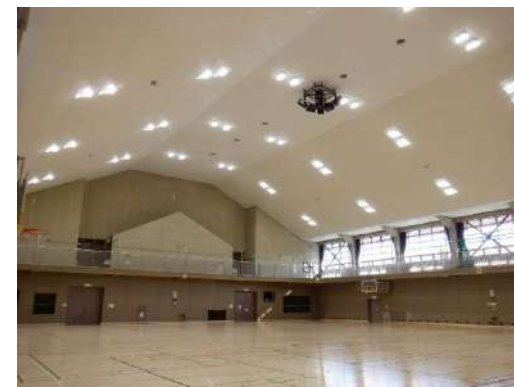
40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。
- 市民の健康・体力づくり等のスポーツ機会の提供やスポーツを通じた多様な交流を促進するため、フードバレーとかちマラソン大会を開催。
- スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や改修工事等を実施。
- 地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。
- 地域におけるスポーツ活動の活性化に向け、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。
- スポーツを通じたまちのにぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全国・全道大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。



帯広の森体育館
(天井の耐震化・照明LED化改修工事)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 198.4% :

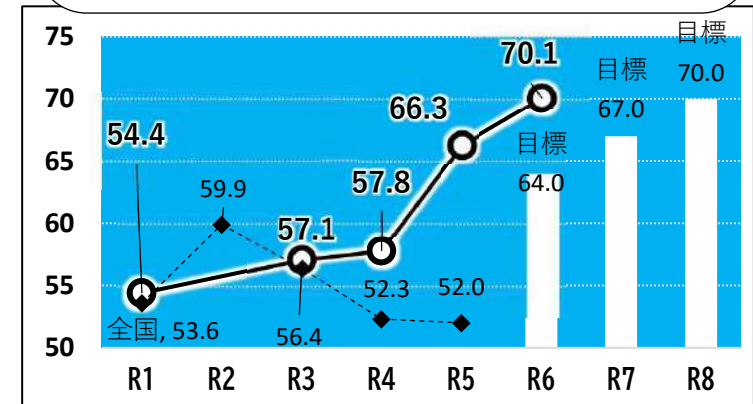
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	57.8%
		実績値 (R6)	70.1%
		目標値 (R6)	64.0%

【図1-1】 週1日以上運動・スポーツをする市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は70.1%であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市では、スポーツフェスティバル等のイベントの開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施しているほか、スポーツ施設の指定管理者においても健康志向のニーズを捉えたスポーツ教室を開催するなど、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきており、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う学校開放事業における人数等の活動制限の解除も相まって、日常生活の中に運動・スポーツを取り入れた市民が増えているものと考えられます。

一方で、市民まちづくりアンケートでは「運動・スポーツを行わなかった理由」として、「仕事や家事、育児等で忙しいから」が36.6%、「面倒くさいから」が26.8%と多くの回答があったことから、スマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルなどを通し、より多くの市民が日常生活の中で気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりを進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

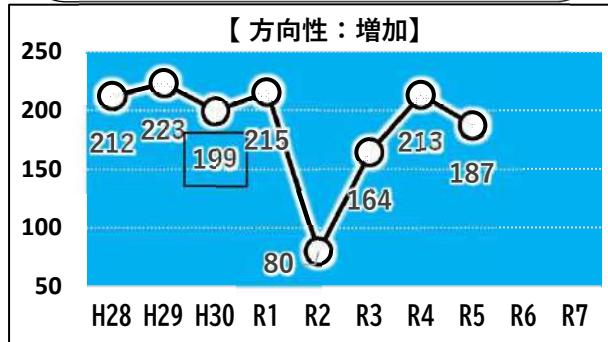
得点率 0.0% :

20点

15点

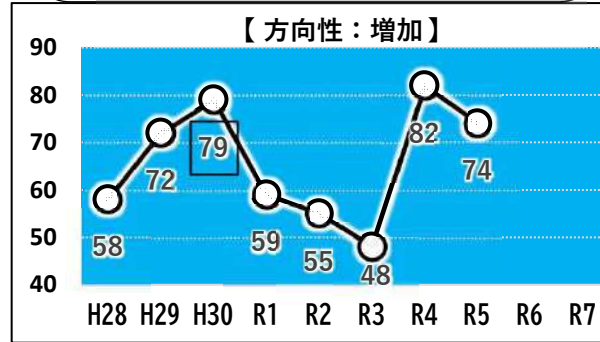
10点

【図1-2】 全国・全道大会等出場者数
(人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数 (回)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、スポーツ施設による活動の場を提供してきたほか、各種スポーツ教室や大会の開催等に取り組んだことで、「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」の増加傾向が続いているものと考えます。今後もスマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルなどを通じ、市民が生涯にわたって運動・スポーツに親しむためのきっかけづくりを進めていく必要があります。

競技スポーツの振興に向けては、「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」、「市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」ともに昨年より減少しました。今後は、選手が競技に打ち込める環境づくりを進めていくほか、大会需要の状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の環境や大会運営能力などをPRしながら、大会等の効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策16 地球のために今、行動する ―環境の保全と循環型社会の形成―



目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 79.2% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 2050年ゼロカーボン実現に向けて「帯広市ゼロカーボン推進計画」を策定。
- エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への再エネ・新エネ機器の導入費補助の実施や、公共施設や家庭の省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。
- 市民の環境保全に対する意識の向上を図るため、とかち・市民「環境交流会」の開催や環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室、環境学習会、省エネ啓発チラシの全戸配布などを実施。
- 市民のごみの適正排出推進のため、広報紙やSNSの活用、啓発チラシの配布、ごみ懇談会等による周知、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。
- ごみの再資源化や減量化を図るため、資源回収団体に対する資源集団回収奨励金及び十勝資源リサイクル事業協同組合に対する資源回収事業協力金の支給、使用済小型家電の回収などを実施。
- 生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。
- 自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。



「環境学習会」の開催（外来種の駆除体験）



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 18.6% :

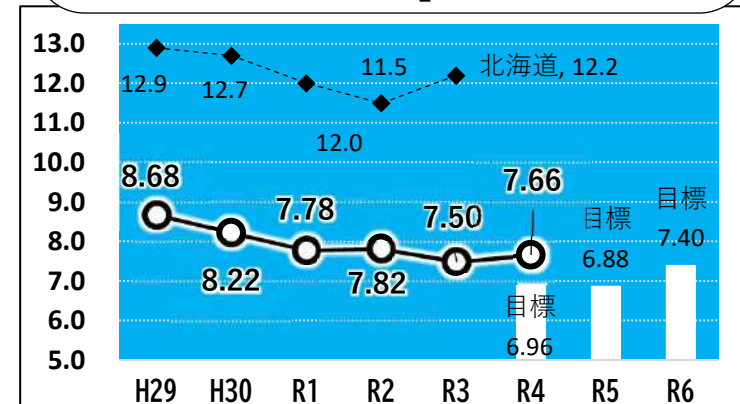
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量			↓
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進などにより、減少を目指します。	基準値 (R2)	7.82t-CO ₂
		実績値 (R4)	7.66t-CO ₂
		目標値 (R4)	6.96t-CO ₂

【図1-1】 1人あたりの温室効果ガス排出量
(t-CO₂)



【指標の動向・要因分析】

「1人あたりの温室効果ガス排出量」は7.66t-CO₂であり、基準値は下回りましたが、目標を達成しませんでした。

前年と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、在宅時間が減少してきたことで、家庭部門のエネルギー消費量が減少した一方、事業活動等の再開に伴い、産業部門・業務その他部門・運輸部門のそれぞれにおけるエネルギー消費量が増加したことが要因と考えます。

今後、令和5年度に策定した「帯広市ゼロカーボン推進計画」に基づき、市内から排出される温室効果ガスの排出割合が最も高い家庭部門の排出量の抑制に向け、省エネなどに関する情報発信や再エネ・省エネ機器の導入支援などを通じた市民の省エネ意識等の醸成を図るとともに、事業所等に対しては省エネ診断の活用の周知などに取り組み、温室効果ガス排出量の削減につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

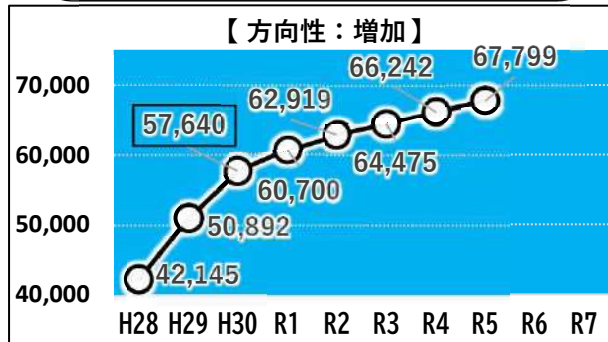
得点率 100.0% :

20点

15点

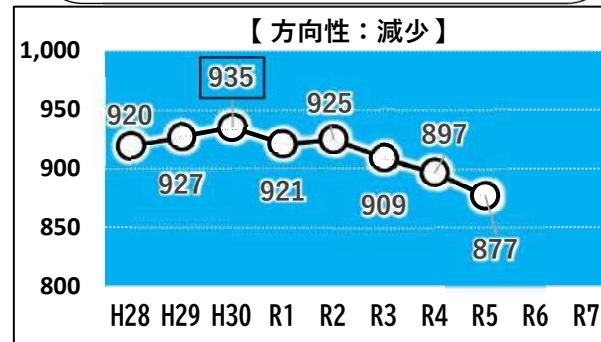
10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量 (t-CO₂)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量 (g)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

再エネ・新エネ機器の導入支援により一般住宅への導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量【図1-2】」の増加につながっています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた事業活動等が徐々に再開されてきたことに伴い、産業部門、業務その他部門、運輸部門におけるエネルギー消費量が増加し、「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」は前年度に比べ増加しました。引き続き、再エネ・新エネ機器の導入支援に取り組むほか、家庭や事業所等での温室効果ガス排出量削減に向け、省エネ意識の向上などに取り組む必要があります。

「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」は、計画策定時及び前年度と比べて減少しました。事業系ごみの排出量が減少傾向にあることや、容器・包装等の軽量化や紙媒体のデジタル化などの企業側のリデュースの取り組みが進み、家庭系資源ごみの排出量が大きく減少したことなどが主な要因と考えられます。一方で、リサイクル率は、前年度24.7%から24.2%に微減しており、3Rの推進やごみの排出抑制及び分別に対する意識の向上に向け、広報紙やごみ懇談会等を活用し、市民への啓発を継続して行っていく必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されているほか、清掃活動への参加者が増加しています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策17 「まさか」に備え今、行動する ―防災・減災の推進―



目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 55.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。
- 災害時要援護者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別支援計画の策定を推進。
- 自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。
- 公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。
- 指定避難所の機能強化を図るため、非常用発電機の整備を実施。
- 建築物の耐震化を促進するため、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。
- 洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。



指定避難所に整備した非常用発電機
(光南小学校)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 31.3% :

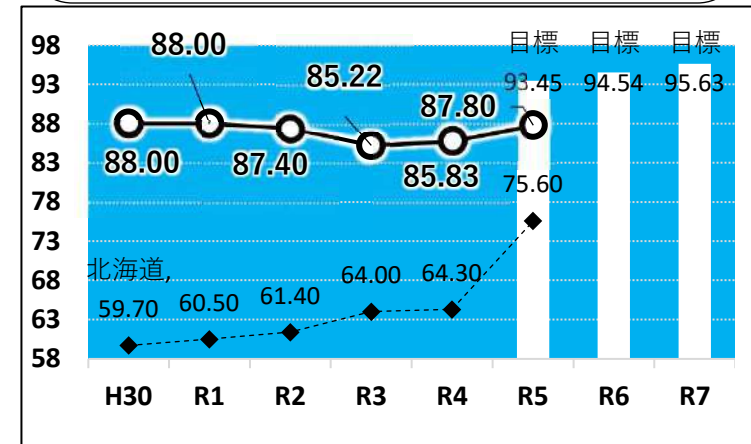
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
自主防災組織活動カバー率			↗
指標の 考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	85.22%
		実績値 (R5)	87.80%
		目標値 (R5)	93.45%

【図1-1】 自主防災組織活動カバー率 (%)



【指標の動向・要因分析】

「自主防災組織活動カバー率」は87.80%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市による防災に関する出前講座やセミナーの開催、リーダー育成などに取り組んでおり、市民の防災に関する意識向上は図られてきていますが、町内会活動自体が新型コロナウイルス感染症を契機に縮小し、活動が感染症前の状態に戻っていないこともあり、自主防災組織の新規設立につながっていないものと考えます。今後も未設立地域への防災出前講座等の開催の働きかけなどを通し防災対策への意識啓発を図り、共助による地域の防災力の向上につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

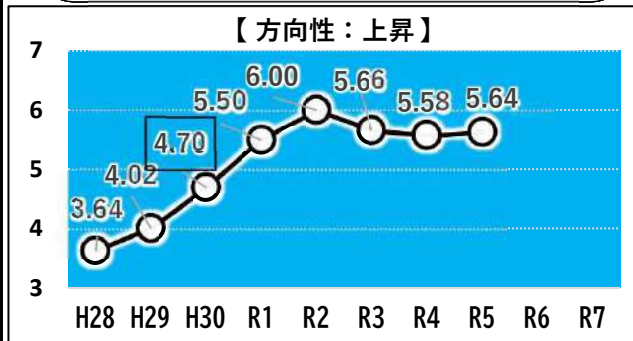
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※ 第1次推進計画期間中、関連データとして「住宅の耐震化率（%）」を示しておりましたが、第2次推進計画期間においては、「事務事業 17-3-1 建築物耐震化推進事業」の指標として当該データを用いることとしました。このため、新たな関連データとして、「応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数（%）」を示しています。応急危険度判定士は、地震の発生後、被災建築物について、余震などによる倒壊の危険性や外壁等の落下する危険性を調査し、その結果に基づき建築物の当面の使用可否を判定する役割を担っています。応急危険度判定士の充足は、二次災害を防止し、市民の住生活に対する不安解消に寄与するものです。

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 70点 /100点〕

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性など防災に関して、出前講座や広報紙、ホームページなどで啓発を行いました。災害時は市民自ら適切に行動することが必要であり、今後も情報発信や、防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、災害時要援護者の把握や、避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。町内会活動自体が新型コロナウイルス感染症を契機に縮小し、活動が感染症前の状態に戻っていないこともあり、「自主防災組織活動カバー率【図1-1】」は微増にとどまっています。今後も、未設立の地域に対して防災出前講座の開催等を働きかけるなど、自主防災組織の重要性についての理解促進を図り、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

二次災害の防止等につながる建物の危険度を判定する「【図1-2】応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数」は前年度と比較し増加しています。応急危険度判定士は、建築士の資格保有が前提条件であることから、今後も建築・建設業界の協力を得ながら北海道と連携し、判定士の養成・登録を進め、地域の防災力の向上につなげていく必要があります。

また、緊急情報一斉伝達システムの運用や指定避難所への非常用発電設備の整備、備蓄資機材の適切な維持・管理により、災害時の様々な事態に迅速かつ的確に対応するための体制の充実を図りました。今後も関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策18 とかで守るみんなの安心 ― 消防・救急体制の確保 ―



目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 効率的な消防体制の維持・確保を図るため、高規格救急自動車の更新のほか、緊急消防援助隊の体制強化、消防隊員の教育・育成強化などを実施(実施主体：とかち広域消防事務組合)。
- 消防水利の確保のため、消火栓の更新、移設、修繕等を実施。
- 消防体制の維持のため、消防庁舎、消防団詰所の維持管理や消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。
- 地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発をはじめ、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実や、安全装備品の整備を進めたほか、老朽化した川西第2分団詰所について、上帯広農業センターとの複合化による更新に向けた実施設計を実施。
- 消防力の充実のため、消防団車両（水槽付消防ポンプ自動車）の更新を実施。



大規模災害対応図上訓練の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 71.8% :

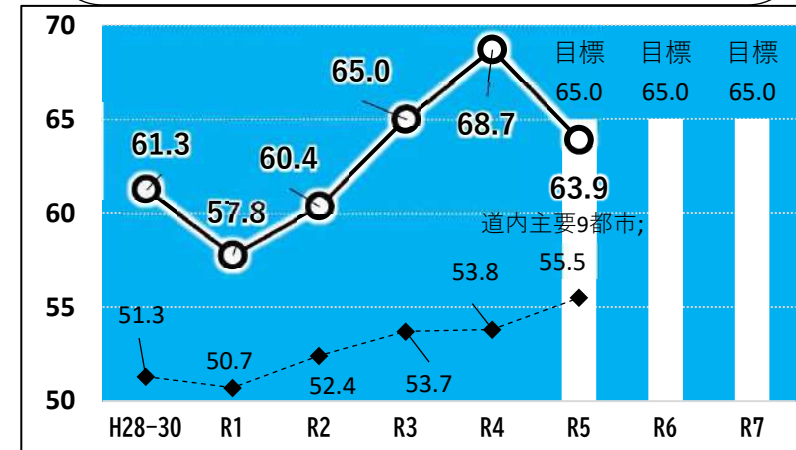
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
応急手当実施率			↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	基準値 (R1-3平均)	61.1%
		実績値 (R5)	63.9%
		目標値 (R5)	65.0%

【図1-1】 応急手当実施率 (%)



【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は63.9%であり、基準値を上回っていますが目標達成に向けて進捗していません。

救命・救急講習の開催やおびひろ救命アシスト事業の推進などを通し、応急手当の知識があるバイスタンダー（けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のこと）を継続的に養成してきており、応急手当実施率は道内主要9都市の平均よりも高い水準を維持しているものの、応急手当の実施が困難な浴室やトイレなど狭い場所での急病人の発生が増えたことなどにより前年度より低下したと考えます。

今後も引き続き、市民への救命・救急講習を実施し、応急手当の知識があるバイスタンダーの養成を進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

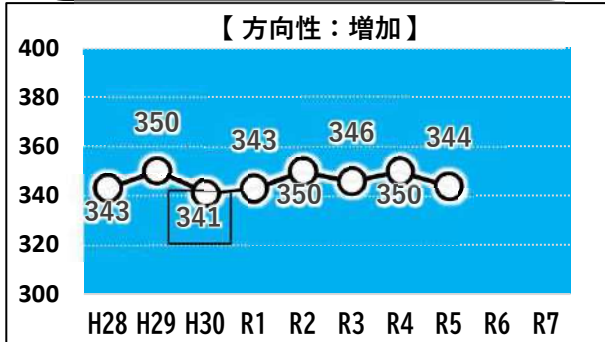
得点率 80.0% :

20点

15点

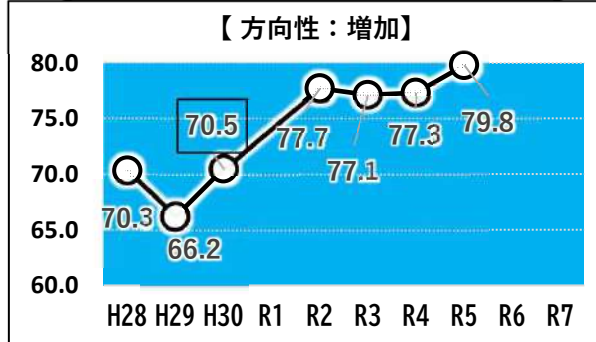
10点

【図1-2】消防団員数
(人)



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】住宅用火災警報器設置率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※ R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、高規格救急自動車の更新や緊急消防援助隊の体制強化、消防職員の教育・育成強化などを進めてきたほか、応急手当の普及啓発として、普通救命講習の定期開催をはじめ、要望に応じた出前講習の開催、救命アシスト事業の推進、リーフレットの配布や広報紙を通じた応急手当のPR活動に取り組んだことにより、応急手当ができる市民は増加しています。しかしながら、発生場所の影響で応急手当が実施できないなどの状況があり、「応急手当実施率【図1-1】」が前年度より低下しました。応急手当ができる市民が増えることは応急手当実施率の向上につながるため、救命講習やイベント等を通じ、応急手当の重要性についての理解促進を図るなど、普及啓発活動の強化を図る必要があります。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報紙でのPR等を実施してきたほか、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなどして、消防団協力事業所表示制度の周知を図ってきたことにより、消防団協力事業所数は前年度より増加し、地域防災力の向上に繋がっています。一方、団員の高齢化や担い手不足などにより「消防団員数【図1-2】」は前年度よりも減少し、組織体制への影響が懸念されることから、引き続き企業などと連携を図るとともに、若年世代の入団促進に向け、SNS等を活用した情報発信の強化などに取り組み、消防団員が活動しやすい環境づくりや消防団活動への理解を促進していく必要があります。

また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は計画策定時及び前年度よりも増加していますが、さらなる設置率増加を目指して、各種イベントや出前講座など対面による普及啓発の取り組みのほか、効果的な広報媒体を通じて火災予防意識の向上を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策19 みんなでつくる笑顔と安全 — 安全な生活環境の確保 —



目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 63.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や、関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。
- 安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標を設置。
- 防犯意識の向上のため、市公式SNSを活用した情報提供や、回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。
- 消費者が自らの利益の擁護のため自主的かつ合理的に行動することができるよう、消費生活に関する正しい知識の普及や、消費者被害の未然防止を図るための各種講座や講演会を開催。
- 市民の安全で合理的な消費を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。
- 夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援。



交通安全教室の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲1,100.0% :

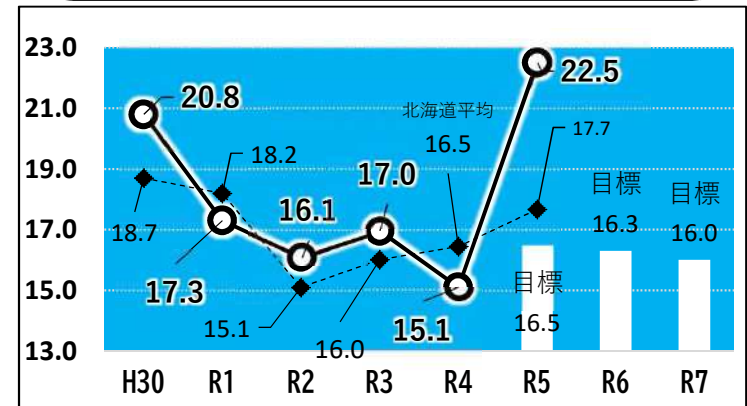
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1万人あたりの交通事故発生件数			↓
指標の考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (R3)	17.0件
		実績値 (R5)	22.5件
		目標値 (R5)	16.5件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数 (件)



【指標の動向・要因分析】

「1万人あたりの交通事故発生件数」は22.5件であり、目標を達成しませんでした。

市では、高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室や道路の環境整備などを行ってきており、令和5年の交通事故死は0件となっていますが、交通事故の発生件数は大きく増加しました。

国全体でも同様の傾向が見られており、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会活動が活発化したことが要因であると推測されています。

今後も、関係機関や団体等と連携しながら高齢者や子どもなどへの交通安全教育のほか、生活道路の整備や安全標識の設置などの取り組みなどを通し、市民の交通ルール遵守意識の向上につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

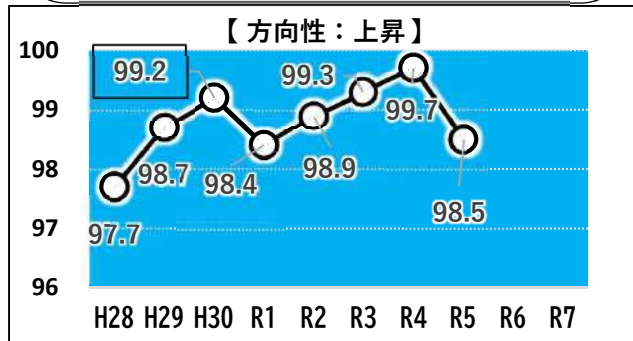
得点率 0.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】消費生活相談の解決率
(%)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催などを通し、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組みました。しかしながら、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」は、国全体の傾向と同様に前年より増加しています。また、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の維持管理に係る支援を継続して行っていますが、刑法犯の認知件数は、令和4年の560件から582件とやや増加しています。今後も、交通安全・防犯意識の向上のほか、交通事故・犯罪の防止に向けた啓発や、環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止に向け、消費生活に係る情報提供や相談対応などを行ったことにより、「消費生活相談解決率【図1-2】」は、高い水準を維持しているものの感染症の5類移行を契機とした消費行動の活発化に伴う、相談件数の増加や相談内容の複雑化により前年を下回っています。今後も意識啓発や相談対応に取り組み、消費者意識の醸成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策20 未来につなぐ、おいしい水 – 上下水道の基盤強化 –



目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道が確保されています。



！ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 水道水の安定供給を図るため、配水管整備や配水場等の機器設備更新、配水池への緊急遮断弁の設置に向けた取り組みを実施。
- 快適な生活環境づくりのため、雨水管や污水管、個別排水処理施設を整備。
- 下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や污水处理施設統合に向けた取り組みを実施。
- 災害時の体制を維持するため、災害対策備蓄資器材の充実や災害訓練を実施。
- 物価高騰等の影響を受ける水道使用者の支援のため、水道料金の基本料金免除を実施。
- 上下水道に関する理解促進のため、PR動画の製作・公開や「水を見る週間」などのイベントを通したPR、マンホールカードの制作・配布を実施。
- 利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。
- 安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。
- 環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元や発生ガスの有効活用を実施。
- 下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。
- 市民サービスの向上やコスト削減のため、各種手続き、窓口業務を集約化する帯広市上下水道お客様センターの開設準備を実施。



上下水道事業のPR動画



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 188.9% :

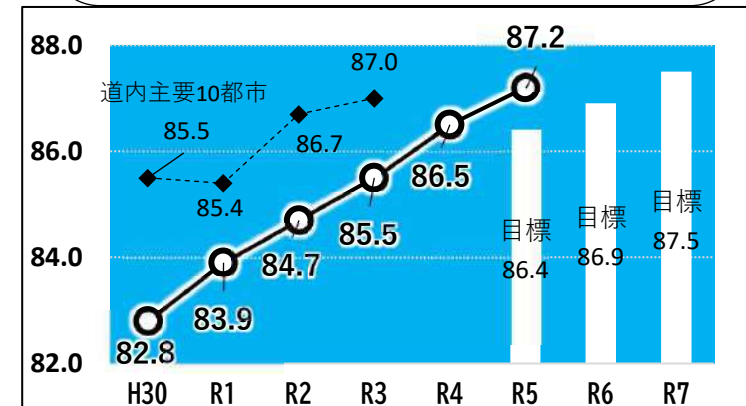
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
水道管路の耐震適合率			↗
指標の考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	85.5%
		実績値 (R5)	87.2%
		目標値 (R5)	86.4%

【図1-1】水道管路の耐震適合率 (%)



※道内主要10都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、室蘭市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「水道管路の耐震適合率」は87.2%であり、目標を達成しました。

市の配水管整備事業により、耐用年数を迎えた塩化ビニール管を国の耐震基準に適合する耐震性に優れたダクトイル鋳鉄管などに計画的に更新してきたことによるものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

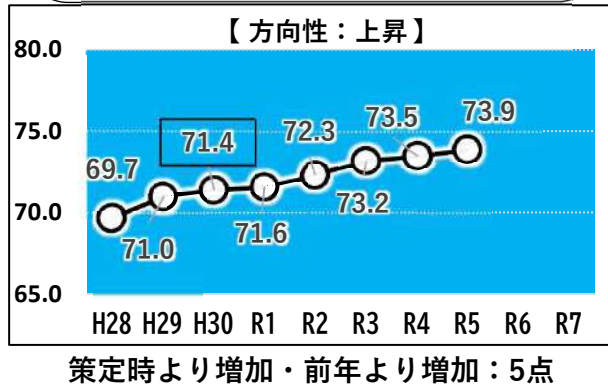
得点率 100.0% :

20点

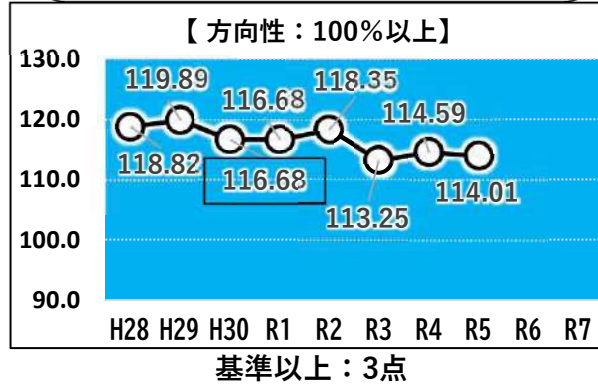
15点

10点

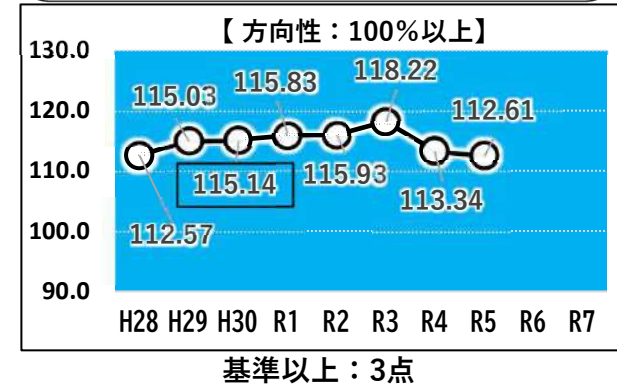
【図1-2】 雨水整備率
(%)



【図1-3】 経常収支比率（水道事業会計）
(%)



【図1-4】 経常収支比率（下水道事業会計）
(%)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」や「雨水整備率【図1-2】」が上昇しています。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しており、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営が維持されています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少や施設の老朽化に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解を促進するとともに、中長期的な視点を持ち、より健全かつ安定的な経営につながる取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策21 未来につなぐ、住みよいまち ―都市基盤の整備と住環境の充実―



目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 91.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。
- 緑地の保全や緑化の推進に取り組むため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。
- 居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境の提供を促進するため、地域優良賃貸住宅等への家賃補助を実施。
- 中心市街地の活性化のため、イルミネーションプロジェクトやホコテンなどのまちなか活性化に向けたイベントなどに対する支援のほか、新規事業展開の支援を実施。
- 地域公共交通の維持確保のため、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。
- 地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けた情報発信や相談対応、改修補助のほか、特定空き家解体に係る補助を実施。



解体につながった特定空き家



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 97.8% :

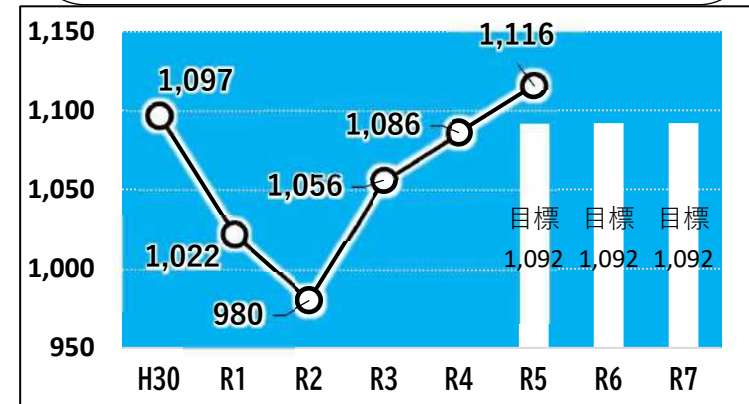
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空き家数			↓
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (R4)	1,086箇所
		実績値 (R5)	1,116箇所
		目標値 (R5)	1,092箇所

【図1-1】空き家数
(箇所)



【指標の動向・要因分析】

「空き家数」は1,116箇所であり、目標を達成しませんでした。

市では、空き家に関する情報発信や相談対応、除却・改修補助などの取り組みを実施しましたが、空き家の利活用及び除却の件数が昨年度に比べ減少しており、空き家数が増加しています。要因としては解体費用の上昇に加え、アスベスト調査の義務化により調査に要する費用が増加したことで、除却に係る金銭的負担が大きくなったことが影響していると考えます。

引き続き、所有者への適切な管理等を求めていくとともに、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

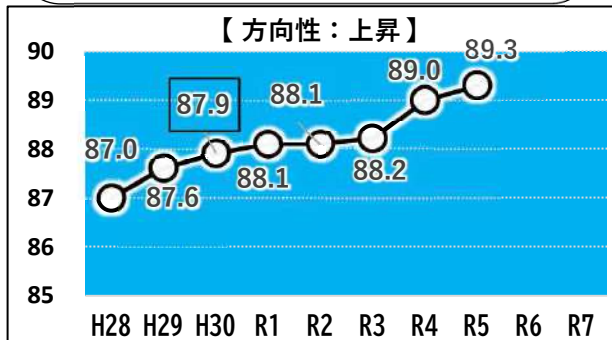
得点率 76.0% :

20点

15点

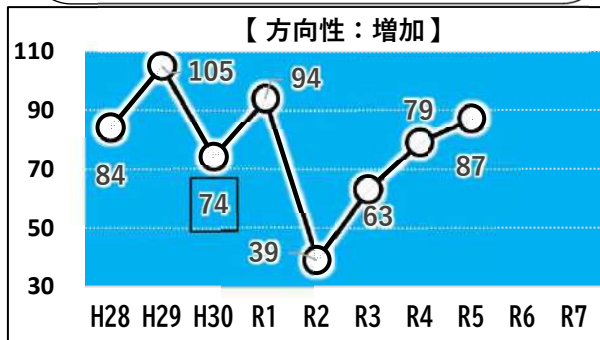
10点

【図1-2】都市計画道路の整備率
(%)



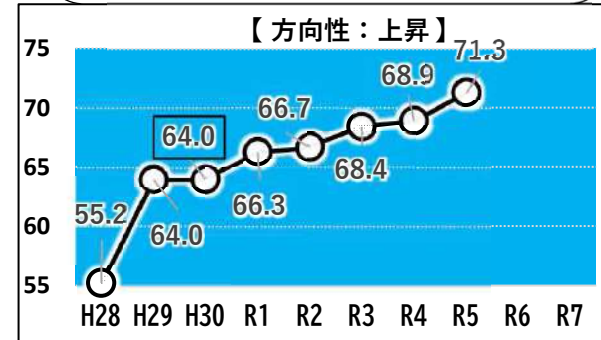
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】公園行為許可件数
(件)



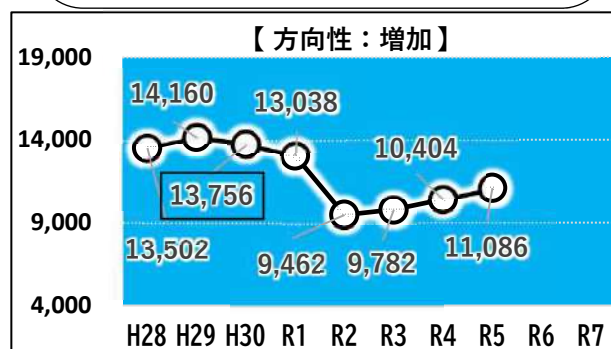
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市
営住宅等の割合 (%)



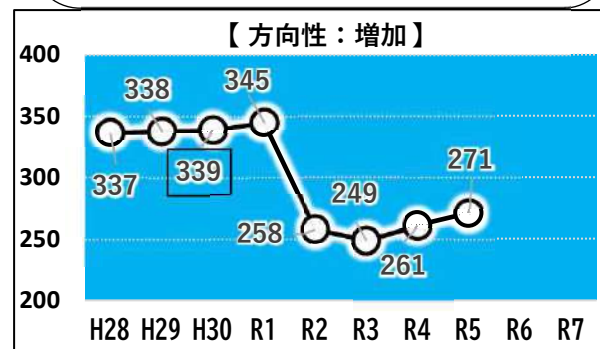
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時
の歩行者通行量 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-6】市内運行路線における路線バス
年間利用者数 (万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

中心市街地の活性化については、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、仕事・旅行等による来街が増え、歩行者通行量が徐々に回復してきたことから「中心市街地歩行者通行量【図1-5】」は前年度比では増加しています。計画策定時の数値を上回るよう、今後も関係団体や事業者等と連携し、にぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

公園の適正管理や利活用促進に向け、公園緑地の整備や維持管理のほか、市民協働による帯広の森の育成・利活用などを進めており、「公園許可行為件数【図1-3】」は前年度より増加しています。今後も、緑ヶ丘公園や帯広の森をはじめとした公園緑地の利活用方法や活用例の情報発信などにより、健康や福祉、観光、地域活性などの分野でのみどりの利活用を促進し、公園の魅力の向上につなげていく必要があります。

人口構成の変化に対応した住まいを提供するため、民間事業者を活用した子育て世帯・高齢者世帯向けの公的賃貸住宅を供給したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた市営住宅の建て替えを進めたことにより、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅の割合【図1-4】」は前年より増加しています。また、空き家については、除却費用の上昇などにより除却数が減少したほか、利活用も減少し、「空き家数【図1-1】」は増加しています。今後も、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備により、都市計画道路の整備【図1-2】が進んだほか、橋梁や大型標識の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理にも取り組みました。また、除雪については、除雪体制の確保や除雪方法の情報発信を行ったことで、前年より問い合わせ件数が減少しました。生活道路や歩道などにおいて、迅速かつ柔軟に除雪を実施したことが効果的であったと考えます。引き続き、道路の計画的な整備や、定期的な維持管理を行うほか、降雪時間や気温などを踏まえた効率的な除雪の実施、市民へのわかりやすい除雪情報の発信などを通し、除雪方法等の理解促進に努めていく必要があります。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めていることに加え、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出等への影響が緩和してきたことから、「市内運行路線における路線バス利用者数【図1-6】」は前年より増加しましたが、策定時までの回復には至っておりません。今後も、交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、利用者のニーズに即した公共交通サービスの利便性向上及び利用促進に向けた取り組みを進め、持続可能な公共交通サービスを確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が30点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策22 認め合い、つながり、暮らす —多様な主体が活躍する地域社会の形成—



目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 68.2% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、交付金補助による町内会の活動支援や、町内会活動の周知、町内会への加入啓発等を実施。また、市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。
- 国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。
- 移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。
- 男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や、啓発パンフレットを配布。
- アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、生活文化展や講演会の開催のほか、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）、アイヌ文化とのふれあいゾーン（緑ヶ丘公園）を活用した周知啓発を実施。
- アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。
- 平和意識の啓発を図るため、平和カレンダーの作成、配布やパネル展を実施。



市民提案型協働のまちづくり支援事業
団体の活動の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 525.0% :

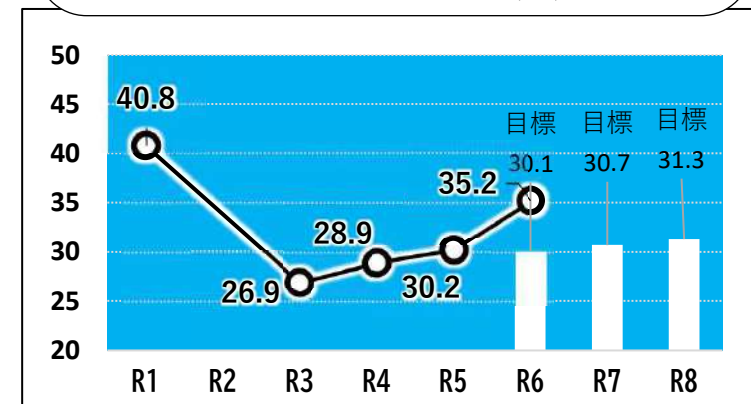
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	28.9%
		実績値 (R6)	35.2%
		目標値 (R6)	30.1%

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合（％）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は35.2%となり、目標を達成しました。

市では市民主体のまちづくり活動の紹介や相談窓口の設置などにより地域社会活動の促進に取り組んでおり、市民団体や民間企業等において自主的な社会貢献活動が展開されるなど、まちづくりに参画する主体の広がりが見られることに加え、感染症の影響で活動を自粛していた町内会や各団体が活動を再開していることが上昇の要因と考えます。

今後も、町内会や市民団体、民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体への活動支援などを通し、市民の地域社会活動への主体的な参加を促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

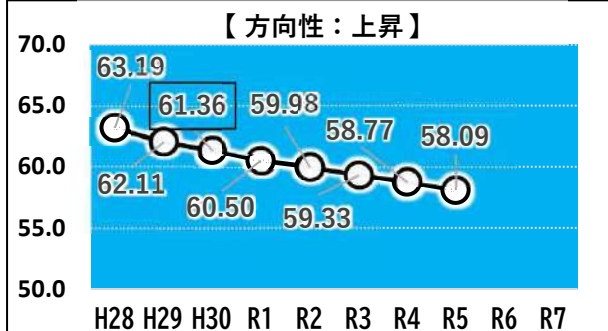
得点率 20.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 町内会加入率
(%)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 国際理解推進事業・国際交流事業参加者数 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

※ 第1次推進計画中、関連データとして「審議会等への女性の参画率 (%)」も掲載しておりましたが、第2次推進計画期間において、「事務事業 22-3-1 女性活躍推進事業」の指標として当該データを用いる事になりました。

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業やこども学校応援地域交付金事業、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がりつつあります。加えて、感染症の影響によって活動を自粛していた町内会や各団体の活動再開により、「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は、目標値を5.1ポイント上回りました。今後も市民団体やNPO等のまちづくりに参加する多様な主体の活動を支援するなど、コミュニティ活動を促進していく必要があります。また、「町内会加入率【図1-2】」は依然として減少傾向にあり、町内会の活動内容や役割の周知啓発、役員の負担軽減など具体策の検討を進め、持続可能な町内会活動を支援していく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成のほか、在住外国人に向けた生活に必要な情報の提供などの取り組みを行いました。また、イベントなどで国際交流ボランティアに関する周知に取りんだほか、関係機関と連携してボランティア向け講座を開催し、国際交流ボランティア登録者は増加しました。さらに、一部のイベントを見直し、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」も、増加傾向にあることから、今後も各国の多様な文化への理解促進を図りながら、市民主体の交流を促進していく必要があります。

女性活躍の促進や一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、女性活躍などの男女共同参画講座の実施に取り組み、対面とオンラインを併用した開催方法が定着してきたことや話題性のある講師の選定により、講座の参加者数を増やすことができました。また、デートDV予防にかかる講座や、女性に対する暴力の根絶などの意識向上を図る取り組みを進めていますが、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等も依然として存在しています。引き続き、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていくことが必要と考えます。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族に関する生活文化展や講習会の開催などに取り組みました。生活文化展等のイベントへの参加者数やリウカの利用者数は、感染症流行前の水準に回復してきていますが、今後も様々な情報発信の手法を検討し、アイヌ民族の歴史・文化への更なる理解促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策23 未来に夢をつなぐ – 自治体経営の推進 –



目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 94.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民に行政情報を分かりやすく伝えるため、各種行政手続きの手順や施設の利用案内等に係る動画をSNSで発信したほか、広報紙やホームページなど、様々な媒体を活用した情報発信を推進。
- 効果的・効率的な行政運営に向け、保育所の民間移管や学校における用務業務等の民間委託、RPA(※1)、AI-OCR(※2)、グループウェア(※3)等のICT(※4)を活用した事務改善など、行財政改革の取り組みを推進。

※1 RPA：定型的業務を自動化する技術 ※2 AI-OCR：AI（人工知能）を搭載した文字認識技術

※3 グループウェア：情報共有やコミュニケーションを円滑にし、業務効率化を促進するソフトウェア

※4 ICT：情報通信技術

- まちづくりに関する取り組みの状況を市民と共有するため、第七期総合計画の進捗状況を取りまとめて公表。
- 公共施設等のマネジメントの推進に向け、長寿命化や施設総量の適正化などを図るため、コミュニティ施設、保健・福祉・医療施設の個別施設計画を策定。
- 自主財源の確保・拡大を図るため、ふるさと納税に係る返礼品の充実や制度改正に対応した事務経費の削減、未利用地・低利用地の売払いや貸付けのほか、新たな取り組みの検討などを実施。
- 市民の日常生活における様々な問題の解決支援のため、市民相談員による一般相談や弁護士無料相談を実施。
- 職員の意欲や能力の向上を促すため、職員に対して各種研修等を実施したほか、eラーニングによる自己啓発機会を提供。
- 市民に分かりやすい窓口サービスを提供するため、戸籍住民課窓口における住民票等の申請書統一や来庁者の導線の見直しなどを実施。



窓口サービスの導線の見直しなどを実施



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 20.9% :

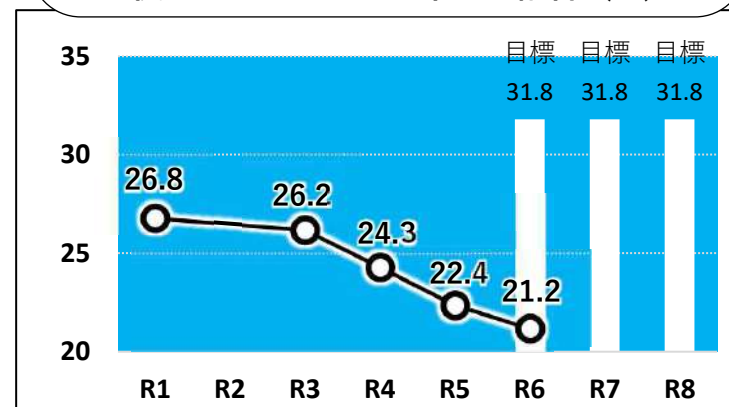
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合			↗
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	24.3%
		実績値 (R6)	21.2%
		目標値 (R6)	31.8%

【図1-1】まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合（％）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は21.2%であり、目標を達成しませんでした。

市では、市長への手紙や部長職による市民との懇談など、さまざまな機会を通じて市民の意見や要望を把握し、保育所の民間移管や学校における用務業務等の民間委託、ICTを活用した事務改善、ふるさと納税を通じた自主財源の確保など、事業の見直し等を図りながら、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めており、その状況を広報紙やSNS、市長記者会見、ふれあい市政講座の実施など、多様な手法・機会を通じて情報発信してきましたが、目標値との乖離が生じています。

「有効に税金が使われていない」と回答した理由として、「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合は64.4%、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」を選択した割合は55.1%となり、前年と同様に高い値となっています。

今後も、「有効に税金が使われていると思う市民の割合」の上昇に向けて、市民の声を踏まえながら事業の見直し等を図り、取り組み状況を多様な媒体を通じて分かりやすく発信することで、まちづくりに対する納得感を高めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

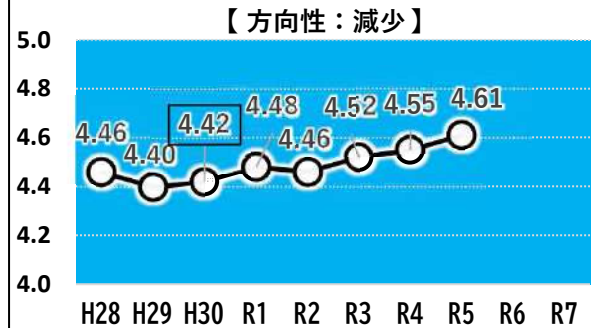
得点率 68.0% :

20点

15点

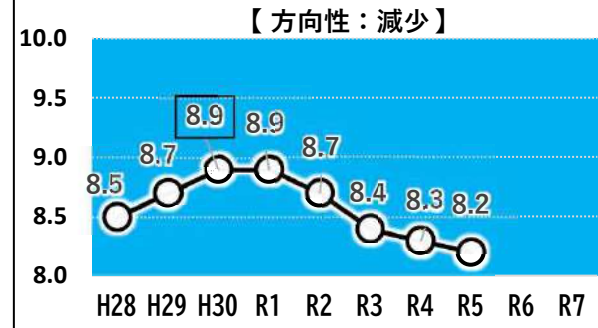
10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの施設延床面積 (㎡)



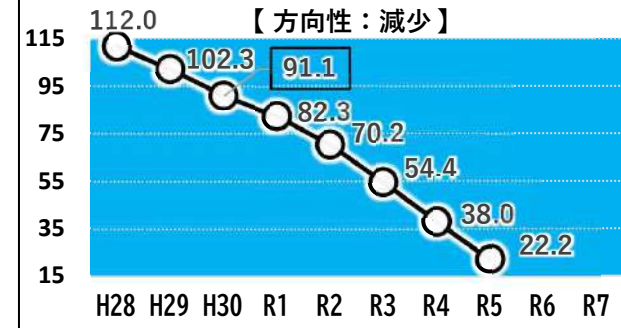
策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】実質公債費比率 (%)



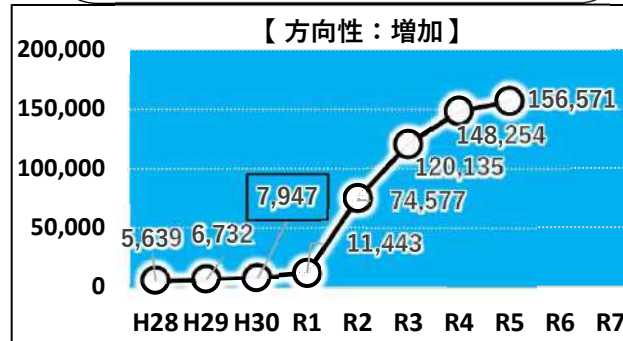
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】将来負担比率 (%)



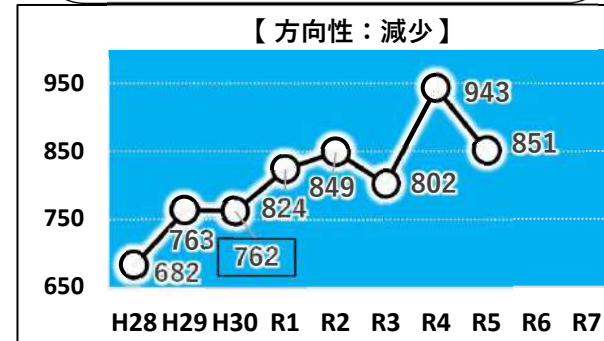
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数 (件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数 (人)



策定時以上・前年より減少：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

まちづくりの考え方や取り組みに対する理解促進に向け、広報紙や市長記者会見のほか、ホームページ、SNS、動画などのデジタル媒体を通じた積極的な情報発信に取り組んできており、「SNS等登録者数【図1-5】」は増加しています。しかし、まちづくりアンケートにおいて「まちづくりのために、有効に税金が使われていない」と回答した人の6割が、その理由として「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択していることから、今後も多様な媒体を通じ、まちづくりの取り組みの内容や成果を分かりやすく発信するほか、市民との対話も進めながら、市民の声を踏まえた事業の見直し等に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」、「将来負担比率【図1-4】」はともに減少しています。また、RPAやAI-OCR等のICTを活用して作業時間の縮減を図るなど、業務の効率化に向けた取り組みを進めてきたことにより、「月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数【図1-6】」は前年と比べ92人減少しましたが、依然として高い水準で推移していることから、今後も組織全体で事業の見直しや、ICTの活用促進による業務の効率化に取り組んでいく必要があります。

適正な業務執行の確保に向けては、定期監査や決算審査を実施しているほか、建設工事等の入札について、対象範囲の拡大等を図ってきたことなどに伴い、ほぼ全ての入札を一般競争入札により執行しています。

公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化に向けては、公共施設マネジメント計画に基づき、施設の統廃合や長寿命化などの取り組みを進めておりますが、市営住宅の建て替えや動物園内のビジターセンターなどの設置により「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比べて増加しています。今後、財政面での制約がより強まると見込まれることから、各施設の老朽化の進行状況や利用に対するニーズの変化などを捉え、市民の理解と協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、各種研修等の実施のほか、eラーニングによる自己啓発機会の提供などを行っています。

他自治体との連携においては、廃棄物処理や水道、消防業務などの共同実施のほか、フードバレーとかちの推進や救急医療体制等の確保、観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施など、定住自立圏形成協定に基づく取り組みを推進しており、連携による事務の効率化や地域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などと連携・協力し、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

施策 1 取組 1 番号 1 事務事業 健康づくり推進事業									
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。					担当課	健康推進課		
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。								
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改27人、健康30人） ・健康マイレージの推進（参加者数延4,458人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延99社） ・おびひろ健康まつりの実施（R5来場者数940人）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		2,404	0	0		
			特定財源		200	0	0		
			一般財源		2,204	0	0		
	指標名		健康マイレージ事業参加者数				単位	人	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度の健康マイレージ事業の参加者数は4,458人であり、目標を達成しませんでした。広報紙やパネル展などでの周知や、企業へ協賛の働きかけを行いました。協賛企業の加入が少なく事業としての魅力が不足したことが要因と考えます。今後は他課や関係機関と連携して協賛企業を増やし、積極的に周知をしながら、事業内容を充実させていく必要があると考えます。		2,878		4,500	5,000	5,400		
			4,458						

施策 1 取組 1 番号 2 事務事業 保健衛生普及啓発事業									
目的	保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。					担当課	健康推進課		
目標	保健衛生に関する情報提供体制を維持します。								
事業実施状況	・ 献血の普及啓発 ・ 臓器等提供の普及啓発 ・ 北海道難病連十勝支部への支援 ・ 健康づくりガイドの作成 ・ 地元食材の活用促進の啓発 ・ 公衆浴場の利用促進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	18,476		0		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	18,476		0		0		
		指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、健康づくりガイドの作成・配布のほか、各事業について広報紙やホームページ等を通じ情報提供・普及啓発を実施し、保健衛生に関する情報提供を進めてきており、目標を達成しました。								

施策 1	取組 2	番号 1	事務事業 疾病対策事業										
目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。						担当課		健康推進課				
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について69.3%を目指します。												
事業実施状況	・がん対策の実施（受診者延29,178人） ・市民健康診査等の実施（受診者134人） ・肝炎ウイルス検診の実施（受診者627人） ・骨粗しょう症検診の実施（受診者118人） ・結核検診の実施（受診者116人） ・各種健診の受診勧奨・事後指導 ・糖尿病対策の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		145,227		0		0		
					特定財源		3,023		0		0		
					一般財源		142,204		0		0		
	指標名		大腸がん検診の精密検査受診率						単位		%		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値			
				実績値			実績値			実績値			
			66.9		69.3		69.3				69.3		
		68.6											
評価検証	R5年度の大腸がん検診の精密検査受診率（R3年度の確定値）は68.6%であり、目標を達成しませんでした。 集団検診に加え施設検診の精検未受診者への再勧奨を実施しましたが、精密検査の費用はがん検診に比べ自己負担が増大することや、検診結果を重要視していない方が多いことが影響していると考えます。前年度と比較すると受診率は増加していることから、今後も勧奨を継続し大腸がんの早期発見・早期治療の重要性について周知していく必要があります。												

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 2 事務事業 健康教育事業												
目的		健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。					担当課		健康推進課			
目標		健康講座の受講者数について毎年４％の増加を目指します。										
事業実施状況	・ 集団健康教育の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		3,580		0		0	
					特定財源		514		0		0	
					一般財源		3,066		0		0	
	指標名		健康講座受講者数						単位		人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	857			927		964		1,003				
評価検証	R5年度の健康講座の受講者数は2,358人であり、前年度（1,403人）に比べ68.1%の増となり目標を達成しています。新型コロナウイルス感染症が５類感染症へ移行したことにより、依頼件数が増加したことが要因と考えます。											

施策 1 取組 2 番号 3 事務事業 健康相談・訪問支援事業									
目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。					担当課	健康推進課		
目標	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について884件を目指します。								
事業実施状況	・健康相談の実施 ・保健指導・受診勧奨の実施 ・保健福祉サービスに関する情報提供		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		1,667	0	0		
			特定財源		386	0	0		
			一般財源		1,281	0	0		
	指標名		健康相談・訪問件数				単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	749			884		884		884	
評価検証	R 5年度の健康相談・訪問の件数は1,418件であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症の影響による、健康への不安や新型コロナワクチンに関する相談の増加が要因と考えます。引き続き、市民が健康に関する不安を相談できるよう相談先の周知と相談体制の充実をはかります。								

施策 1 取組 2 番号 4 事務事業 自殺対策事業									
目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通し自殺予防を図ります。					担当課	健康推進課		
目標	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるゲートキーパーの累積養成者数について1,864人を目指します。								
事業実施状況	・帯広市生きるを支える連携会議の開催 ・ゲートキーパー養成（4回141名） ・多分野合同研修会の実施（2回99名） ・SOSの出し方教室（3回42名） ・こころの健康づくりの普及啓発（こころの体温計、パネル展等）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	513	0	0			
			特定財源	240	0	0			
			一般財源	273	0	0			
			指標名	ゲートキーパー養成講座の累積養成者数				単位	人
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,505	1,675	1,767	1,864				
		1,816							
評価検証	R5年度のゲートキーパーの累積養成者数は1,816人（R5養成者数141人）であり、目標を達成しています。従来の養成講座に加え、場所や日時を指定したオープン講座を開催したことで、養成者数の増加につながったものと考えます。								

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 5 事務事業 感染症予防事業											
目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。					担当課	健康推進課				
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（２期）の接種率について95.0%を目指します。										
事業実施状況	・予防接種の周知啓発 ・定期接種の実施（接種者延54,256人） ・中学３年生・高校３年生のインフルエンザ予防接種費用助成の実施（接種者延724人） ・風しん抗体検査の実施（受検者延138人） ・新型インフルエンザ対策行動計画の推進 ・感染症発生状況の把握、情報発信 ・エキソコックス症血清検査の実施（受診者延115人） ・積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方へのHPVワクチン予防接種の実施（接種者延515人） ・新型コロナウイルスワクチンの接種の実施（接種者延71,369人）				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費		736,373	0	0		
					特定財源		477,999	0	0		
					一般財源		258,374	0	0		
	指標名		麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率				単位	%			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	91.3			95.0			95.0			95.0	
				91.5							
	評価検証	R５年度の麻しん・風しん混合ワクチン（２期）の接種率は91.5%であり、目標を達成しませんでした。 対象者の保護者に対して、５月と12月に個別通知を送付したほか、就学時健診の際にチラシを配布する等の勧奨を行いました。必要性が十分に伝わらなかったことが要因であると考えます。今後も、個別通知のタイミングや内容を工夫して勧奨を行い、感染症対策と予防接種の必要性について周知啓発を図ります。									

施策 1 取組 2 番号 6 事務事業 健康増進計画（けんこう帯広21）推進事業											
目的		健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。					担当課		健康増進課		
目標		-									
事業実施状況	・「けんこう帯広21」の推進 ・第三期けんこう帯広21の策定		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		70		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		70		0		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 1 取組 2 番号 7 事務事業 保健福祉センター等管理運営事業										
目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。					担当課	健康推進課			
目標	-									
事業実施状況	・保健福祉センターの管理運営（利用者延28,657人） ・大正健康増進センターの管理運営（利用者延636人） ・川西健康増進センターの管理運営（利用者延3,307人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		46,373		0		0		
		特定財源		1,329		0		0		
		一般財源		45,044		0		0		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 8 事務事業 保健・介護一体的実施推進事業									
目的	高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施することにより、心身の多様な課題に対し、きめ細やかな支援を行うことで、健康寿命の延伸を目指します。					担当課	健康推進課		
目標	-								
事業実施状況	・企画調整担当保健師の配置 ・医療関係団体等との連絡調整 ・地域健康課題の分析・対象者把握 ・高齢者に対する個別支援の実施（延26人） ・通いの場等への積極的な関与（12団体、189人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	421	0	0	
					特定財源	6,801	0	0	
					一般財源	△6,380	0	0	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	1	事務事業　のびのび子育て応援事業									
目的	地域担当保育士による乳児家庭訪問や保育所を活用した取り組み等により、家庭での子育てを支援します。						担当課		こども課						
目標	高校生や短大生などを対象とした、子どもの人権に対する理解促進を図る出前講座の参加者数について600人を目指します。														
事業実施状況	・こんにちは赤ちゃん訪問事業の実施（376回） ・あそびの広場事業の実施（124回、732組、1566人） ・保育所地域支援事業の実施（113組、238人）（保育体験、親子で保育参加、小中高校生保育体験受け入れほか） ・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施（24回、840人） ・サンデーファミリーの実施（12回、142組、392人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		2,705		0		0		
							特定財源		2,339		0		0		
							一般財源		366		0		0		
	指標名		出前講座の参加者数						単位		人				
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値		
		474		600 840		600				600					
評価検証	R5年度の出前講座の参加者数は840人であり、目標を達成しました。 市の働きかけに応じていただいた学校関係者の協力のもと、昨年同様の実施校を維持できたことが要因と考えます。 近い将来、子育て世代になる高校生や大学生などに対し、子どもが享受すべき人権に対する理解を促進をするため、今後も継続して実施していくことが必要と考えます。														

施策	2	取組	1	番号	2	事務事業 食育推進事業(保育所)											
目的	保育所での行事等を通して、児童の食に対する関心を高めるとともに、食と健康についての意識啓発を図ります。					担当課		こども課									
目標	食を通じた健康づくりを促進する食育講座（市主催）の1所あたりの平均参加人数について19人を目指します。																
事業実施状況	・行事での祝事食の提供（3回） ・ふるさと給食の提供（4回） ・保護者、児童向け食育講座の実施（7回、87人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		721		0		0					
						特定財源		0		0		0					
						一般財源		721		0		0					
						指標名		1所あたりの食育講座参加人数						単位		人	
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	11		19		19		19										
			15														
評価検証	R5年度の1所あたりの食育講座参加者数は15人であり、前年度より増加したものの目標を達成しませんでした。 保護者懇談会等の機会を活用し開催してきましたが、子ども特有の様々な感染症の流行等により参加人数が伸び悩んだと考えます。 今後は、開催回数を増やすなど、参加者の増加に向けた取り組みを実施するとともに、給食だよりを活用し、取り組みの周知や意識啓発をはかっていく必要があると考えます。																

施策	2	取組	1	番号	3	事務事業 子育て支援事業											
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課		子育て支援課									
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,563件を目指します。																
事業実施状況	・絵本との出会い事業の実施（配布対象901人） ・ファミリーサポートセンター事業の実施（818人、2,167件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数291事業所） ・利用者支援事業（基本型）の実施（転入者対応89件） ・出産子育て応援給付金の支給（2,285人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		106,066		0		0					
						特定財源		99,738		0		0					
						一般財源		6,328		0		0					
						指標名		ファミリーサポートセンター事業の利用件数						単位		件	
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
						1,510		1,533 2,167		1,548		1,563					
評価検証	R5年度ファミリーサポートセンター事業の利用件数は2,167件であり、目標を達成しました。 チラシによる周知や提供会員講習会を継続実施してきたことで、ファミリーサポートセンター事業の地域への認知度が高まり、利用件数、登録者数ともに増加傾向にあります。 今後も、地域の需要に応じた取り組みを進めていく必要があると考えます。																

事務事業評価表

施策	2	取組	1	番号	4	事務事業 歯科保健事業										
目的	幼児期の継続的な歯科健診等を通して、口腔の健康管理のための正しい知識の普及を図ります。						担当課		健康推進課							
目標	乳幼児の虫歯保有率の低下を目指します。															
事業実施状況	・集団歯科健診の実施 ・歯科医療機関での歯科健診、フッ化物塗布の実施						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	10,614		0		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	10,614		0		0				
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年度は、1歳6か月児から6歳児における虫歯保有率が平均0.5ポイント増加しました。 3歳児健診以降は直接勧奨を行う機会がなく、定期的な歯科健診の習慣を得にくいことが要因と考えます。年齢が上がるにつれ虫歯保有率は上昇傾向にあることから、今後も定期的な歯科健診やフッ素塗布等の口腔の健康管理について、子育てアプリ等を活用しながら啓発を図る必要があると考えます。															

施策		2	取組	1	番号	5	事務事業 食育推進事業（一般家庭）									
目的		料理教室などを通して、食と健康についての意識啓発や乳幼児期の栄養指導を行い、親子の健康の保持増進を図ります。						担当課		健康推進課						
目標		食と健康に関する理解を促進します。														
事業実施状況	・親子料理教室の開催(参加者延32人) ・パパと子の料理教室の開催（参加者延15人） ・離乳食教室の開催（参加者延178組） ・乳幼児栄養相談の実施						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		842		0		0			
							特定財源		14		0		0			
							一般財源		828		0		0			
							指標名		-						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
評価検証		R5年度の親子料理教室、パパと子の料理教室は、概ね定員の参加者数となりました。土曜日の開催やWEB予約の導入により、参加のしやすさや申し込み方法の選択肢が広がったことが要因と考えます。今後も各事業を継続実施し、食と健康について正しい知識の普及を進めていく必要があると考えます。														

施策 2 取組 1 番号 6 事務事業 地域子育て支援センター事業											
目的	地域子育て支援センターにおいて、育児相談や地域と親子の交流の場の提供を行い、地域での子育てを支援します。						担当課	子育て支援課			
目標	地域子育て支援センターが実施する子育てに関する講座等への参加組数の増加を目指します。										
事業実施状況	・地域子育て支援センターの運営（施設数6箇所、利用件数25,597件） ・地域子育て支援センター支援事業（参加組数3,988組）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	41,957		0		0			
			特定財源	39,345		0		0			
			一般財源	2,612		0		0			
			指標名 子育て支援センター支援事業参加組数				単位		組		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			2,061		3,000 3,988		3,000		3,000		
評価検証	R5年度の子育て支援センター支援事業の参加組数は3,988組であり、目標を達成しました。 参加組数の制限を緩和して講座等を開催したことで前年度より増加したと考えます。 安心して子育てできる環境に向けて、子育て情報の提供や身近に相談できる機会をはじめ、講座の回数を増やすなど、今後も継続した取り組みが必要であると考えます。										

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 7 事務事業 子ども発達支援事業											
目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。				担当課	子育て支援課					
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。										
事業実施状況	・発達支援センターの運営（延相談人数81人） ・子ども発達相談室の運営（発達相談 相談件数738件、2・3・4歳児相談 相談件数279件） ・こぼの教室の運営（延相談人数210人） ・肢体不自由児機能訓練事業の実施（参加組数 親子92組） ・子ども地域生活支援会議の開催（開催回数15回） ・難聴児の補聴器購入への支援（助成件数7件） ・医療的ケア児童支援検討部会の開催（開催回数8回）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	17,123	0	0			
					特定財源	548	0	0			
					一般財源	16,575	0	0			
					指標名	発達に心配のある子や障害児に関する相談件数			単位	件	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					513		513 738		513		513
評価検証	R5年度における子ども発達相談室の相談件数は738件となり、目標を達成しました。 こどもの発達に関する相談窓口として、幼稚園や保育所、学校と連携しながら相談業務を行ってきたことで、保護者や関係機関への認知度が高まり、相談件数が増加していると考えます。 引き続き、子どもの健やかな成長に向けて、発達に心配のある子や障害児についての相談体制や支援を継続していく必要があると考えます。										

施策 2 取組 1 番号 8 事務事業 母子保健サービス提供事業									
目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。					担当課	健康推進課		
目標	子育てに関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・母性相談の実施（相談者延1,628人） ・訪問指導の実施（実施数延2,144人） ・不妊治療費の支援（生殖補助申請数延5件、先進不妊申請数延146件） ・不育症治療費の支援（申請数延0件） ・妊娠中、産後早期の妊産婦への支援（産後ケア利用数延48件、産前産後サポート事業参加者延363人） ・利用者支援事業（母子保健型）の実施（実施数949件） ・母子健康手帳アプリの導入（総登録数2,288件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	16,878	0	0
						特定財源	15,709	0	0
						一般財源	1,169	0	0
	指標名	妊娠、出産及び育児に関する相談件数					単位	件	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,912	1,912 1,628		1,912		1,912		
評価検証	R5年度の母性相談室での相談件数は1,628件であり、R4年度の実績より増加したものの、目標を達成しませんでした。電話相談や家庭訪問、電子母子手帳の運用によるオンライン相談など、相談しやすい体制の充実に取り組み、相談手法が母性相談室への来所から他の手法へ変動したことが要因と考えます。 今後も、母性相談室での来所相談を継続しながら、子育てに関する相談体制を維持します。								

施策 2 取組 1 番号 9 事務事業 妊婦・乳幼児健康診査等事業															
目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通し、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。						担当課	健康推進課							
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。														
事業実施状況	・妊婦健康診査の実施（受診者延10,630人） ・乳幼児健康診査の実施（受診者3,855人） ・両親教室の開催（参加者延212組） ・育児教室の開催（参加者延178組） ・すこやか親子教室の開催（参加者延691組） ・新生児聴覚検査費助成（受診者736人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		105,691		0		0				
					特定財源		1,579		0		0				
					一般財源		104,112		0		0				
					指標名				-				単位		
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、妊婦・乳幼児の健康診査等を継続的に実施し、受診体制を維持しました。教室事業の一部をオンラインで申し込めるようにするなど、利便性の向上を図るほか、母子保健事業における出産・育児の情報提供や、母子の健康状態等を把握しながらの相談対応を行いました。														

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 10 事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業											
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	子育て支援課				
目標	児童虐待等に関する相談体制を維持します。										
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数195件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 ・代表者会議1回 ・ケース会議48回			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		6,014		0		0	
				特定財源		4,647		0		0	
				一般財源		1,367		0		0	
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組み、適切な相談支援ができたものと考えます。										

施策 2 取組 1 番号 11 事務事業 児童手当支給事業														
目的		児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。				担当課		こども課						
目標		-												
事業実施状況	・ 児童手当の支給(183,073件)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		2,022,634		0		0			
					特定財源		1,710,577		0		0			
					一般財源		312,057		0		0			
					指標名 -						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-												

施策 2 取組 1 番号 12 事務事業 児童扶養手当支給事業									
目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。					担当課	こども課		
目標	-								
事業実施状況	・児童扶養手当の支給（1,875人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額
					事業費	847,523	0		0
					特定財源	281,494	0		0
					一般財源	566,029	0		0
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 13 事務事業 子ども医療費給付事業												
目的	子ども医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・乳幼児等医療費の給付（137,750件） ・子ども医療費助成制度の拡充に向けた準備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		304,322		0		0			
			特定財源		110,276		0		0			
			一般財源		194,046		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 2 取組 1 番号 14 事務事業 ひとり親家庭等医療費給付事業													
目的	ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。							担当課	こども課				
目標	-												
事業実施状況	・ひとり親家庭等医療費の給付（53,501件）			単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費	135,600		0		0				
				特定財源	32,483		0		0				
				一般財源	103,117		0		0				
	指標名			-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 2 取組 1 番号 15 事務事業 未熟児養育医療給付事業												
目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。						担当課	こども課				
目標	-											
事業実施状況	・未熟児養育医療の給付（43人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	11,021	0	0				
					特定財源	15,984	0	0				
					一般財源	△4,963	0	0				
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 16 事務事業 助産施設入所費援助事業													
目的		経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。					担当課		こども課				
目標		-											
事業実施状況	・助産施設入所費の援助（13人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		7,711		0						
			特定財源		8,937		0						
			一般財源		△1,226		0						
			指標名 -						単位				
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-												

施策	2	取組	1	番号	17	事務事業	母子家庭等日常生活支援事業									
目的	一時的な生活援助や保育サービスを必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。						担当課	こども課								
目標	-															
事業実施状況	・家庭生活支援員による家事、育児の支援(11件)						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	358		0						
							特定財源	187		0						
							一般財源	171		0						
	指標名						-						単位			
基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値							
評価検証	-															

施策	2	取組	1	番号	18	事務事業	子育て短期支援事業									
目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。						担当課	子育て支援課								
目標	-															
事業実施状況	・児童養護施設における一時的養育の実施 (10人44日)						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	257		0						
							特定財源	152		0						
							一般財源	105		0						
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 19 事務事業 介護給付・地域生活支援事業										
目的	心身障害児へデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。					担当課	子育て支援課			
目標										
事業実施状況	・ 自立支援給付の実施(受給児童数46人) ・ 地域生活支援事業の提供(受給児童数348人) ・ 障害児通所給付の実施(受給児童数1,394人) ・ 相談支援給付の実施(受給児童数431人)		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	1,249,999	0	0				
			特定財源	794,736	0	0				
			一般財源	455,263	0	0				
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証										

施策 2 取組 1 番号 20 事務事業 特別児童扶養手当事業											
目的	20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。					担当課	子育て支援課				
目標	-										
事業実施状況	・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数553人)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	132		0		0				
		特定財源	1,041		0		0				
		一般財源	△909		0		0				
		指標名	-					単位			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 2 取組 2 番号 1 事務事業 保育士等資質向上事業											
目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。					担当課		こども課			
目標	保育士研修会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,264人を目指します。										
事業実施状況	・ 保育士等研修会の開催（7回、1,060人） ・ 私立保育所で構成する研修団体への支援 ・ 保育士の研修会参加に係る支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	537		0		0		0		
		特定財源	50		0		0		0		
		一般財源	487		0		0		0		
		指標名	保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数						単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		789	1,264 1,060		1,264		1,264		1,264		
評価検証	R5年度の保育士等の資質向上に向けた研修会の参加数は1,060人であり、目標を達成しませんでした。 対面での研修の再開により、前年度よりも参加者は増加しましたが、保育現場で発生した子ども特有の様々な感染症の対応等が頻発したことにより参加人数が伸び悩んだと考えます。 保育の質の向上に向け、市内の公・私含めた保育関係者の合同研修及び情報交換の場を確保していくことは重要であり、今後は、研修の受講機会を増やすなど、参加しやすい方法で実施していく必要があると考えます。										

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 2 事務事業 病後児保育事業										
目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。					担当課	こども課			
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。									
事業実施状況	・ 病後児保育の実施（延べ利用数341人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		12,146		0		0	
			特定財源		7,311		0		0	
			一般財源		4,835		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
評価検証	5類移行後、子ども特有の様々な感染症が流行しましたが、病後児童の保育の受け入れを着実に行之、利用ニーズに対応できたと考えます。									

施策 2 取組 2 番号 3 事務事業 公立保育所管理運営事業										
目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・ 公立保育所の管理運営（7所） ・ 乳児保育（5所）、延長保育（7所）、一時保育（2所）、休日保育（1所）、特別支援保育（7所）の実施 ・ 保育料、副食費の賦課・徴収 ・ 収納率向上対策の推進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	833,015	0	0				
			特定財源	494,546	0	0				
			一般財源	338,469	0	0				
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 4 事務事業 私立保育所運営事業											
目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。						担当課	こども課			
目標	-										
事業実施状況	・ 私立保育所への保育業務委託（22所） ・ 乳児保育（21所）、延長保育（22所）、一時保育（1所）、特別支援保育（22所）の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		2,769,899		0		0			
		特定財源		2,009,021		0		0			
		一般財源		760,878		0		0			
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策	2	取組	2	番号	5	事務事業	地域型保育事業運営事業											
目的	小規模保育事業などの地域型保育事業を実施することにより、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。						担当課		こども課									
目標	-																	
事業実施状況	・地域型保育事業給付の実施（小規模保育事業所4所・事業所内保育所1所） ・道が実施する物価高騰対策支援事業の対象外になった保育施設への支援						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
							事業費		210,626		0		0					
							特定財源		136,832		0		0					
							一般財源		73,794		0		0					
							指標名		-						単位			
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-																	

施策	2	取組	2	番号	6	事務事業	認定こども園等施設給付事業						
目的	施設給付の実施により、認定こども園等が行う教育・保育サービスの提供を支援します。						担当課	こども課					
目標	-												
事業実施状況	・認定こども園や施設型給付を受ける幼稚園への施設給付の実施						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	1,296,341	0	0			
							特定財源	938,660	0	0			
							一般財源	357,681	0	0			
							指標名	-				単位	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-												

施策	2	取組	2	番号	7	事務事業	児童保育センター管理運営事業							
目的	児童保育センターの管理運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を図ります。						担当課	こども課						
目標	-													
事業実施状況	・児童保育センターの管理運営					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	801,825	0	0					
						特定財源	456,980	0	0					
						一般財源	344,845	0	0					
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	2	取組	2	番号	8	事務事業	幼稚園教育環境整備支援事業				
目的	幼稚園の特色ある教育等の支援を通して、児童の教育環境の整備を促進します。						担当課	こども課			
目標	-										
事業実施状況	・幼稚園の教育環境整備への支援 (教員研修、スケートリンク造成、特別支援教育ほか)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	13,213	0	0	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	13,213	0	0	
	指標名						-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	2	取組	2	番号	9	事務事業	公立保育所整備事業													
目的	公立保育所の施設整備を実施し、保育環境を整備します。										担当課	こども課								
目標	-																			
事業実施状況	-					単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額						
						事業費		0			0			0						
						特定財源		0			0			0						
						一般財源		0			0			0						
						指標名		-									単位			
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
評価検証	-																			

施策	2	取組	2	番号	10	事務事業	私立保育所整備事業													
目的	私立保育所の施設整備を支援し、保育環境を整備します。										担当課	こども課								
目標	-																			
事業実施状況	・私立保育所建設費、施設整備費償還への支援（7施設）					単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額						
						事業費		60,332			0			0						
						特定財源		0			0			0						
						一般財源		60,332			0			0						
						指標名		-									単位			
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
評価検証	-																			

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 11 事務事業 認定こども園整備事業													
目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。							担当課	こども課				
目標	-												
事業実施状況	-				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		0		0		0		
					特定財源		0		0		0		
					一般財源		0		0		0		
	指標名		-						単位				
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 2 取組 2 番号 12 事務事業 児童保育センター整備事業											
目的		児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。					担当課		こども課		
目標		-									
事業実施状況	・旧児童保育センター解体準備（1所）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,087		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		4,087		0		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 2 取組 2 番号 13 事務事業 子育てのための施設等利用給付事業										
目的	認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・認可外保育施設等の利用者負担の支援（認可外保育施設、幼稚園、預かり事業ほか）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	126,969	0		0	
					特定財源	102,561	0		0	
					一般財源	24,408	0		0	
	指標名								単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 2 取組 3 番号 1 事務事業 待機児童対策事業												
目的		認可保育所（地域型保育事業含む）に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。						担当課		こども課		
目標		認可外保育施設における保育受入体制を確保します。										
事業実施状況	・待機児童対策事業の実施（利用人数19人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		4,945		0					
			特定財源		0		0					
			一般財源		4,945		0					
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	認可保育所に入所できない児童の受入体制事業において、R5年度は児童19人の利用があり、認可外保育施設との協力のもと、待機児童の削減に向けて取り組めたと考えます。											

施策 2 取組 3 番号 2 事務事業 母子家庭等就業・自立支援事業													
目的		母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センターの事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。						担当課		こども課			
目標		ひとり親家庭等に対する相談体制や母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。											
事業実施状況	・母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置 ・母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		7,865		0						
			特定財源		2,480		0						
			一般財源		5,385		0						
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R 5年度は、ひとり親家庭等の自立に向け、母子・父子支援員による相談対応やハローワーク等との連携による就労支援などの取り組みができたものと考えます。												

施策 2 取組 3 番号 3 事務事業 母子家庭等自立支援事業												
目的		就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。					担当課		こども課			
目標		-										
事業実施状況	・自立支援教育訓練給付金の支給（4件） ・高等職業訓練促進給付金等の支給（12件） ・高等学校卒業程度認定試験合格支援費の支給（1件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		15,543		0					
			特定財源		12,686		0					
			一般財源		2,857		0					
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>1				
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、 勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課			
目標	-										
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施（41件）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	-		-		-	
					特定財源	-		-		-	
					一般財源	-		-		-	
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	2	取組	3	番号	再	事務事業	女性活躍推進事業<再掲22-3-1>1				
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。						担当課	市民活動課			
目標	-										
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進(33.9%) ・女性活躍に関する講座の開催（2回51人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,031枚）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	-	-	-			
					特定財源	-	-	-			
					一般財源	-	-	-			
	指標名				-			単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	2	取組	4	番号	1	事務事業	子ども・若者支援地域協議会事業			
目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。						担当課	地域福祉課		
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。									
事業実施状況	・子ども・若者支援地域協議会の開催(代表者会議1回、実務者会議2回、個別ケース検討会議3回) ・ヤングテレホン相談の実施(324件)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	3,209	0	0
							特定財源	0	0	0
							一般財源	3,209	0	0
	指標名						ヤングテレホン相談件数		単位	件
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	158			158 324	158		158			
評価検証	R5年度におけるヤングテレホン相談件数は324件となり、目標を達成しました。 特に継続利用者からの相談件数が増加しており、本人の特性等から他機関に繋がることが難しい相談者を受容的・継続的に支援し不安の軽減に努めたものと考えます。 今後も心の不安や悩み、困りごとを抱える子ども・若者が適切な相談機関と繋がれるよう、周知の継続及び相談体制の維持を図ります。									

事務事業評価表

施策	2	取組	4	番号	2	事務事業	青少年センター事業				
目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。						担当課	学校地域連携課			
目標	子どもたちが登下校時などに身に迫った危険や犯罪に巻き込まれそうになった場合に逃げ込み先となる「子ども110番の家」登録件数について1,009箇所を維持します。										
事業実施状況	・子ども110番の家の設置(981箇所) ・街頭巡回指導の実施 ・非行防止啓発事業の実施 ・社会環境改善活動の実施 ・有害情報防止対策啓発事業				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	11,468	0	0			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	11,468	0	0			
	指標名				子ども110番の家 登録件数		単位	箇所			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	1,009			1,009 981	1,009		1,009				
評価検証	R5年度の「子ども110番の家」登録件数は981箇所であり、目標を達成しませんでした。 登録者の高齢化や店舗の廃業などにより登録件数が減少していることが要因と考えます。今後は新規登録の増加に向けて、青少年センター職員が巡回パトロール時に団体や家庭を訪問し、新規登録の働きかけを行うほか、広報おびひろや青少年センターだよりを通じて、広く協力を呼び掛けていく必要があります。										

施策	2	取組	4	番号	3	事務事業	青少年健全育成事業				
目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。					担当課	学校地域連携課				
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。										
事業実施状況	・帯広市青少年問題協議会の開催 ・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	12,004	0	0		
						特定財源	0	0	0		
						一般財源	12,004	0	0		
	指標名					-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年度の体験活動の参加者数は前年度より増加し、目標を達成しました。 子ども会や地域のリーダーを養成するため、宿泊形式による研修会を再開したことに加え、ポッチャ体験会を通じた関係団体との交流など、取り組みの充実を図ったことが要因と考えます。また、青連協だよりを全面カラーの親しみやすい紙面に変更し、事業の周知を行ったことも効果的であったと考えます。										

施策	2	取組	4	番号	再	事務事業	体験活動機会提供事業（学校地域連携課）＜再掲12-1-2＞			
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。						担当課	学校地域連携課		
目標	-									
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者14人、来場者104人） ・冬季活動機会提供事業の実施（参加者96人） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者132人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	-	-	-		
					特定財源	-	-	-		
					一般財源	-	-	-		
					指標名	-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）<再掲12-1-3>																
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。						担当課	学校地域連携課								
目標	-															
事業実施状況	・ジュニアリーダーの養成 【地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催（参加者126人）、北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣（参加者6人）、ジュニアリーダーの育成支援（参加者7人）】					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		-		-		-				
						特定財源		-		-		-				
						一般財源		-		-		-				
						指標名		-				単位				
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-															

施策	2	取組	0	番号	1	事務事業 おびひろ子ども未来プラン推進事業						
目的	審議会等の運営を通して、おびひろ子ども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。					担当課	こども課					
目標	-											
事業実施状況	・おびひろ子ども未来プランの推進 ・健康生活支援審議会児童育成部会の開催 ・こども未来基金の管理					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	64,327		0		0	
						特定財源	63,955		0		0	
						一般財源	372		0		0	
	指標名					-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 3 取組 1 番号 1 事務事業 成年後見制度利用支援事業									
目的	本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。					担当課		地域福祉課	
目標	成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。								
事業実施状況	・成年後見制度の利用支援（登録者62人） ・市民後見制度の啓発 ・市民後見人養成講座の開催（受講者18人） ・成年後見支援センターの運営		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	25,886	0	0			
			特定財源	7,874	0	0			
			一般財源	18,012	0	0			
			指標名	市民後見人養成人数				単位	人
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	65		70 62		75		81		
評価検証	R5年度の法定後見支援員の登録者数は62人であり、目標を達成しませんでした。市民後見人養成講座の受講者数、受講者の年度内登録率はともに増加しましたが、家庭の事情や仕事を理由に、登録抹消者が増加したことが要因と考えます。法定後見支援員の増加に向け、市民後見人養成講座の受講しやすい開催形式への見直しや、講座受講者が支援員登録に結びつく仕組みづくりなどを検討する必要があります。								

施策 3 取組 1 番号 2 事務事業 地域福祉推進事業									
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。					担当課		地域福祉課	
目標	地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進 ・戦没者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査（4件） ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・ボランティア養成講座（1回13人） ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援(437件) ・地域密着型サービス運営委員会の運営（3回） ・介護、障害サービス事業所等の指定・指導監査(運営指導 介護：34件 障害：35件)					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	130,717	0	0
						特定財源	2,286	0	0
						一般財源	128,431	0	0
	指標名		-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	評価検証	R5年度の社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年度と比べ増加しており、目標を達成しました。							
今後も、地域福祉の環境づくりを進めるため、内容や開催方法などの工夫のほか、積極的な周知などを行うことで、参加拡大を図ります。									

施策 3 取組 2 番号 1 事務事業 民生委員・児童委員活動推進事業											
目的	民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。					担当課		地域福祉課			
目標	民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。										
事業実施状況	・ 民生委員・児童委員の配置（相談件数7,062件） ・ 民生委員・児童委員への活動支援	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		27,424		0		0			
		特定財源		23,279		0		0			
		一般財源		4,145		0		0			
		指標名	民生委員・児童委員の相談・支援件数					単位	件		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		10,977		11,290		11,290		11,290			
評価検証	R5年度における民生委員・児童委員の相談件数は7,062件となり、目標を達成しませんでした。民生委員以外の専門的な相談機関の増加や認知度向上により、民生委員以外に相談する人が増えたことや欠員が増加傾向にあることも要因の一つと考えますが、地域の見守りのネットワークの充実を図っていく上で、今後も民生委員が果たす役割は大きいことから、市民への広報を進め、身近な相談相手としての認知度向上を図ります。また、民生委員の欠員解消や活動しやすい環境づくりへの支援を行い、活動を促進します。										

事務事業評価表

施策	3	取組	2	番号	2	事務事業	地域福祉包括支援事業				
目的	地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。						担当課	地域福祉課			
目標	複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。										
事業実施状況	・きづきネットワーク事業の推進 ・包括的支援体制づくりの推進 ・ひきこもり支援事業の実施（相談受付件数33件）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	0	0	0			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	0	0	0			
	指標名				-		単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年5月から「ひきこもり相談窓口」を開設し、相談受付件数は33件ありました。複合的な課題を持つケースについて、伴走支援を実施することで、今まで支援されなかったケースに必要な支援をつなぐことができたと考えており、目標を達成できたと考えます。										

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>										
目的		高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。					担当課		地域福祉課	
目標		-								
事業実施状況	・総合相談支援の実施（10,834件） ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催（51回530人） ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施（8回87人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		-		-		-	
			特定財源		-		-		-	
			一般財源		-		-		-	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>																
目的		生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。				担当課		生活支援第1課・第2課								
目標		-														
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数265件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（6人 実人数） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数2世帯、給付額395,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者10人、延べ213人＞、中学生（高校生含む）＜参加者15人、延べ515人＞）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		-		-		-							
			特定財源		-		-		-							
			一般財源		-		-		-							
			指標名		-						単位					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証		-														

事務事業評価表

施策	3	取組	0	番号	1	事務事業	地域福祉計画推進事業								
目的	健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。						担当課		地域福祉課						
目標	-														
事業実施状況	・健康生活支援審議会の開催（2回） ・地域福祉計画の推進					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費	1,299		0		0				
						特定財源	0		0		0				
						一般財源	1,299		0		0				
						指標名	-						単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-														

施策 3 取組 0 番号 2 事務事業 物価高騰対策に伴う給付事業											
目的		給付金の支給により、物価高騰の影響を受けている子育て世帯等への支援を行います。					担当課		地域福祉課、こども課		
目標		-									
事業実施状況	・子育て世帯生活支援特別給付金(4,400人) ・暖房代支援給付金(5,379世帯) ・価格高騰重点支援給付金(25,726世帯 追加分：23,194世帯 非課税子ども加算：2,443人 均等割のみ課税：2,701世帯 均等割りのみ子ども加算254人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		3,172,114		0		0		
			特定財源		3,144,379		0		0		
			一般財源		27,735		0		0		
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	4	取組	1	番号	1	事務事業	地域包括支援センター運営事業									
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。						担当課		地域福祉課、介護高齢福祉課							
目標	高齢者等の生活に関わる課題等の解決に向けて話し合う地域ケア会議への参加者数について460人を目指します。															
事業実施状況	- 総合相談支援の実施（10,834件） - 権利擁護の支援 - 包括的・継続的ケアマネジメントの支援 - 介護予防ケアマネジメントの実施 - 地域ケア会議の開催（51回530人） - ひとり暮らし高齢者等の支援 - 家族介護者リフレッシュ事業の実施（8回87人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		164,899		0		0			
							特定財源		133,156		0		0			
							一般財源		31,743		0		0			
							指標名		地域ケア会議参加者数				単位		人	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
	445				460 530				460				460			
評価検証	R5年度の地域ケア会議参加者数は530人であり、目標を達成しました。															
	対面とオンラインを併用し、参加しやすい開催方法で取り組んだことで、開催回数、参加者数が増加したものと考えます。 今後も、ケアマネジャーや医療職など多様な関係機関、関係者との連携強化に取り組み、高齢者等の生活に係る課題等の解決を図ります。															

施策	4	取組	1	番号	3	事務事業	介護予防日常生活支援総合事業									
目的	社会参加を促す介護予防事業や、訪問型及び通所型サービスなどの多様なサービスを提供し、介護予防及び重症化の防止を図ります。						担当課	地域福祉課、介護高齢福祉課								
目標	市内すべての日常生活圏域で、生活支援を行うボランティア団体が活動している状態を目指し、二次推進計画においては、各圏域の生活支援ニーズの把握及び生活支援を行うボランティア活動に向けた地域住民主体の協議を促進します。															
事業実施状況	・一般介護予防事業 (介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業ほか) ・生活支援コーディネーターの配置(9人) ・生活支援サービスに関わる協議体の設置 ・介護予防生活支援サービスの提供						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	566,065		0		0				
							特定財源	489,049		0		0				
							一般財源	77,016		0		0				
	指標名						-				単位					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値						
評価検証	R5年度は、市内8圏域で58回の地域住民主体の協議体が開催されており、目標達成に向け進捗しているものと考えます。 今後も、地域の支え合い推進員を中心に、地域住民を主体とする協議の場を設け、住民同士が支え合う地域づくりや地域課題解決に向けた取り組みを進めます。															

施策	4	取組	1	番号	4	事務事業 高齢者在宅生活支援事業										
目的	高齢者やその家族の相談に応じ、必要なサービスを提供するなど在宅高齢者の生活を支援します。					担当課	介護高齢福祉課									
目標	在宅高齢者の生活を支援するため、民間サービスも含めた様々なサービスを活用できる体制づくりを進めます。															
事業実施状況	・高齢者等の相談支援（相談件数1,458件） ・ひとり暮らし高齢者登録による生活支援の実施（1,760人） ・ねたきり・認知症高齢者登録による生活支援の実施（130人） ・理美容・クリーニングサービスの実施（延利用件数理美容364件、クリーニング122件） ・在宅生活援助サービスの実施（42件） ・緊急通報システム事業の実施（延利用件数 477件） ・家族介護用品の支給（899件） ・宅配事業者等による訪問活動の実施（32,915件） ・配食サービスの実施（64,879件）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		48,749		0		0				
						特定財源		16,778		0		0				
						一般財源		31,971		0		0				
						指標名		-				単位				
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年度は、在宅高齢者が必要なサービスを利用できるよう、公的サービスの周知をホームページ等で行ったほか、新たな民間サービスの活用に向けて情報収集に努めるなど、サービス提供体制の維持・確保に向け進捗しています。															

施策	4	取組	1	番号	6	事務事業 在宅医療・介護連携推進事業									
目的	在宅医療と介護の連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための支援体制づくりを進めます。						担当課		地域福祉課						
目標	医療と介護の関係者が連携できる体制づくりを進めます。														
事業実施状況	・在宅医療・介護ネットワーク会議の開催（2回） ・多職種連携研修会の開催（1回） ・医療と介護の連携体制構築 ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		601		0		0		
							特定財源		485		0		0		
							一般財源		116		0		0		
							指標名		-		単位				
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は多職種連携に向け、在宅医療・介護ネットワーク会議においての協議や、研修会において知識・技術の向上を図り、支援体制の強化に取り組みました。 また、ケアマネジャー向けのアンケート調査結果においても、医療関係者との連携状況について、改善傾向にあることから、目標達成に向けて進捗しているものと考えます。														

事務事業評価表

施策	4	取組	1	番号	7	事務事業	生活支援ハウス運営事業					
目的	生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。						担当課	介護高齢福祉課				
目標	-											
事業実施状況	・生活支援ハウスへの運営支援 (定員40名、月平均入居者30名)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	44,280		0		0	
						特定財源	8,596		0		0	
						一般財源	35,684		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策	4	取組	1	番号	8	事務事業	地域介護・福祉空間整備事業							
目的	地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。						担当課		介護高齢福祉課					
目標	-													
事業実施状況	介護保険施設等の非常用自家発電設備等の整備への支援 (2施設はR4年度からの繰越) ・高齢者施設等の安全対策強化への支援 (1施設へ支援)						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		21,730		0		0	
							特定財源		19,640		0		0	
							一般財源		2,090		0		0	
	指標名		-						単位					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 4 取組 1 番号 9 事務事業 老人福祉施設等整備補助事業												
目的		民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。					担当課		介護高齢福祉課			
目標		-										
事業実施状況	・特別養護老人ホーム等建設費償還への支援 (5施設へ支援) ・生活支援ハウス建設費償還への支援 (1施設へ支援)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		45,468		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		45,468		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 10 事務事業 老人保護措置事業									
目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・養護老人ホームへの入所措置 (月平均入居者170名)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	313,074		0		0	
			特定財源	88,178		0		0	
			一般財源	224,896		0		0	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 4	取組 2	番号 1	事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業						
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について63.2%を目指します。								
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率59.6%） ・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施（「まちなか」利用者数15,279人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	174,577	0	0			
			特定財源	787	0	0			
			一般財源	173,790	0	0			
	指標名		バス無料乗車証の交付率				単位	%	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	62.9			63.0 59.6		63.1		63.2	
評価検証	令和5年度のバス無料乗車証の交付率は59.6%であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症は5類になったものの、生活様式の変化により無料乗車証を求める人が少なかったものと考えます。今後はアンケート結果を活用してニーズの把握と分析を行い、交付率の促進に努めます。								

施策 4 取組 2 番号 2 事務事業 老人クラブ等活動支援事業																						
目的	老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいがいづくりを促進します。						担当課	市民活動課														
目標	高齢者の生きがいが創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。																					
事業実施状況	・老人クラブの育成、指導 ・老人クラブ等への支援（106団体、4,086人） ・バスの利用（52件、948人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額									
							事業費		32,402		0		0									
							特定財源		3,975		0		0									
							一般財源		28,427		0		0									
							指標名						-						単位			
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
評価検証	老人クラブ連合会等の役員、会員が無理なく楽しく活動を続けられるよう、R5年度は活動補助金の見直しなどを行い、未加入クラブへの支援に取り組み、目標を達成したと考えます。																					

事務事業評価表

施策	4	取組	2	番号	3	事務事業	敬老祝金支給事業
目的	敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。					担当課	介護高齢福祉課
目標	-						
事業実施状況	・敬老祝金の贈呈 (88歳1,019人、100歳69人)		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	31,545	0	0	
			特定財源	0	0	0	
			一般財源	31,545	0	0	
	指標名		-			単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証							

施策	4	取組	2	番号	再	事務事業	雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。					担当課	商業労働課
目標	-						
事業実施状況	・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	-	-	-	
			特定財源	-	-	-	
			一般財源	-	-	-	
	指標名		-			単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証							

施策	4	取組	2	番号	再	事務事業	学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>1
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課
目標	-						
事業実施状況	・市民大学講座の実施（45講座1,500人） ・高齢者学級の実施（1年生48人、2年生28人） ・プラザエンジョイスchoolの実施（第Ⅰ期523人、第Ⅱ期529人、第Ⅲ期542人、第Ⅳ期493人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	-	-	-	
			特定財源	-	-	-	
			一般財源	-	-	-	
	指標名		-			単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証							

事務事業評価表

施策	4	取組	0	番号	1	事務事業	高齢者保健福祉計画推進事業
目的	高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。					担当課	介護高齢福祉課
目標	-						
事業実施状況	・第八期高齢者保健福祉計画の推進 ・第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定 ・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催（8、10、2月）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費	0	0	0	
			特定財源	0	0	0	
			一般財源	0	0	0	
	指標名		-			単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証							

事務事業評価表

施策	5	取組	1	番号	1	事務事業	障害者理解促進事業													
目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。						担当課		障害福祉課											
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者数の増加を目指します。																			
事業実施状況	・福祉のひろばへの支援 ・帯広心身障害者（児）育成会への支援 ・ノーマライゼーション推進活動への支援（3地区への補助） ・障害者週間記念事業の実施 ・手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施 ・市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施（利用者数46,240人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		16,770		0		0							
							特定財源		0		0		0							
							一般財源		16,770		0		0							
							指標名		-				単位							
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、地域マイスター講座の実施や六中サポーターの養成などに加え、ピンピン体操等の新たな講座を定期的に実施したことや、六中七夕、六中祭、六中ドネーションといった多くの人が参加するイベントの開催により、市民活動プラザ六中の利用者数は前年度より増加しており、目標達成に向け進捗しています。																			

施策	5	取組	1	番号	2	事務事業	障害者虐待防止事業													
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課		障害福祉課											
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。																			
事業実施状況	・障害者虐待防止センターの運営（通報件数 31件） ・虐待防止に関する啓発活動の実施 ・帯広市虐待防止ネットワーク会議の開催 ・帯広市地域自立支援協議会地域生活支援会議における虐待防止研修の実施（2回 165人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		15		0		0							
							特定財源		21		0		0							
							一般財源		△6		0		0							
							指標名		-				単位							
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、障害者虐待に関する関係機関との連携や、24時間体制での相談対応のほか、帯広市地域自立支援協議会の場を活用し、虐待防止や虐待に関する相談に適切に対応することができています。また、事業所向けに虐待防止の研修も実施するなど、目標達成に向け進捗しています。																			

施策	5	取組	2	番号	1	事務事業	地域生活支援拠点等整備推進事業													
目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。						担当課		障害福祉課											
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。																			
事業実施状況	・各種相談員の配置（相談員 11人：相談対応 15,841件） ・基幹相談支援センターの運営（1か所：相談支援 661件） ・一般相談支援事業（圏域相談支援含む）の実施（5か所：相談対応 9,539件） ・支援が必要な障害のある人の把握（重度心身障害者訪問調査：17人） ・帯広市地域自立支援協議会の開催（地域生活支援会議 12回、各会議・専門部会 39回）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		66,793		0		0							
							特定財源		195,918		0		0							
							一般財源		△129,125		0		0							
							指標名		圏域相談支援事業所における相談件数						単位		件			
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
											5,248		5,248				5,248			
							4,869				9,539									
							評価検証	R5年度の一般相談支援事業所における相談件数は9,539件であり、目標を達成しました。 R4年度よりスタートした圏域相談支援体制について、パンフレットの作成・配布により、周知を継続してきたことで、日常生活等の相談先としての認知度が向上してきていると考えます。												

事務事業評価表

施策	5	取組	2	番号	2	事務事業	障害者コミュニケーション支援事業									
目的	手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。						担当課		障害福祉課、介護高齢福祉課							
目標	聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について714件を目指します。															
事業実施状況	・聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣（手話 738件、要約筆記 32件） ・手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施（受講者数 手話 53名、要約筆記 15名） ・遠隔手話通訳サービスの実施登録者 39名、遠隔手話サービス 4件、問合せ相談 139件） ・入院中の筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への支援者の派遣						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		11,391		0		0			
							特定財源		805		0		0			
							一般財源		10,586		0		0			
							指標名		手話通訳者派遣件数				単位		件	
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
							568			714 738		714			714	
評価検証	R5年度の手話通訳者派遣件数は738件であり、目標を達成しました。															
	派遣コーディネートをを行う専任手話通訳者の配置や登録派遣通訳者の確保など安定的な派遣体制を維持できたことに加え、講演等への派遣依頼が増加したことが要因と考えます。また、ろう者の高齢化により、生活援助に関する派遣が前年度より増加したことも一因であると捉えています。															

施策	5	取組	2	番号	3	事務事業	障害者日常生活支援事業							
目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課					
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。													
事業実施状況	・日常生活用具の給付・貸付（支払件数965件） ・クリーニング・理美容等サービスの提供（理美容クリーニング対象者89人、緊急通報システム対象者24人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		58,582		0		0	
							特定財源		987		0		0	
							一般財源		57,595		0		0	
							指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値						
評価検証	R5年度は、障害のある人の日常生活を支援するための様々な公的サービスを提供してきていますが、特に理美容・クリーニング等サービスについては、個々のニーズにばらつきがあり、利用率が3割程度と低水準で推移するなど、目標を達成しませんでした。今後も、必要な人に支援が行き届くよう、利用者アンケートの実施や委託事業者との協議等により、利用しやすい仕組みとなるよう検討を行う必要があります。													

施策	5	取組	2	番号	4	事務事業	障害者施設整備補助事業			
目的	民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。						担当課	障害福祉課		
標目	-									
事業実施状況	・障害者施設建設費償還への支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	6,216	0	0	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	6,216	0	0	
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 5 事務事業 障害者自立支援給付事業												
目 的		介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。						担当課		障害福祉課		
目 標		-										
事業 実施 状況	・ 障害者介護給付費の支給 ・ 自立支援訓練等給付費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		5,156,017		0		0			
			特定財源		3,879,997		0		0			
			一般財源		1,276,020		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価 検証		-										

施策 5													取組 2		番号 6		事務事業		障害者医療給付事業									
目的		障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。													担当課		障害福祉課											
目標		-																										
事業実施状況		・ 障害者医療給付費の支給													単位：千円		R5年度決算額				R6年度決算額				R7年度決算額			
															事業費		674,302				0				0			
															特定財源		454,514				0				0			
															一般財源		219,788				0				0			
		指標名		-											単位													
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値														
評価検証		-																										

施策 5 取組 2 番号 7 事務事業 障害者補装具給付事業												
目的		障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課		
目標		-										
事業実施状況	・ 障害者補装具給付費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		68,872		0		0			
			特定財源		51,449		0		0			
			一般財源		17,423		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

事務事業評価表

施策	5	取組	2	番号	8	事務事業 特別障害者手当等支給事業									
目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課						
目標	-														
事業実施状況	・ 特別障害者手当等の支給					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費	43,263		0		0				
						特定財源	32,402		0		0				
						一般財源	10,861		0		0				
	指標名					-					単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値							
評価検証	-														

施策	5	取組	2	番号	9	事務事業	障害者福祉サービス管理運営事業									
目的	障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。						担当課		障害福祉課							
目標	-															
事業実施状況	・ 障害認定調査の実施(637回) ・ 障害者自立支援審査会の開催(37回)						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	28,229		0		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	28,229		0		0				
	指標名						-						単位			
	基準値						R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
								実績値			実績値			実績値		
評価検証	-															

施策 5 取組 2 番号 10 事務事業 地域生活支援給付事業											
目的		日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。					担当課		障害福祉課		
目標		-									
事業実施状況	・地域生活支援事業（移動支援、日中一時支援、訪問入浴）の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		97,879		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		97,879		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

事務事業評価表

施策	5	取組	3	番号	1	事務事業 障害者就労促進事業									
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。										担当課	障害福祉課			
目標	企業に一般就労している障害者数について984人を目指します。														
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・相談支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施（11課18名） ・障害者の就労環境づくり ・障害者雇用に係る成功事例の周知や課題等の調査（8事例収集）					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費	5,118		0		0				
						特定財源	2,500		0		0				
						一般財源	2,618		0		0				
						指標名	企業に一般就労している障害者数					単位	人		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	984		
						828	877 936		929						
評価検証	R5年度の企業に一般就労している障害者数は936人であり、目標を達成しました。 就労を希望する障害者向けの研修や、市役所の職場体験実習の実施などを通じ、障害者の就労意欲の喚起に努めたほか、企業への訪問や雇用事例の収集などにより企業における障害者雇用への理解促進に取り組んだことが効果的であったと考えます。														

施策	5	取組	3	番号	2	事務事業 障害者社会参加促進事業														
目的	地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。						担当課		障害福祉課											
目標	障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用者数について、2,596人を目指します。																			
事業実施状況	・社会活動、余暇活動への支援（ろうあ者スポーツ大会への参加支援、障害者乗馬体験会の開催など） ・地域活動支援センターへの運営支援 ・障害者生活支援センターの運営 ・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成 ・医療的ケア支援事業の実施 ・地域活動支援センターへの電気料金高騰分に対する支援 ・福祉有償運送事業者への電気料金高騰分に対する支援						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		130,188		0		0							
							特定財源		5,142		0		0							
							一般財源		125,046		0		0							
							指標名		障害者生活支援センターの利用者数				単位		人					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
							1,686				2,596		2,596		2,596					
											3,201									
評価検証	障害者生活支援センターにおけるR5年度の利用延べ人数は3,201人であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、活動を控えていた利用登録者が事業へ参加したためと考えます。																			

施策	5	取組	0	番号	1	事務事業 障害者計画推進事業										
目的	障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めます。						担当課		障害福祉課							
目標	-															
事業実施状況	・障害者計画の推進 ・帯広市障害者共生まちづくりプラン（障害者計画、障害福祉計画）の策定						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	747		0		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	747		0		0				
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 6 取組 1 番号 1 事務事業 看護師等人材確保事業									
目的	看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。					担当課	健康推進課		
目標	看護師等の管内定着率について63.3%を目指します。								
事業実施状況	・ 看護師等養成機関等への運営支援 ・ 帯広高等看護学院の運営支援		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		77,017	0		0	
			特定財源		0	0		0	
			一般財源		77,017	0		0	
			指標名 看護師等の管内定着率					単位	%
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	61.4			63.3 65.2		63.3		63.3	
	評価検証	R 5 年度の看護師等の管内定着率は65.2%と目標を達成しました。 今後も、養成機関への支援を通じて、人材の定着をはかっていく必要があります。							

施策 6 取組 2 番号 1 事務事業 救急医療対策事業															
目的		医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。				担当課		健康推進課							
目標		夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。													
事業実施状況	・休日夜間急病センターの運営 ・二次救急医療体制の維持 ・在宅当番医制の維持 ・休日歯科診療体制の維持 ・帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・公共施設へのAEDの設置 ・道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		169,512		0		0				
					特定財源		2,520		0		0				
					一般財源		166,992		0		0				
					指標名								単位		
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R 5 年度は、医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間・休日などでも受診可能な体制を維持しました。														

施策 6 取組 2 番号 2 事務事業 地域医療体制整備支援事業														
目的	医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。					担当課	健康推進課							
目標	救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。													
事業実施状況	・ 健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催 ・ 地域医療の確保に関する要望活動 ・ 帯広厚生病院への運営支援 ・ 心身障害者歯科治療事業の支援 ・ 訪問看護ステーションへの運営支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		212,240		0		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		212,240		0		0			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R 5 年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や、救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持しました。													

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	1	事務事業	国民健康保険制度運営事業		
目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課		
目標	-								
事業実施状況	・国民健康保険運営協議会の運営 ・国民健康保険事業費納付金の支出 ・医療費通知の実施 ・ジェネリック医薬品の使用促進 ・重複・多受診者への指導 ・個別家庭訪問の実施 ・保険者努力支援制度への対応 ・国民健康保険料の独自減免 ・保険料過誤納付金の還付					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	4,871,088	0	0
						特定財源	3,399,617	0	0
						一般財源	1,471,471	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

施策	7	取組	1	番号	2	事務事業	国民健康保険料賦課・徴収事業		
目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課		
目標	-								
事業実施状況	・保険料の賦課、徴収事務 ・収納率向上対策の推進 ・保険料の納付相談の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	66,589	0	0
						特定財源	20,123	0	0
						一般財源	46,466	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

施策	7	取組	1	番号	3	事務事業	療養給付費等支給事業		
目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。					担当課	国保課		
目標	-								
事業実施状況	・療養給付費の支給 ・療養費の支給 ・高額療養費の支給 ・出産育児一時金の支給 ・葬祭費の支給 ・傷病手当金の支給					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	10,779,435	0	0
						特定財源	10,777,357	0	0
						一般財源	2,078	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	4	事務事業	検診事業		
目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課		
目標	-								
事業実施状況	・各種がん検診の実施（受診者数 8,072人） ・人間ドックの実施（受診者数 443人） ・脳ドックの実施（受診者数 681人） ・歯科ドックの実施（受診者数 470人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	31,884	0	0
						特定財源	31,884	0	0
						一般財源	0	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

施策	7	取組	1	番号	5	事務事業	特定健康診査及び特定保健指導事業		
目的	被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。					担当課	健康推進課、国保課		
目標	-								
事業実施状況	・特定健康診査の実施（受診者数 8,083人） ・特定保健指導の実施（終了者数 233人） ・国保データベースを活用した特定保健指導の推進 ・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	93,244	0	0
						特定財源	61,435	0	0
						一般財源	31,809	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

施策	7	取組	1	番号	6	事務事業	後期高齢者医療制度運営事業		
目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課		
目標	-								
事業実施状況	・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務 ・保険料過誤納付金の還付					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	7,671	0	0
						特定財源	1,607	0	0
						一般財源	6,064	0	0
	指標名 -					単位			
評価検証	基準値					R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
						R7	目標値 実績値		

事務事業評価表

施策 7 取組 1 番号 7 事務事業 後期高齢者医療保険料徴収事業												
目的		後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。					担当課		国保課、収納課			
目標		-										
事業実施状況	・ 後期高齢者医療制度の周知 ・ 後期高齢者医療保険料の徴収		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		21,985		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		21,985		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 7 取組 1 番号 8 事務事業 後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業												
目的		後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。						担当課		国保課、収納課		
目標		-										
事業実施状況	・市町村負担金（事務費等）の納付 ・市町村負担金（療養給付費）の納付 ・市町村負担金（保険料等）の納付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		4,362,333		0		0			
			特定財源		2,070,771		0		0			
			一般財源		2,291,562		0		0			
	指標名		-						単位		-	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 7 取組 1 番号 9 事務事業 後期高齢者健康診査事業											
目的		被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課		国保課		
目標		-									
事業実施状況	・健康診査の実施（受診者数 5,028人） ・人間ドックの実施（受診者数 48人） ・脳ドックの実施（受診者数 199人） ・歯科ドックの実施（受診者数 291人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		51,489		0		0		
			特定財源		51,489		0		0		
			一般財源		0		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 1 事務事業 介護給付等費用適正化事業												
目的 要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の 的 安定的な運営を図ります。					担当課		介護高齢福祉課					
目標 介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検について一定以上の点検割合を 維持します。												
事業 実施 状況	・ 給付費の適正化				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		8,188		0		0	
					特定財源		6,611		0		0	
					一般財源		1,577		0		0	
	指標名 ケアプランの点検割合						単位		%			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	50.0			50.0 61.5			50.0			50.0		
評価 検証	R 5年度の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー総数に対するケアプランの点検件数割合は61.5%であり、目標を達成しました。職員や北海道介護支援専門員協会による日常的なケアプラン点検の実施のほか、給付適正化研修会を開催し、介護支援専門員の資質向上に努めてきたことが、効果的であったと考えます。											

施策 7													取組 2		番号 2		事務事業 介護保険制度運営事業									
目的		介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。										担当課		介護高齢福祉課、収納課												
目標		-																								
事業実施状況		・介護認定審査会の運営 ・介護保険制度の周知 ・介護保険被保険者の資格管理 ・介護人材のスキルアップ及び定着支援 ・介護保険料の賦課、徴収					単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額											
							事業費		185,335			0			0											
							特定財源		4,241			0			0											
							一般財源		181,094			0			0											
							指標名		-									単位								
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値															
評価検証		-																								

施策 7 取組 2 番号 3 事務事業 介護保険制度運営安定化事業													
目的		介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。						担当課		介護高齢福祉課、収納課			
目標		-											
事業実施状況		・介護給付費準備基金の管理 ・保険料過誤納付金の還付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		528,363		0		0			
				特定財源		528,363		0		0			
				一般財源		0		0		0			
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 4 事務事業 介護保険利用者負担軽減対策事業																
目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。						担当課	介護高齢福祉課								
目標	-															
事業実施状況	・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		60,395		0		0					
					特定財源		20,626		0		0					
					一般財源		39,769		0		0					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策 7 取組 2 番号 5 事務事業 介護保険料減免制度事業									
目的	災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。					担当課	介護高齢福祉課		
目標	-								
事業実施状況	・介護保険料の法定減免（0件） ・介護保険料の独自減免（251件）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	0		0		0	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	0		0		0	
			指標名 -					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 7 取組 2 番号 6 事務事業 介護保険給付事業										
目的	要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・介護サービス給付費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		14,771,623		0		0	
			特定財源		12,678,345		0		0	
			一般財源		2,093,278		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 7 事務事業 介護保険事業計画推進事業											
目的		介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。					担当課		介護高齢福祉課		
目標		-									
事業実施状況	・第八期介護保険事業計画の推進 ・第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		2,394		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		2,394		0		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 7 取組 3 番号 1 事務事業 早期把握・自立支援事業												
目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。					担当課	生活支援第1課・第2課					
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。											
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施（新規相談994件、申請402件） ・被保護者への就労支援（就労自立促進事業＜参加者13人、就労者8人＞、被保護者就労支援事業＜参加者56人、就労者23人＞、被保護者就労準備支援事業＜3事業 参加者19人、就労者5人＞＝参加者計88名、就労者36名、就労率40.9%）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	11,684	0	0			
						特定財源	11,481	0	0			
						一般財源	203	0	0			
						指標名	自立支援プログラム利用者の就労率			単位	%	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						39.6	50.0 40.9		50.0		50.0	
評価検証	R5年度の自立支援プログラム利用者の就労率は40.9%であり目標を達成できませんでした。ハローワークや委託先事業所と連携し、就労に向けた支援を行ってきましたが、物価上昇等の要因から、企業が求人を控える動きが続き、有効求人倍率が大幅に前年を下回って推移していることが影響していると考えます。今後も関係機関と連携し、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労に繋がるよう適切な支援を実施していく必要があります。											

施策 7 取組 3 番号 2 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業																		
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。					担当課	生活支援第1課・第2課											
目標	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。																	
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数265件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（6人 実人数） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数2世帯、給付額395,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者10人、延べ213人＞、中学生（高校生含む）＜参加者15人、延べ515人＞）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		29,308		0		0							
					特定財源		20,777		0		0							
					一般財源		8,531		0		0							
					指標名		人口10万人あたりの自立相談件数				単位		件					
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					20				20		20		20		20			
									14									
評価検証	R5年度における人口10万人あたりの自立相談件数は14件/月となり目標を達成できませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せたことで、特例貸付等の制度終了に伴い、相談が減少しているものと考えられます。パンフレットの配布等により自立相談支援センターの認知度向上に努めるほか、相談内容が多様化・専門化している傾向にあることから、関係機関・団体と連携を強化していくことで、地域生活困窮者への適切な相談支援体制構築に努めていきます。																	

事務事業評価表

施策 7 取組 3 番号 3 事務事業 生活保護事業												
目的		被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。				担当課		生活支援第1課・第2課				
目標		-										
事業実施状況	・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者3,797世帯/月平均、ケースワーカー34名、家庭訪問10,415件) ・被保護者に対する健康管理支援（特定健診受診勧奨 1,655名） ・基準改定に伴うシステム改修		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		79,753		0		0			
			特定財源		21,898		0		0			
			一般財源		57,855		0		0			
			指標名 -						単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 7 取組 3 番号 4 事務事業 生活保護等支給事業																		
目的	生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。					担当課		生活支援第1課・第2課										
目標	-																	
事業実施状況	・保護費の支給 ・中国残留邦人等への支援給付費等の支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		7,613,859		0		0							
					特定財源		6,043,216		0		0							
					一般財源		1,570,643		0		0							
					指標名 -						単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-																	

施策 7 取組 0 番号 1 事務事業 国民年金事業										
目的	市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。					担当課		戸籍住民課		
目標	-									
事業実施状況	・ 広報紙やパンフレットによる制度周知 ・ 被保険者の各種受付事務の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		9,423		0		0	
			特定財源		40,426		0		0	
			一般財源		△31,003		0		0	
			指標名 -						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	1	事務事業	制度融資事業（農政課）		
目的	長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。					担当課	農政課		
目標	農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。								
事業実施状況	・農林業育成資金の貸付（新規貸付26件） ・農地保有合理化事業資金の貸付（新規貸付0件）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	2,265,012	0	0			
			特定財源	2,260,491	0	0			
			一般財源	4,521	0	0			
	指標名		制度資金利用件数			単位	件		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	80			99		99		99	
				26					
評価検証	R5年度の新規貸付件数は26件であり、目標を達成しませんでした。 エネルギー価格や肥料を含む生産資材価格の高騰、農業機械の値上がり、夏の高温による生育不安などによって、農業者が農業機械等の導入を控えたことが要因であると考えます。 経営コスト削減を目的としたスマート農業機械の導入に向けた動きなどが見られることから、今後も農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことが必要であると考えます。								

施策	8	取組	1	番号	2	事務事業	農業経営体育成・強化事業		
目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。					担当課	農政課		
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について208人を目指します。								
事業実施状況	・担い手の強化、育成支援（十勝地域農業者合同研修会61名（会場14人、オンライン47人）、アグリカレッジ7人（新規就農者コース）） ・農業振興基金の管理（年度末残高143,607,305円）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	45,616	0	0			
			特定財源	44,336	0	0			
			一般財源	1,280	0	0			
	指標名		各種研修への参加者数			単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	162			176		191		208	
				68					
評価検証	R5年度の各種研修への参加者数は68人であり、目標を達成しませんでした。 十勝地域農業者合同研修会講師と研修回数を協議した結果として、研修会の開催回数を1回としたことが要因であると考えます。 今後は、農業者が参加しやすい開催手法の工夫や、農業者が関心を持つ分野を題材にした研修会の開催を継続していくことが必要であると考えます。								

施策	8	取組	1	番号	3	事務事業	クリーン農業推進事業		
目的	生産者・関係団体との連携によるクリーン農業技術の普及などにより、安全で良質な農産物の生産を進めます。					担当課	農政課		
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を目指します。								
事業実施状況	・クリーン農業技術等の普及促進 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施（実践者数65人、実施面積76,707a）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	41,608	0	0			
			特定財源	30,744	0	0			
			一般財源	10,864	0	0			
	指標名		環境保全型農業実践者数			単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	60			62		64		66	
				65					
評価検証	R5年度の環境保全型農業実践者数は65人であり、目標を達成しました。 積極的な事業周知により想定よりも取組面積が伸びたほか、肥料価格高騰を背景とした化学肥料低減への意識の高まりなどにより、新たに本事業を活用する農業者が増加したことが要因と考えます。引き続き、年2回行っている事業周知やクリーン農業技術の取組事例集の配布による情報提供を継続し、環境保全型農業への理解醸成を図っていきます。								

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	4	事務事業	営農技術向上対策事業		
目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。					担当課	農政課		
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について17件を目指します。								
事業実施状況	・営農技術試験、調査、情報提供（営農技術試験研究数20件、営農技術情報の提供11回） ・土壌・堆肥分析などへの支援（検査点数3,073点） ・新技術の導入や研究などへの支援（実施主体2団体） ・新規作物の栽培実証事業の実施及び普及への支援（新規作物導入検討に向けた調査視察1件） ・家畜ふん尿由来のバイオ液肥の地域内活用に向けた支援（31件、9,300a）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	37,323	0	0			
			特定財源	21,432	0	0			
			一般財源	15,891	0	0			
	指標名		営農技術試験研究数			単位	件		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	14			17		17		17	
				20					
評価検証	R5年度の営農技術試験研究数は20件であり、目標を達成しました。 農業団体や農業者等とともに、試験研究課題や当地での技術普及について協議を行ったほか、帯広市農業技術センターの機能が民間企業等に認知されるようになったことで当地に適した試験依頼が増加したことが要因であると考えます。								

施策	8	取組	1	番号	5	事務事業	多面的機能支払推進事業		
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課	農村振興課		
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について23団体を目指します。								
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援（15,119.72ha）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	218,952	0	0			
			特定財源	164,359	0	0			
			一般財源	54,593	0	0			
	指標名		農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数			単位	団体		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	21			21		22		23	
				22					
評価検証	R5年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は22団体であり、目標を達成しました。 事業説明会などの開催を通じて、地域活動の重要性を周知してきたことなどが効果的であったと考えます。								

施策	8	取組	1	番号	6	事務事業	有害鳥獣駆除事業		
目的	有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。					担当課	農村振興課		
目標	鳥獣害による農業被害額を1,993万円にまで抑制します。								
事業実施状況	・有害鳥獣の駆除 ・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施(242回)		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	6,111	0	0			
			特定財源	1,085	0	0			
			一般財源	5,026	0	0			
	指標名		鳥獣害による農業被害額			単位	万円		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	3,088			1,993		1,993		1,993	
				1,101					
評価検証	R5年度の鳥獣害による農業被害額は1,101万円であり、目標を達成しました。 帯広市鳥獣被害対策実施隊や駆除員による被害調査の結果をもとに捕獲活動などを効果的に行ったことが、農業被害額の減少につながったものと考えています。 今後も安定的に目標値を達成できるよう、現在の駆除体制を維持していくことが必要と考えます。								

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 7 事務事業 家畜衛生対策事業													
目的		防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。					担当課		農政課				
目標		予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。											
事業実施状況	・ 予防接種への支援（ワクチン接種延べ頭数12,798頭） ・ 家畜伝染病発生予防の啓発、推進 ・ 情報収集や危機管理体制の整備 ・ 防疫資材の備蓄		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		1,545		0		0				
			特定財源		1		0		0				
			一般財源		1,544		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、自衛防疫組員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことにより、家畜伝染病の発生が防止されており、目標を達成しました。												

施策	8	取組	1	番号	8	事務事業 生乳生産安定対策事業									
目的	乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。						担当課		農政課						
目標	生乳の安定的な出荷を維持します。														
事業実施状況	・生乳検査、乳質改善への支援（生乳検査15,097検体） ・牛群の改良、飼養管理改善への支援（乳牛検定延べ頭数43,927頭） ・酪農ヘルパー派遣事業への支援（酪農ヘルパー利用延べ回数1,313回）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		2,568		0		0		
							特定財源		1,000		0		0		
							一般財源		1,568		0		0		
							指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値							
評価検証	R5年度は、酪農家に対する各種支援などを行いました。夏、夏の厳しい暑さで乳牛の体調に影響が出て乳量が減少したため、目標を達成しませんでした。 今後も酪農家に対する各種支援などにより、生乳の生産基盤を安定させていく必要があると考えます。														

施策	8	取組	1	番号	9	事務事業	農業技術センター管理運営事業							
目的	農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。						担当課	農政課						
目標	-													
事業実施状況	・ 農業技術センターの維持管理 ・ 農業行政に関する事務 ・ 農業・農村基本計画の推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	10,460	0	0					
						特定財源	13	0	0					
						一般財源	10,447	0	0					
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	8	取組	1	番号	10	事務事業 八千代公共育成牧場管理運営事業																
目的	八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。						担当課		農政課													
目標	-																					
事業実施状況	・八千代公共育成牧場の管理運営（入牧延べ頭数（牛）148,137頭、同（馬）4,245頭、舎飼延べ頭数161,560頭） ・八千代公共育成牧場の利用促進 ・自給飼料基盤強化対策の実施（牧場草地更新25.29ha、老朽・劣化草地の計画的な更新）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額									
							事業費		238,420		0											
							特定財源		136,802		0											
							一般財源		101,618		0											
							指標名						-						単位			
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
評価検証	-																					

施策	8	取組	1	番号	11	事務事業	畜産研修センター管理運営事業				
目的	畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。						担当課		農政課		
目標	-										
事業実施状況	・畜産研修センターの管理運営（利用者数1,264人） ・研修機会の提供						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		25,236	0	
							特定財源		652	0	
							一般財源		24,584	0	
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 8 取組 1 番号 12 事務事業 畜産振興事業												
目的		飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。					担当課		農政課			
目標		-										
事業実施状況	・飼養管理技術の普及促進 ・畜産関連情報の収集、提供 ・バイオガスプラント整備への支援 ・配合飼料価格高騰緊急特別対策事業への市独自の上乗せ支援（78件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		39,359		0					
			特定財源		38,364		0					
			一般財源		995		0					
			指標名		-					単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 13 事務事業 農業生産体制強化事業										
目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。					担当課	農政課			
目標	-									
事業実施状況	・ 農業用機械等の整備支援（1経営体） ・ 農業用機械等の導入や栽培体系の転換支援（ソフト事業2実施主体（新たな営農技術等の導入）、ハード事業3実施主体（生産性向上に向けた作業機械等の導入など） ・ 先進的な生産技術や作業体系の導入支援（ソフト事業10実施主体（需要の高い作物への転換支援など）、ハード事業9実施主体（省力作業機械等の導入など） ・ 馬鈴薯選別能力向上設備導入支援（1実施主体）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	516,723	0	0	
						特定財源	516,723	0	0	
						一般財源	0	0	0	
						指標名	-			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策	8	取組	1	番号	14	事務事業	農業経営基盤強化資金利子補給事業										
目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。						担当課		農政課								
目標	-																
事業実施状況	・農業経営基盤強化資金利子補給（新規案件数0件）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		1,497		0		0				
							特定財源		749		0		0				
							一般財源		748		0		0				
							指標名						単位				
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-																

施策	8	取組	1	番号	15	事務事業	農業基盤施設維持補修事業						
目的	農業用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。						担当課		農村振興課				
目標	-												
事業実施状況	・明渠の維持管理への支援 ・明渠周辺の環境保全への支援 ・畑地かんがい施設の維持管理への支援 ・明渠橋修繕工事						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	13,572	0	0			
							特定財源	8,540	0	0			
							一般財源	5,032	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 16 事務事業 道営水利施設等保全高度化事業												
目的		農業用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。						担当課		農村振興課		
目標		-										
事業実施状況	・明渠・畑地かんがい・暗渠排水、土層改良などの整備（川西西2地区、大正北2地区、大正南2地区、川西中央2-1地区、帯広かわにし1地区） ・整備費の償還				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	260,198		0				
					特定財源	187,476		0				
					一般財源	72,722		0				
					指標名				-			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 1 番号 17 事務事業 国営土地改良事業												
目的		農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。					担当課		農村振興課			
目標		-										
事業実施状況	・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		14,673		0					
			特定財源		0		0					
			一般財源		14,673		0					
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策	8	取組	1	番号	18	事務事業	土地改良促進事業				
目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。						担当課	農村振興課			
目標	-										
事業実施状況	・土地改良事業に関する事務						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	9,162	0		
							特定財源	4,383	0		
							一般財源	4,779	0		
	指標名						-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 19 事務事業 農業委員会運営事業													
目的	農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。					担当課	農業委員会事務局						
目標	-												
事業実施状況	・農地法に基づく法令業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務 ・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務 ・農業者年金業務 ・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		21,503		0			
						特定財源		16,412		0			
						一般財源		5,091		0			
	指標名		-						単位				
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 8 取組 2 番号 3 事務事業 黒毛和牛生産振興事業												
目的		繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。						担当課		農政課		
目標		繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指します。										
事業実施状況	・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進（生産技術巡回指導12回、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数903頭） ・黒毛和牛の受精卵移植の促進（和牛受精卵移植88頭（R6.3.31現在、八千代牧場）） ・とちか帯広和牛生産改良組合への支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		215		0			
					特定財源		0		0			
					一般財源		215		0			
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		R5年度は、和牛素牛生産の指導巡回やとちか帯広和牛生産改良組合による研修会などを実施したことにより、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数が増加しており、目標を達成しました。										

施策 8 取組 2 番号 1 事務事業 フードバレーとから食・農活性化事業													
目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。					担当課	農政課						
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。												
事業実施状況	・地域資源に係る情報の収集・発信（「地域資源」の紹介ページの追加・更新101件、地域の食材を使用した「おいしいレシピ」の追加・更新20件、十勝の食卓ホームページアクセス数61,427回）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
						事業費	264	0	0				
						特定財源	0	0	0				
						一般財源	264	0	0				
						指標名	-				単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、「地域の資源」の紹介ページや「おいしいレシピ」の追加・更新をするなど、内容の充実に取り組んだほか、各種イベントにおいて、「十勝の食卓」ホームページの周知を実施しました。ホームページ訪問数集計システムの更新不具合により、約1か月半の間集計できなかったため、評価不能となりますが、集計可能月については、アクセス数を維持しています。 今後も、「十勝の食卓」ホームページの内容の充実とともに、PR活動を進めていく必要があると考えます。												

施策 8 取組 2 番号 4 事務事業 畜産物加工研修センター管理運営事業													
目的		畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。					担当課		農政課				
目標		-											
事業実施状況		・畜産物加工研修センターの管理運営 ・加工研修機会の提供（研修参加人数（乳加工、肉加工）461人） ・畜産物の加工技術、製品の研究開発（研究開発参加人数1人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		12,158		0					
				特定財源		389		0					
				一般財源		11,769		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-											

施策 8 取組 2 番号 2 事務事業 農畜産物安全安心推進事業										
目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。					担当課	農政課			
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる取組みを行う農家数の増加を目指します。									
事業実施状況	・ 農畜産物の安全安心に係る普及啓発（啓発ポスター等の設置53か所） ・ みどりのチェックシートに基づく研修の周知（受講農家数71人） ・ 国際水準GAPに関するテキスト配付（配付農家数71人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	433	0	0		
					特定財源	289	0	0		
					一般財源	144	0	0		
					指標名	-				
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年度は、これまでの取組に加え、「みどりのチェックシート」に基づく研修の周知や国際水準GAPに関するテキスト配付を実施したことにより、持続可能な農業生産等を目的とした研修を受講する農家数が増加しており、目標を達成しました。									

施策	8	取組	2	番号	再	事務事業	フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>1							
目	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。						担当課	経済企画課						
目	-													
標	-													
事業実施状況	・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
							事業費	-	-	-				
							特定財源	-	-	-				
							一般財源	-	-	-				
							指標名	-					単位	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策	8	取組	3	番号	1	事務事業	食育推進事業（農業分野）					
目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。						担当課	農政課				
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。											
事業実施状況	・食や農業に関するイベントの開催・支援（食育推進イベント（ブース出展）5件、食育推進サポーター活用31件） ・消費者と生産者との相互交流の促進 ・地場農畜産物の消費拡大 ・食育推進計画の推進						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	3,685	0	0		
							特定財源	0	0	0		
							一般財源	3,685	0	0		
	指標名						-		単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	R5年度は、「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業や、各種イベントへの食育推進PRブースの出展に取り組みましたが、食育に関心を持つ市民の割合はほぼ横ばいとなっており、目標を達成しませんでした。 今後も食育出前授業等を継続するほか、大学生や高校生などの食育に関心が低いと思われる若者を対象にイベント等を通じて働きかけを行っていく必要があると考えます。											

施策	8	取組	3	番号	2	事務事業	帯広の森市民農園管理運営事業					
目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。						担当課	農政課				
目標	-											
事業実施状況	・帯広の森市民農園の管理運営（都市農村交流センター利用者数15,581人） ・市民農園（138区画）、学童農園（市内22団体）の運営						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
							事業費	20,488	0	0		
							特定財源	1,322	0	0		
							一般財源	19,166	0	0		
	指標名						-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策	8	取組	3	番号	3	事務事業 とかち大平原交流センター管理運営事業				
目的	とかち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。					担当課	農政課			
目標	-									
事業実施状況	・とかち大平原交流センターの管理運営 (利用者数13,391人) ・とかち農機具歴史館の管理運営					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	12,493	0	0	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	12,493	0	0	
	指標名								単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	8	取組	3	番号	4	事務事業	農村活性化促進事業							
目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。						担当課		農村振興課					
目標	-													
事業実施状況	・農業センターの維持管理（12施設） ・農業センターの改築等（上帯広農業センターと川西第2分団詰所の複合化） ・耕地防風林の整備への支援（21戸）						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費	40,161		0		0		
							特定財源	20,139		0		0		
							一般財源	20,022		0		0		
	指標名						-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>													
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。						担当課		農村振興課											
目標	-																			
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援（15,119.72ha）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		-		-		-							
							特定財源		-		-		-							
							一般財源		-		-		-							
							指標名		-						単位					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-																			

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	配水管整備事業<再掲20-1-1>1									
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。						担当課		水道課							
目標	-															
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,262.8m ・管路近代化事業 L=8,936.1m						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		-		-		-			
							特定財源		-		-		-			
							一般財源		-		-		-			
							指標名		-				単位			
	基準値				R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>																
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。							担当課	下水道課							
目標	-															
事業実施状況	・ 個別排水処理施設の整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		-		-		-					
					特定財源		-		-		-					
					一般財源		-		-		-					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-															

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 量水器整備事業<再掲20-2-2>												
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。						担当課	水道課				
目標	-											
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>																
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。							担当課		水道課						
目標	-															
事業実施状況	・ 配水管、水道施設、量水器の維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		-		-		-					
					特定財源		-		-		-					
					一般財源		-		-		-					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>													
目的		適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。						担当課		下水道課			
目標		-											
事業実施状況	・ 下水道管の維持管理 ・ 個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		-		-		-				
			特定財源		-		-		-				
			一般財源		-		-		-				
			指標名 -							単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>												
目的		下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・ 下水道への接続の普及啓発 ・ 排水設備改造資金の貸付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>												
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。						担当課		都市政策課		
目標		-										
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	-		-		-	
						特定財源	-		-		-	
						一般財源	-		-		-	
	指標名					-					単位	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	8	取組	4	番号	1	事務事業 森林整備促進事業									
目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。						担当課		農村振興課						
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。														
事業実施状況	・私有林の現況調査、施業提案 ・私有林整備への支援 ・高性能林業機械の導入支援（市独自事業） ・林業関係人材育成・担い手確保 ・地域材を使用した木製品製作、施設への設置を通した木育活動の実施 ・帯広市森林環境振興基金の管理（年度末残高：80,532,185円）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		74,974		0		0		
							特定財源		34,008		0		0		
							一般財源		40,966		0		0		
							指標名 森林経営計画作成面積割合				単位		%		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値					
				実績値			実績値			実績値					
			64.5		64.9		64.9		64.9						
				67.0											
評価検証	R5年度の森林経営計画作成面積割合は67.0%であり、目標を達成しました。森林の総面積が減少したことや、R2年度から実施している施業提案等により、計画作成が増加したことが要因と考えます。														

施策 8 取組 4 番号 2 事務事業 林業振興事業												
目的		民有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。					担当課		農村振興課			
目標		林業事業者が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ入日）の増加を目指します。										
事業実施状況		・民有林の造林などへの支援 ・森林認証の継続 ・林地台帳の運用 ・森林作業員の就労の安定化（31人） ・林業機械の導入支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		10,490		0		0		
				特定財源		6,364		0		0		
				一般財源		4,126		0		0		
				指標名		-						単位
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		R5年度は、民有林における施業への補助や、森林作業員就労条件整備事業、木質バイオマス供給施設における林業機械の導入支援の実施などに取り組んだことで、森林所有者の施業意欲の向上や事業量の増加につながり、現場作業員及び作業日数が増え目標を達成しました。										

施策 8 取組 4 番号 3 事務事業 林道等整備事業												
目的	林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。							担当課	農村振興課			
目標	-											
事業実施状況	・森林作業道の開設				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		550		0		0	
					特定財源		550		0		0	
					一般財源		0		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 4 事務事業 市有林造成事業												
目的		水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。					担当課		農村振興課			
目標		-										
事業実施状況	・森林施業計画に基づく造成事業の実施 (新植、下刈、間伐など) ・市有林風倒木の復旧植栽		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		52,739		0					
			特定財源		49,194		0					
			一般財源		3,545		0					
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 8 取組 4 番号 5 事務事業 市有林収穫事業											
目的		間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。					担当課		農村振興課		
目標		-									
事業実施状況	・森林施業計画に基づく収穫事業の実施 (間伐材等の売り払い)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		6,902		0				
			特定財源		25,953		0				
			一般財源		△19,051		0				
			指標名 -							単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策	8	取組	4	番号	6	事務事業 市有林・林道等管理事業									
目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。						担当課		農村振興課						
目標	-														
事業実施状況	・市有林の適正管理 ・市有林野管理経営審議会の開催 ・林道の管理 ・林業行政に関する事務 ・森林が持つ機能等の理解の促進						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		5,020		0				
							特定財源		43		0				
							一般財源		4,977		0				
							指標名 -						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 8 取組 5 番号 1 事務事業 ばん系馬生産振興事業											
目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。					担当課	ばんえい振興課				
目標	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばんえい競馬の安定開催に必要なばんえい競馬2歳馬出走頭数240頭の確保を目指します。										
事業実施状況	・生産者への生産奨励金支給				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	68,632		0		0	
					特定財源	66,438		0		0	
					一般財源	2,194		0		0	
	指標名		ばんえい競馬2歳馬出走頭数					単位	頭		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
	240		240		240		240				
266											
評価検証	R5年度の2歳馬出走頭数は266頭であり、目標を達成しました。 売上向上に向けた取り組みや生産奨励金の支給により、ばん馬生産者の意欲向上につながったと考えます。										

施策	8	取組	5	番号	2	事務事業 馬文化承継事業				
目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。					担当課	ばんえい振興課			
目標	馬耕技術伝承プロジェクト（開拓期における馬耕技術の実演や生産者、騎手など馬に関わる職業の紹介など）を通じて、人と馬との文化承継を目指します。									
事業実施状況	・馬とふれあう機会の提供（17回） ・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援 ・草競馬等における生産者への表彰への支援	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	13,927	0	0					
		特定財源	13,927	0	0					
		一般財源	0	0	0					
		指標名	馬文化承継事業参加者数				単位	人		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		77	120 190	120		120				
評価検証	R5年度の馬文化承継事業参加者数は190人であり、目標を達成しました。 競馬開催日に、場内で馬搬実演などの催しを実施したことが効果的であったと考えます。									

施策 8 取組 5 番号 3 事務事業 競馬開催事業												
目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。						担当課		ばんえい振興課			
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。											
事業実施状況	・ばんえい競馬の開催（開催日数149日、発売額559億5800万1000円） ・ばんえい競馬振興基金の管理 ・ばんえい競馬施設等整備基金の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		57,033,580		0		0	
					特定財源		56,999,336		0		0	
					一般財源		34,244		0		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、イベント開催などの売上向上の取り組みなどにより、収支は黒字となり、ばんえい競馬の安定的な運営が図られ、目標を達成しました。											

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	1	事務事業	市場開拓・販路拡大事業				
目的	関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。						担当課	経済企画課			
目標	関係機関と連携した相談体制の維持やセミナー等の支援を継続します。										
事業実施状況	・国内・海外販路拡大に向けた支援 ・工場等の衛生水準の向上支援 ・関係機関との連携による地域内外へのかちブランドのPR促進 ・地場産品ブランド化の総合的な支援 ・国の持続化補助金を活用した販路拡大等への支援 ・第35回国際農業機械展開催の支援				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	17,929	0	0			
					特定財源	15,402	0	0			
					一般財源	2,527	0	0			
					指標名	-		単位			
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、関係機関との連携により、国内外への販路拡大に向けた商談会の開催支援や、海外の有名ソムリエ・醸造家を招聘した道産ワインの知名度向上・販路拡大事業を実施し、目標を達成しました。										

施策	9	取組	1	番号	2	事務事業	知的財産保護・活用促進事業			
目的	特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。						担当課	経済企画課		
目標	地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について31件を目指します。									
事業実施状況	・弁理士等による発明相談会、知的財産研修会の開催支援（相談件数23件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	5	0	0	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	5	0	0	
	指標名		発明相談件数				単位	件		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	27		31 23		31		31			
評価検証	R5年度の発明相談件数は23件であり、目標を達成しませんでした。 知的財産に対する関心が低く、周知不足が原因と考えられます。 今後も、引き続き、関係機関との連携による地域事業者等への周知やセミナーの実施などを通じて、知的財産に対する関心の向上を図っていく必要があると考えます。									

施策	9	取組	1	番号	3	事務事業	経営相談事業											
目的	中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。						担当課		商業労働課									
目標	中小企業の経営に係る相談体制を維持します。																	
事業実施状況	・経営相談の実施（1,289件） ・中小企業相談所による経営、講習会などの実施（67件） ・経済動向の把握と情報提供 ・北海道中小企業総合支援センターとの連携				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		16,530		0		0							
					特定財源		0		0		0							
					一般財源		16,530		0		0							
					指標名		経営相談件数				単位		件					
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					1,252				1,329 1,289		1,329				1,329			
評価検証	R5年度の経営相談件数は1,289件であり、目標を達成しませんでした。																	
	中小企業の経営や創業の相談等に応じていますが、原油・原材料価格高騰などの影響を受け、事業拡大などの経営相談が減少していることが要因であると考えます。 今後も地元企業の経営基盤の強化や創業に繋げていくため、引き続き関係機関と連携しながら、相談体制の維持に努めていく必要があると考えます。																	

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	4	事務事業	商店街活性化事業			
目的	商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。						担当課	商業労働課		
目標	商店街空き店舗率について現状の水準を維持します。									
事業実施状況	・商店街が新たに取り組む事業等への支援（7件） ・演出、催事業への支援（12件） ・商店街ロードヒーティング設備維持への支援（7件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	15,061	0	0	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	15,061	0	0	
	指標名		商店街空き店舗率				単位	%		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	10.1			10.1 11.6	10.1		10.1			
評価検証	R5年度の商店街空き店舗率は、11.6%となり目標を達成しませんでした。 空き店舗を利用して、新たに開業した店舗がある一方、営業不振などにより退去する事業者がいることから、空き店舗率は0.5%増加しています。 引き続き、商店街の活性化へ向け、商店街の取り組みの支援や空き店舗情報の周知に取り組む必要があると考えます。									

施策	9	取組	1	番号	5	事務事業	制度融資事業（商業労働課）					
目的	長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。						担当課		商業労働課			
目標	市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。											
事業実施状況	・制度融資のあっせん（あっせん件数153件） ・信用保証料の補給（補給件数113件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		4,919,636		0		0	
					特定財源		4,904,929		0		0	
					一般財源		14,707		0		0	
	指標名		制度融資実行割合						単位		%	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
				15.3			25.0 10.7			25.0 25.0		
評価検証	R5年度の制度融資実行割合は10.7%であり、目標を達成しませんでした。 多くの事業者が国の新型コロナウイルス施策に伴う金融機関の実質無利子無担保融資を受けたため、資金需要が低下していることが要因であると考えます。 今後も、中小企業にとって円滑で有利な資金調達が可能となるよう、制度融資等に関する情報提供を行っていく必要があると考えます。											

施策	9	取組	1	番号	6	事務事業	人材育成事業							
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。						担当課		経済企画課					
目標	地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとかち人材育成事業の修了者数の増加を目指します。													
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施 (修了者数23名)						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		4,817		0		0	
							特定財源		0		0		0	
							一般財源		4,817		0		0	
	指標名						-		単位					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値						
評価検証	R5年度の修了者数は23名（前年修了者数：39名）であり、目標に向け進捗していません。													
	関係機関と連携した周知や講義内容の見直しを行いました。新規受講者の増加に結びつきませんでした。今後は、地域事業者への周知活動を強化していくほか、新たな受講者の獲得に向け、ニーズに応える講義づくりを進めていく必要があると考えます。													

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	7	事務事業	産業支援機能提供事業						
目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、地場工業の活性化を図ります。						担当課	経済企画課					
目標	新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・とから財団への支援（とから財団による技術指導相談件数829件） ・十勝産業振興センター建設費償還への支援（設備機器利用件数63件） ・商工観光振興基金の管理（商工観光振興基金の寄付者数3,308名、寄付額56,718,581円） ・製品開発、販路開拓等への支援 ・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実 ・北海道中小企業総合支援センター等との連携 ・起業希望者向けのコーディネーターの配置						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	176,947	0	0			
							特定財源	0	0	0			
							一般財源	176,947	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、関係機関と連携し、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等へ赴き指導及び助言などを実施してきましたが、相談件数は減少し、目標達成できませんでした。今後も引き続き、関係機関とともに、地域事業者への周知や企業ニーズに合った支援を継続していく必要があると考えます。												

施策	9	取組	1	番号	8	事務事業	産業振興ビジョン推進事業					
目的	中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、中小企業の活性化を図ります。						担当課	経済企画課				
目標	-											
事業実施状況	・帯広市産業振興会議の開催 ・産業振興ビジョンの推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	38	0	0			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	38	0	0			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-											

施策	9	取組	1	番号	9	事務事業	企業支援事業						
目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営力強化を図ります。						担当課	経済企画課					
目標	-												
事業実施状況	・ 地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	290	0	0			
							特定財源	0	0	0			
							一般財源	290	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-												

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	10	事務事業	職業能力開発・向上推進事業						
目的	関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人材の育成・確保を図ります。						担当課		商業労働課				
目標	-												
事業実施状況	・職業能力開発事業への支援 ・職業能力開発センターへの運営支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	33,645	0	0			
							特定財源	0	0	0			
							一般財源	33,645	0	0			
							指標名	-				単位	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-												

施策	9	取組	1	番号	11	事務事業	商業活性化事業			
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織強化支援などを通じ、商業の振興を図ります。						担当課	商業労働課		
目標	-									
事業実施状況	・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供 ・大規模小売店舗立地法に関する事務 ・商業行政に関する事務 ・中小企業団体の組織強化への支援 ・商工中金全国ユース会代表者セミナー開催への支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費	4,624	0	0
							特定財源	19	0	0
							一般財源	4,605	0	0
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	9	取組	1	番号	12	事務事業	組織設立認可等関連事業			
目的	中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。						担当課	商業労働課		
目標	-									
事業実施状況	・組合設立認可等に関する事務					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	0	0	0	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	0	0	0	
	指標名	-					単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	9	取組	2	番号	1	事務事業	十勝・イノベーション・エコシステム推進事業						
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。						担当課	経済企画課					
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・域内外の異分野人材との触発等による事業創発の促進（十勝ドリームマップ会議） ・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築（とかちイノベーションプログラム、LANDの管理、運営等）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	33,809	0	0			
							特定財源	33,145	0	0			
							一般財源	664	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、とかち・イノベーション・プログラムにおいて、プログラム内容の動画配信や希望者への託児サービスを継続したほか、金融機関の取引先への周知や事務局のネットワークを通じた参加者募集などを行ったことにより新規参加者が全体の8割を超えるなど、参加者の裾野が着実に広がっています。 支援を通じた事業化件数は4件増加（延べ24件）しており、目標を達成しました。												

施策	9	取組	2	番号	2	事務事業	産学官連携促進事業						
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。						担当課	経済企画課					
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・新商品の開発支援 ・商談会への出展支援				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費	1,594	0		0				
					特定財源	0	0		0				
					一般財源	1,594	0		0				
					指標名	-					単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、食品技術分野における課題解決、また、新製品の実用化に向けた研究開発などに取り組んだことから、新商品開発件数が増加し、目標を達成しました。												

施策	9	取組	2	番号	3	事務事業	フードバレーとかち推進事業						
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。						担当課	経済企画課					
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。												
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進 ・「フードバレーとかち」の取り組みへの住民参加の促進 ・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮 ・域内外企業等との連携促進 ・バイオマス産業都市構想の推進 ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大 ・フードバレーを通じた交流の推進 ・十勝の食の高付加価値化の推進 ・幅広い世代の学び直しの環境づくりの支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	15,281	0	0			
							特定財源	7,500	0	0			
							一般財源	7,781	0	0			
							指標名	-	単位				
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、包括連携企業であるJALUXと域内企業との連携により、新商品のスイーツが販売開始されたほか、総合スーパーと管内農協による商品開発数が増加しており、目標を達成しました。 また、明治との取り組みでは、十勝ミルク乳酸菌TM96を使用した商品の原材料すべてが十勝産になるなど、6次産業化の取り組みが進みました。												

事務事業評価表

施策	9	取組	3	番号	1	事務事業	企業立地促進事業			
目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。						担当課	経済企画課		
目標	立地企業件数について5件を目指します。									
事業実施状況	・企業訪問活動による情報収集 ・立地企業の設備投資への支援		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	120,871		0		0		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	120,871		0		0		
	指標名		立地企業件数					単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	4		5 5		5		5		5	
評価検証	R5年度の立地企業件数は5件であり、目標を達成しました。 帯広市の工業用地の地価公示額の伸び率は北海道内でも上位であり、企業の需要はあるものと考えられることから、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、企業立地の促進につなげていくことが必要と考えます。									

施策	9	取組	4	番号	1	事務事業	雇用拡大・機会確保促進事業			
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。						担当課		商業労働課	
目標	UIJターン情報の提供登録者について331人を目指します。									
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	34,903	0		0	
					特定財源	3,211	0		0	
					一般財源	31,692	0		0	
	指標名		UIJターン情報提供先の登録数				単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	196		241 207		286		331			
評価検証	R5年度のUIJターン情報の提供登録者は207人であり、目標を達成しませんでした。 ホームページやイベント、関係機関を通じた情報提供を進めてきましたが、新規登録者数が伸び悩みました。 これまでの取り組みによって、合計登録数は526名にまで増加していることから、今後も、首都圏における移住相談会の開催や、移住イベント等で来場者への登録を促すほか、関係機関と連携した一層の周知などを、継続して進めていく必要があると考えます。									

施策	9	取組	4	番号	2	事務事業	労働環境整備促進事業	
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課
目標	とかち勤労共済センター会員数について9,000人を目指します。							
事業実施状況	・労働相談の実施（12件） ・子育て応援事業所促進事業の実施（41件） ・とかち勤労者共済センターへの運営支援（9,340人） ・事業所雇用実態調査の実施				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費	11,703	0	0
					特定財源	0	0	0
					一般財源	11,703	0	0
	指標名		とかち勤労共済センター会員数		単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
	8,371		8,622 9,340		9,000		9,000	
評価検証	R5年度のとかち勤労者共済センター会員数は9,340人であり、目標を達成しました。 十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付などに継続的に取り組んだことが効果的であったと考えます。							

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>1													
目的		子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。						担当課		子育て支援課			
目標		-											
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施（818人、2,167件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数291事業所） ・出産子育て応援給付金の支給（2,285人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		-		-		-				
			特定財源		-		-		-				
			一般財源		-		-		-				
			指標名		-					単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-											

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 障害者就労促進事業<再掲5-3-1>															
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。							担当課		障害福祉課					
目標	-														
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・相談支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施（11課18名） ・障害者の就労環境づくり ・障害者雇用に係る成功事例の周知や課題等の調査（8事例収集）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		-		-		-				
					特定財源		-		-		-				
					一般財源		-		-		-				
					指標名		-					単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 移住推進事業<再掲22-2-1>													
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。							担当課	観光交流課				
目標	-												
事業実施状況	・ 移住に関する情報収集、提供 ・ 移住に関する相談の実施（延べ137人） ・ ちょっと暮らしサポート事業の実施（3件125日間）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	-		-		-			
					特定財源	-		-		-			
					一般財源	-		-		-			
					指標名	-					単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>2												
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。							担当課		市民活動課		
目標	-											
事業実施状況	・女性活躍に関する講座の開催（2回51人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,031枚）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 10 取組 1 番号 1 事務事業 体験・滞在型観光推進事業									
目的	管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。					担当課	観光交流課		
目標	十勝のアウトドア観光消費額について8.1億円を目指します。								
事業実施状況	・自然体験観光推進事業の実施（ヤマメ放流1回） ・アウトドア観光情報の発信 ・サイクルツーリズムの推進 ・アドベンチャーツーリズムの推進 ・アイヌ古式舞踏の観光コンテンツ化に向けた取組の実施（舞踏披露15回）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	12,766	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	12,766	0	0	
	指標名	十勝のアウトドア観光消費額				単位	百万円		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	601.0		810.0 639.0		810.0		810.0		
評価検証	R5年度の十勝のアウトドア観光消費額は639.0百万円であり、前年度比では増加したものの、目標を達成しませんでした。 引き続き、アウトドア観光を柱に、地域資源を活かした観光コンテンツの拡充等に取り組んでいきます。								

施策 10 取組 1 番号 2 事務事業 三大まつり等開催事業									
目的	各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・三大まつり（平原まつり151,000人、菊まつり21,200人、氷まつり160,000人）への支援 ・地域イベントへの協力、支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	56,164	0	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	56,164	0	0
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度の三大まつり来場者数は、天候不順などの要因によって前年度と比較して減少したため、目標を達成しませんでした。 今後も、域内外から多くの人が訪れ、楽しむことができる魅力あるイベントとなるよう、より一層関係機関・団体等と連携して取り組んでいきます。								

施策 10 取組 1 番号 3 事務事業 地域観光圏連携推進事業									
目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。								
事業実施状況	・道内他地域との連携による広域観光の推進（タイアップ記事1回、旅行商品造成3社、WEBプロモーション3回）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	1,693	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	1,693	0	0	
					指標名	-			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、通年で訪日外国人を受け入れられたことや、円安傾向が続くなど、外国人の訪日需要が高まったこと等によって、訪日外国人宿泊客延べ数は前年度比で大きく増加しました。 引き続き、訪日外国人観光客のシェア向上を目指して、プロモーション活動等に取り組んでいきます。								

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 1 事務事業 アンテナショップ運営事業												
目的	とちか物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。					担当課	経済企画課					
目標	とちか物産センターの売上額について3,700万円を目指します。											
事業実施状況	・とちか物産センターへの運営支援			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		16,700		0		0		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		16,700		0		0		
				指標名		とちか物産センター売上額				単位		百万円
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	25.3				31.2		34.1				37.0	
評価検証					27.5							
	R5年度のとちか物産センター売上額は2,748万円であり、目標を達成しませんでした。 ギフト商品の拡充によりインターネット受注高は増加傾向にあるものの、物価上昇による生活必需品全般の値上げなどによる、消費マインドの低下が要因であると考えます。 引き続き、帯広物産協会および会員企業による商品開発の促進を図るとともに、ネット販売用の商品ラインナップをさらに拡充するなどし、地場産品の販路拡大につなげていく必要があると考えます。											

施策 10 取組 2 番号 2 事務事業 物産販路拡大推進事業									
目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。					担当課	経済企画課		
目標	物産展等の取扱額について3.0億円を目指します。								
事業実施状況	・道内外での物産展の開催				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	3,587	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	3,587	0	0	
	指標名		物産展等取扱額			単位	億円		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	2.5		3.0 2.8		3.0		3.0		
評価検証	R5年度の物産展等取扱額は2.8億円であり、目標を達成しませんでした。 物価上昇による生活必需品全般の値上げなどによる消費マインドの低下が要因であると考えます。 引き続き、道内の各物産協会等関係機関と連携強化を図りながら、顧客に訴求する新商品の開発などに取り組む必要があると考えます。								

施策 10 取組 2 番号 3 事務事業 観光プロモーション事業										
目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。					担当課	観光交流課			
目標	市内観光入込客数について293万人を目指します。									
事業実施状況	・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信 ・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信 ・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		12,369		0		0		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		12,369		0		0		
		指標名		市内観光入込客数				単位	万人	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		138.2			216.0		254.0		293.0	
					245.0					
評価検証	R5年度は観光ポスター、パンフレットによる観光情報の発信や、観光客確保に向けたプロモーション活動を実施したことにより、市内観光入込客数が245.0万人となり、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 4 事務事業 コンベンション誘致推進事業									
目的	関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。					担当課	観光交流課		
目標	コンベンション誘致件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・コンベンションの誘致活動（商談会2回） ・コンベンションの開催支援（ラリー北海道）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	5,400		0		0	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	5,400		0		0	
			指標名	-				単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、関係機関と連携した情報発信や開催支援によるコンベンションの誘致活動により、興味を示した団体等の発掘に繋がりましたが、会場規模が合致しないなどの理由から誘致件数の増加には至らず、目標を達成しませんでした。 今後も、引き続き関係機関と連携しながら、地域の魅力や優位性を効果的に発信するなど、継続的な誘致活動を展開していくことが必要と考えます。								

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 空港利用促進事業<再掲11-2-1>									
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちか帯広空港の利用促進を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	-								
事業実施状況	・ 航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施 ・ 利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・ 新たな路線就航のための調査・検討	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	-		-		-		
		特定財源	-		-		-		
		一般財源	-		-		-		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業 <再掲15-3-1>										
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。					担当課	スポーツ課			
目標	-									
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援（30大会への支援） ・合宿および大会の誘致（宿泊団体数413団体、宿泊者数7,657人） ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致 ・全国高等学校総合体育大会北海道大会への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 1 事務事業 観光インフォメーション推進事業													
目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。						担当課	観光交流課					
目標	観光情報センター利用者数について60,561人を目指します。												
事業実施状況	・とちか観光情報センターの運営（利用者41,872人） ・馬の資料館を活用した情報発信（利用者38,987人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		28,634		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		28,634		0		0				
			指標名		観光情報センター利用者数					単位	人		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			20,780		40,000 41,872		50,000		60,561				
評価検証	R5年度の観光情報センター利用者数は41,872人となり、目標を達成しました。新型コロナウイルスの感染症分類が5類に移行したことに伴い、前年度から観光客が増加したことが主な要因と考えます。												

施策	10	取組	3	番号	2	事務事業 観光景観等整備事業									
目的	景観等の整備を通し、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。						担当課		観光交流課						
目標	地域の観光景観等を維持します。														
事業実施状況	・ 中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理への支援（利用件数10,911回） ・ シーニックバイウエイ北海道「トカプチ雄大空間ルート」への運営支援 ・ 観光振興に係る新たな財源の検討						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		608		0		0		
							特定財源		0		0		0		
							一般財源		608		0		0		
							指標名		-						単位
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、中心市街地におけるWi-Fi環境の維持管理やトカプチ雄大空間ルートの運営などを支援し、観光客の受入環境の充実、景観の維持を図ってきており、目標を達成しました。														

施策 10 取組 3 番号 3 事務事業 観光推進団体支援事業										
目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実に努めます。					担当課	観光交流課			
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広観光コンベンション協会への支援 (ホームページアクセス489,830回) ・十勝観光連盟など各種団体との連携		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		59,461		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		59,461		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、観光推進団体の育成、支援や連携を通じ、魅力ある観光情報の提供を行ったことにより、帯広観光コンベンション協会ホームページのアクセス数は前年比で増加しており、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 4 事務事業 観光施設管理運営事業										
目的		観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実を図ります。				担当課		観光交流課		
目標		-								
事業実施状況	・ 観光施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		41,015		0		0	
			特定財源		4,863		0		0	
			一般財源		36,152		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	-									

施策 10 取組 3 番号 5 事務事業 北愛国交流広場管理運営事業										
目的		北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。					担当課		観光交流課	
目標		-								
事業実施状況	・北愛国交流広場の管理運営 ・北愛国交流広場の環境整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		13,316		0		0	
			特定財源		6,127		0		0	
			一般財源		7,189		0		0	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 1 事務事業 十勝港利活用促進事業													
目的		管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。						担当課		企画課			
目標		-											
事業実施状況	・十勝港の港湾機能の整備や利活用促進に関する国や北海道等への要望活動の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		0		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

施策 11 取組 1 番号 2 事務事業 主要幹線・広域道路整備促進事業													
目的	主要な幹線道路や高規格幹線道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。							担当課		都市政策課			
目標	-												
事業実施状況	・高規格道路の整備に関する要望活動の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		960		0		0		0			
		特定財源		0		0		0		0			
		一般財源		960		0		0		0			
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-												

施策 11 取組 1 番号 3 事務事業 鉄道高速化等促進事業													
目的		石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実にに向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。					担当課	都市政策課					
目標		-											
事業実施状況	・石勝線・根室線の高速化の促進や、維持充実にに向けた要望活動の実施 ・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集 ・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		0		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 再 事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>											
目的		地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。					担当課		都市政策課		
目標		-									
事業実施状況	・公共交通の利用促進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 11 取組 2 番号 1 事務事業 空港利用促進事業										
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちか帯広空港の利用促進を図ります。					担当課	観光交流課			
目標	とちか帯広空港におけるチャーター便の増加を目指します。									
事業実施状況	・航空路線の充実にに向けた関係機関への要請活動の実施 ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・新たな路線就航のための調査・検討	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	6,200		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	6,200		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は帯広発11便、帯広着11便の国内チャーター便が運航されましたが、新千歳空港の発着枠の増加や訪日外国人の個人旅行の需要が高まっていること等が要因となり、目標を達成しませんでした。 今後もとちか帯広空港の利用促進のため、個人客や団体客の需要を捉えた魅力ある旅行商品の開発・造成に取り組み、旅行会社へのセールスや要請活動に取り組んでいく必要があると考えます。									

施策 11 取組 2 番号 2 事務事業 空港整備事業											
目的		滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。					担当課		観光交流課		
目標		-									
事業実施状況	・ 空港施設整備に関する関係機関との調整協議 ・ 滑走路端安全区域（RESA）整備 ・ 車両基地・電源局舎改修工事	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		40,711		0		0			
		特定財源		40,711		0		0			
		一般財源		0		0		0			
		指標名		-					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 11 取組 2 番号 3 事務事業 空港施設維持補修事業										
目的		滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課		観光交流課		
目標		-								
事業実施状況	・誘導路、航空灯火等の維持補修		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		0		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		0		0		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 11 取組 2 番号 4 事務事業 空港管理運営事業																
目的		とちかち帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課		観光交流課								
目標		-														
事業実施状況	・車両購入費の償還 ・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務（モニタリングの実施） ・空港脱炭素化推進計画の策定				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		49,812		0		0					
					特定財源		6,473		0		0					
					一般財源		43,339		0		0					
					指標名 -						単位					
	基準値				R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証		-														

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 1 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（給食センター）										
目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。				担当課	給食センター				
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について74.4%を目指します。									
事業実施状況	・ふるさと給食の提供、新メニューの開発 ・地場産農産物生産者等との交流 ・食育・給食のPR ・学校給食における地元産食材導入の推進 ・食育アンケートの実施 ・学校給食標語コンテストの開催	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	5,413	0	0					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	5,413	0	0					
		指標名	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合				単位	%		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		72.9	73.4 76.8		73.9		74.4			
評価検証	R5年度の食育アンケートにおいて、「学校給食が好きだ」と思う児童生徒の割合は76.8%であり、目標を達成しました。 食や地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供や栄養教諭等による食育指導などを実施したほか、新たなメニューの開発等による魅力向上や、広報紙や市ホームページを活用した情報発信を実施したことが、効果的であったと考えます。									

施策 12 取組 1 番号 2 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）									
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。					担当課	学校地域連携課		
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。								
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者14人、来場者104人） ・冬季活動機会提供事業の実施（参加者96人） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者132人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	620	0	0	
					特定財源	186	0	0	
					一般財源	434	0	0	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、おびひろキッズタウンを再開したほか、中学生からのメッセージの来場者数や冬季活動機会提供事業の参加者数が増加し、目標を達成しました。								

施策 12 取組 1 番号 3 事務事業 青少年活動支援事業												
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課	学校地域連携課					
目標	地域活動等に積極的に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。											
事業実施状況	・ジュニアリーダー“あるふあ”の会の運営（会員数20人） ・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（参加者7人） ・地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催（参加者126人） ・北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣（参加者6人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	235	0	0			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	235	0	0			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、中高校生を対象とした“あるふあ”の会の部会や、小学6年生対象の「あすかの会」、北海道地域子ども会リーダー研修会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、会員数が減少したままであり、参加者数が伸び悩んだことから、目標を達成しませんでした。今後は、会員の増加に向けて、広報活動に取り組む考えです。											

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 4 事務事業 おびひろ市民学推進事業											
目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。					担当課	学校教育指導課				
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。										
事業実施状況	・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施 ・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援 ・総合的な学習の時間の取り組み等への支援				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	7,886		0		0	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	7,886		0		0	
					指標名 -					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりをテーマとした「おびひろ市民学」を実施しました。全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「地域のことが好きになった」と回答する割合が増加しており、目標を達成しました。										

施策 12 取組 1 番号 5 事務事業 外国語指導講師派遣事業												
目的	外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。					担当課	学校教育指導課					
目標	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。											
事業実施状況	・小中学校への外国語指導講師の派遣				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	29,892		0		0		
					特定財源	0		0		0		
					一般財源	29,892		0		0		
					指標名 -						単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R 5年度は、市内全校に外国語指導講師の派遣、外国語指導講師の指導力の向上に向けた研修を行いました。学習状況調査における「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子ども」の割合が増加し、目標を達成しました。											

施策 12 取組 1 番号 6 事務事業 動画教材作成事業															
目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。							担当課		教育研究所					
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。														
事業実施状況	・地域素材を生かした動画教材の作成(4本)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		502		0		0				
					特定財源		0		0		0				
					一般財源		502		0		0				
					指標名 -						単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、副読本「おびひろ」の映像教材として「とちか広域消防局を説明する動画」や「帯広市消防団の取組を紹介する動画」など4本を作成しました。副読本に、作成した動画の視聴用QRコードを掲載したことにより、動画教材の利用回数が増加し、目標を達成しました。														

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 1 事務事業 地域連携推進事業														
目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。						担当課		南商業高校					
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。													
事業実施状況	・学校開放講座の開催（29名参加）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		42		0		0			
					特定財源		15		0		0			
					一般財源		27		0		0			
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、「うまいもん甲子園」で優勝したクッキング部を講師とした料理教室を行ったことにより、前回より参加者が増加し、目標を達成しました。													

施策 12 取組 2 番号 2 事務事業 国際理解教育推進事業										
目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。					担当課	南商業高校			
目標	-									
事業実施状況	・インターネットを活用した英語学習の推進 ・マディソン市への生徒派遣（中止） ・外国語指導講師の配置（1名）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,555		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	4,555		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
評価検証	インターネットを活用した英語学習教材の利用や外国語指導講師の配置を実施しました。また、マディソン市への生徒派遣については現地の新型コロナウイルス感染症の状況や有事の際の対応方法等が明確でなく、生徒及び教諭の安全や負担等を考慮し、中止となりました。									

施策 12 取組 2 番号 3 事務事業 キャリア教育推進事業													
目的		外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。					担当課		南商業高校				
目標		-											
事業実施状況	・ 外部講師を活用した専門教育の推進 ・ 情報機器の整備 ・ 北海道高等学校商業教育フェアへの参加	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		18,185		0		0					
		特定財源		0		0		0					
		一般財源		18,185		0		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 4 事務事業 社会人教育推進事業									
目的	ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・ボランティア活動の推進 ・宿泊研修、見学旅行の実施		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	1,376	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	1,376	0	0			
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 12 取組 2 番号 5 事務事業 学校運営事業										
目的		学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。					担当課		南商業高校	
目標		-								
事業実施状況	・学校保健の推進 ・学校運営に関する事務 ・スクールカウンセラーの配置（1名）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		22,790		0		0	
			特定財源		75,065		0		0	
			一般財源		△52,275		0		0	
			指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 12 取組 2 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（南商）												
目的		学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。						担当課		南商業高校		
目標		-										
事業実施状況	・学校施設の維持管理 ・設備の改修等		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		56,233		0		0			
			特定財源		1,931		0		0			
			一般財源		54,302		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7 目標値 実績値	
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 7 事務事業 学習環境整備事業（南商）									
目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・学校図書の整備 ・備品等の整備		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	5,767	0	0			
			特定財源	0	0				
			一般財源	5,767	0	0			
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 1 事務事業 教員リーダー育成事業												
目的	人間性に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。							担当課		教育研究所		
目標	教員リーダー研修の参加者数について202人を目指します。											
事業実施状況	・研修会の開催(4回・201人) ・参加者同士の交流、協議				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		237		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		237		0		0	
					指標名		教員リーダー研修参加人数					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	186		202 201		202		202					
評価検証	R5年度の研修の参加者は201人であり、目標は達成できませんでした。今後も参加促進に向け、対面とオンラインを併用しながら研修を開催するほか、事業の魅力が伝わるチラシの配布を進めます。											

施策 12 取組 3 番号 2 事務事業 教育研究事業										
目的	教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。									
事業実施状況	・教育研究所の運営 ・調査研究紀要の発刊 ・研修講座の開催(909人参加) ・情報教育の推進	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	11,795		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	11,795		0		0			
		指標名	研修講座への参加人数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		779	801 909		801		801			
評価検証	R5年度の研修講座の参加者数は909人であり、目標を達成しました。参加しやすい工夫として、研修の対面とオンラインを併用して講座を開催したことや、帯広教育研究会が実施する特別支援教育部会と共催したことで、参加者が増加しました。									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 3 事務事業 学校図書館運営事業											
目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。					担当課	学校教育課				
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。										
事業実施状況	・学校図書館の運営 ・学校図書館図書資料の整備 ・学校図書館活性化事業に対する支援				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	15,372		0		0	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	15,372		0		0	
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R5年度は、図書の整備や授業などでの電子図書の活用などに加え、図書担当教諭や図書ボランティア間で各校の取り組みなどの情報共有を促進し、読書の推進啓発を実施しました。児童生徒の興味関心が高まり、電子図書の貸し出し件数が前年より増加したことから、目標を達成しました。										

施策 12 取組 3 番号 4 事務事業 学校保健事業											
目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。					担当課	学校教育課				
目標	-										
事業実施状況	・健康診断の実施 ・学校内の衛生環境の確保 ・スポーツ振興センター災害共済給付 ・フッ化物洗口の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		63,233		0		0		
			特定財源		4,585		0		0		
			一般財源		58,648		0		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 12 取組 3 番号 5 事務事業 データベース教材作成事業									
目的	データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所		
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。								
事業実施状況	・データベース教材の作成(副読本「おびひろ」アクセス数68万回)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	700		0		0	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	700		0		0	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度はタブレット端末の教材である「漢字習熟確認ボード」、副読本「おびひろ」デジタル版を作成・活用したことにより、利用回数が増加し、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（職員室CMI）													
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。							担当課	企画総務課				
目標	-												
事業実施状況	・ 職員室用パソコンの維持管理 ・ 校務支援システムの運用				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		85,586		0		0		
					特定財源		0		0		0		
					一般財源		85,586		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 12 取組 3 番号 7 事務事業 文化系大会派遣支援事業												
目的	全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。						担当課	学校教育課				
目標	-											
事業実施状況	・文化系クラブの全道・全国大会派遣への支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		1,397		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		1,397		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 3 番号 8 事務事業 体育系大会派遣支援事業												
目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。						担当課	学校教育課				
目標	-											
事業実施状況	・体育会系クラブの全道・全国大会派遣への支援 ・全道・全国大会の開催支援				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	13,477		0		0		
					特定財源	0		0		0		
					一般財源	13,477		0		0		
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値				
				実績値		実績値		実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 9 事務事業 教職員管理事業										
目的		教職員的人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。				担当課		学校教育課		
目標		-								
事業実施状況	・教職員の人事、服務管理、福利厚生等 ・教職員住宅の整備（八千代中）、維持管理等 ・教職員の働き方改革の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		40,402		0		0	
			特定財源		26,044		0		0	
			一般財源		14,358		0		0	
			指標名 -						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証		-								

施策 12 取組 3 番号 10 事務事業 教育指導推進事業										
目的		教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。					担当課	学校教育指導課		
目標		-								
事業実施状況	・各教科、部門の研究 ・地域特性を活かした教材の研究 ・各種講座等への参加		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,855		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		2,855		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 12 取組 3 番号 11 事務事業 学力検査事業										
目的	児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	-									
事業実施状況	・CRT学力検査の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	6,645		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	6,645		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 12 事務事業 教育研修センター事業											
目的	十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。						担当課	教育研究所			
目標	-										
事業実施状況	・十勝教育研修センターの運営（実施主体：十勝圏複合事務組合）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	8,518		0		0				
		特定財源	0		0		0				
		一般財源	8,518		0		0				
		指標名	-						単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 12 取組 3 番号 13 事務事業 学校給食事業														
目的	安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。						担当課		給食センター					
目標	-													
事業実施状況	・学校給食の提供 ・食物アレルギーへの対応				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		705,494		0		0			
					特定財源		614,928		0		0			
					一般財源		90,566		0		0			
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 12 取組 3 番号 14 事務事業 学校給食センター管理運営事業											
目的	学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。						担当課	給食センター			
目標	-										
事業実施状況	・学校給食センターの管理運営 ・衛生管理・危機管理の徹底 ・施設・設備の更新	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	599,825		0		0				
		特定財源	6,394		0		0				
		一般財源	593,431		0		0				
		指標名	-						単位		
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値			
				実績値		実績値		実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 15 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（学校教育指導課）										
目的	学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。						担当課	学校教育指導課		
目標	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導 ・食育、給食のPR		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費		5,864	0	0			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		5,864	0	0			
			指標名 -					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、市内全校で栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施しましたが、学習状況調査における「朝食を食べている子ども」の割合は増加せず、目標を達成しませんでした。今後も「おびひろ市民学」における「つながる食育」の取り組みを通し生活習慣を含めた食育指導の充実を図る必要があると考えます。									

施策 12 取組 4 番号 1 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校支援地域本部）										
目的		地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実 やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。				担当課		学校地域連携課		
目標		学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。								
事業 実施 状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成(研修会参加者57名) ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・こども学校応援地域事業の実施 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		53,818		0		0	
			特定財源		51,337		0		0	
			一般財源		2,481		0		0	
			指標名 -						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、こども学校応援地域事業の交付金の上限額を増額したほか、事業の周知啓発に取り組んだことで申請件数が増加しました。これによりボランティア参加者数が増加したため、目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 2 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）													
目的		放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。						担当課		学校地域連携課			
目標		放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。											
事業実施状況		・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ3,494名、実施回数499回） ・居場所づくりに関わるボランティアの養成参加者（23名） ・放課後子ども広場運営委員会の開催（3回） ・放課後子ども広場PR活動				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		5,462		0		0	
						特定財源		5,462		0		0	
						一般財源		0		0		0	
						指標名		-					
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7 目標値 実績値	
		評価検証		R5年度は、新規ボランティア登録があったものの、高齢化等の理由から辞めた方が多く全体として減少し、目標を達成しませんでした。 ボランティア登録数の維持・増加に向けて、イベントを活用したPR活動を行うことが必要であると考えます。									

事務事業評価表

施策 12 取組 4 番号 3 事務事業 コミュニティ・スクール等推進事業									
目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。					担当課	学校地域連携課		
目標	学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働しながら子どもたちを育む体制を確保します								
事業実施状況	・コミュニティ・スクールの普及啓発 ・コミュニティ・スクールの運営(全校)		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	2,312	0	0			
			特定財源	2,312	0	0			
			一般財源	0	0	0			
			指標名	-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、研修会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行により、各学校の活動や協議内容の情報周知に取り組みました。この結果、各コミュニティ・スクール協議会における議論の活性化に繋がり、目標を達成しました。								

施策 12 取組 4 番号 4 事務事業 通学路安全確保事業											
目的		通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。					担当課		学校地域連携課		
目標		-									
事業実施状況	・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		0		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		0		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 12 取組 4 番号 5 事務事業 子ども安全ネットワーク運用事業										
目	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。					担当課	学校教育指導課			
目	保護者への児童生徒の安全確保に関する情報提供体制を維持します。									
事業実施状況	・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	1,068		0		0		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	1,068		0		0		
			指標名	-					単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、各学校が保護者への緊急連絡を行うアプリとして、「RAKUME（楽メ）」を導入しました。保護者への登録を促したことにより、登録率が99.7%となり、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 12 取組 4 番号 6 事務事業 幼保小中連携推進事業																			
目的		幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。					担当課		学校教育指導課										
目標		エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。																	
事業実施状況	・異校種連携の啓発 ・地区レベルにおける協議の場の開催 ・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続を図るスタートカリキュラムや、教育課程に位置付けた教育の推進 ・小中一貫教育の推進(全校)					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		750		0		0							
						特定財源		0		0		0							
						一般財源		750		0		0							
						指標名		-						単位					
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、授業参観などの学校間の交流や、学力、体力の向上、生徒指導の分野など、各校の取り組みについて情報共有を推進しました。 市内全校で、近隣の小中学校と教育課程の接続や共通の目標を設定しており、目標を達成しました。																		

施策 12 取組 4 番号 7 事務事業 通学区域管理事業												
目的		地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。					担当課		学校地域連携課			
目標		-										
事業実施状況		・通学区域の設定、見直し		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		0		0		0		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		0		0		0		
				指標名		-						単位
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-										

施策 12 取組 5 番号 1 事務事業 就学資金貸付事業													
目的		経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。						担当課		学校教育課			
目標		-											
事業実施状況		・帯広市奨学金及び入学支度金の貸与(新規13人、継続12人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		14,911		0		0			
				特定財源		13,094		0		0			
				一般財源		1,817		0		0			
				指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 2 事務事業 特別支援教育推進事業												
目的	インクルーシブ教育の考え方にに基づき、多様な学びの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課					
目標	-											
事業実施状況	・特別支援学級の開設 ・特別支援学級の環境整備 ・通級指導教室開設に向けた検討 ・特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	443	0	0				
					特定財源	0	0	0				
					一般財源	443	0	0				
					指標名	-				単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 3 事務事業 特別支援教育支援員配置事業													
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。							担当課	学校教育課				
目標	-												
事業実施状況	・ 助手、特別支援教育補助員の配置(68人) ・ 生活介助員の配置(31人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		154,110		0		0		
					特定財源		4,406		0		0		
					一般財源		149,704		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 12 取組 5 番号 4 事務事業 教育支援委員会運営事業														
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。							担当課	学校教育課					
目標	-													
事業実施状況	・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(497人) ・発達検査員の配置(1人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		2,148		0		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		2,148		0		0			
					指標名		-						単位	
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 5 事務事業 小規模特認校推進事業												
目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。						担当課	学校教育課				
目標	-											
事業実施状況	・ 小規模特認校制度利用の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	0	0		0			
					特定財源	0	0		0			
					一般財源	0	0		0			
					指標名	-					単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 6 事務事業 児童生徒支援事業																
目的		相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。					担当課		学校教育指導課							
目標		不登校児童生徒の減少を目指します。														
事業実施状況	・こころの教室相談員の配置(7人) ・家庭訪問相談員の配置(7人) ・スクールソーシャルワーカーの配置(3人) ・教育相談員の配置(1人) ・教育支援センターひろびろの運営 ・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営 ・不登校児童生徒に対するオンライン学習プラットフォーム「ひろびろチョイス」の導入					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		27,572		0		0				
						特定財源		0		0		0				
						一般財源		27,572		0		0				
						指標名					-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		R5年度は、教育相談員等の配置や適応指導教室の運営等、様々な支援に取り組みましたが、児童生徒の欠席数は増加傾向にあり、目標達成に向けあまり進捗していません。引き続き、教育相談員等を配置し、学校内のカウンセリング機能の向上に取り組むほか、不登校児童生徒の授業への出席や社会的自立につなげていくため、「教育支援センターひろびろ」「ひろびろチョイス」による、多様な学びの機会の確保や社会や人とのつながりの場を提供することを、今後も継続して取り組んでいく必要があると考えます。														

施策 12 取組 5 番号 7 事務事業 高等学校間口対策事業									
目的	PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元の高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。					担当課	企画総務課		
目標	-								
事業実施状況	・帯広市高等学校間口対策協議会の開催 ・北海道教育委員会への要請活動	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	0		0		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	0		0		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 8 事務事業 学校施設地域開放推進事業												
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。						担当課		企画総務課			
目標	-											
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・学校図書館の土曜開放				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		129,296		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		129,296		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 9 事務事業 学校施設維持管理事業（小・中学校）														
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。						担当課 企画総務課、学校地域連携課							
目標	-													
事業実施状況	・日常経費支出 ・学校プールの維持管理 ・学習機会保障のための物品、資材等の整備 ・学校施設の保守点検 ・リンクの造成委託 ・スポットクーラーの設置				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		794,401		0		()			
					特定財源		45,729		0		()			
					一般財源		748,672		0		()			
					指標名		-						単位	
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
											R7		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 12 取組 5 番号 10 事務事業 学習環境整備事業（小・中学校）															
目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。						担当課	企画総務課							
目標	-														
事業実施状況	・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理 ・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		25,874		0						
					特定財源		0		0						
					一般財源		25,874		0						
					指標名		-						単位		
					基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
								実績値			実績値				
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 11 事務事業 義務教育施設整備事業									
目的		校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。				担当課		学校地域連携課	
目標		-							
事業実施状況	・ 防災機能強化 ・ 煙突用断熱材の除去（開西小、東小） ・ 学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理（明和小、花園小、大正小） ・ 旧大空小学校解体 ・ 南町中学校長寿命化基本設計		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		446,134	0	0		
			特定財源		360,819	0	0		
			一般財源		85,315	0	0		
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証		-							

施策 12 取組 5 番号 12 事務事業 学校環境整備事業											
目的		学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、 良好な学習環境を提供します。					担当課		企画総務課、学校地域連 携課		
目標		-									
事業 実 施 状 況	・学校施設の修繕 ・設備・機器類の修繕 ・屋外教育環境の整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		80,509		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		80,509		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-									

施策 12 取組 5 番号 13 事務事業 小・中学校適正配置推進事業										
目的		小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。				担当課		学校地域連携課		
目標		-								
事業実施状況	・市民への説明 ・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		200		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		200		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 14 事務事業 就学援助費等支給事業										
目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・ 就学援助費の支給 ・ 特別支援教育就学奨励費の支給					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	181,618	0	0	
						特定財源	4,833	0	0	
						一般財源	176,785	0	0	
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 15 事務事業 障害者高等学校等就学支援事業												
目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。						担当課	学校教育課				
目標	-											
事業実施状況	・ 障害者高等教育補助金の交付			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		2,670		0		0		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		2,670		0		0		
				指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 12 取組 5 番号 16 事務事業 私立高等学校支援事業												
目的		私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。					担当課		企画総務課			
目標		-										
事業実施状況	・私立学校教材教具整備費補助金の交付 ・私立高等学校の校舎増改築費用の支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		23,996		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		23,996		0		0			
	指標名		-							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 17 事務事業 スクールバス運行事業										
目的	遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・農村地区におけるスクールバスの運行 ・肢体不自由児学級在籍児童生徒に係るタクシーの運行 ・プール学習、校外活動等におけるバス送迎	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	182,550		0		0			
		特定財源	7,250		0		0			
		一般財源	175,300		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 18 事務事業 教材教具整備事業											
目的		教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。				担当課		学校教育課			
目標		-									
事業実施状況	・教材用消耗品、備品の整備、維持管理 ・副読本の作成 ・ピアノ等の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		125,993		0		0		
			特定財源		14,465		0		0		
			一般財源		111,528		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 19 事務事業 ICT教育環境整備事業												
目的 I C T機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課		学校教育課					
目標 -												
事業実施状況	・ I C T教育環境の整備、維持管理 ・ 生徒用プログラミングコンテンツの導入				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		117,773		0		0	
					特定財源		10,237		0		0	
					一般財源		107,536		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 0 番号 1 事務事業 教育委員会運営事業												
目的		教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。					担当課		企画総務課、学校教育課、学校地域連携課			
目標		-										
事業実施状況	・教育委員会会議の開催、運営 ・小中学校記念式典等の実施 ・教育委員会事務局の運営 ・教育振興基金の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		55,130		0		0	
					特定財源		283		0		0	
					一般財源		54,847		0		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 12 取組 0 番号 2 事務事業 教育基本計画推進事業														
目的	教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。					担当課		企画総務課						
目標	-													
事業実施状況	・教育に関する点検、評価報告 ・教育行政執行方針の策定 ・教育懇談会の開催				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		9		0		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		9		0		0			
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 1 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）									
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。								
事業実施状況	・市民大学講座の実施（45講座1,500人） ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行（年4回） ・高齢者学級の実施（1年生48人、2年生28人） ・ブラザエンジョイスクールの実施（第Ⅰ期523人、第Ⅱ期529人、第Ⅲ期542人、第Ⅳ期493人） ・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供（学習室34人利用）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		867	0	0		
			特定財源		8	0	0		
			一般財源		859	0	0		
			指標名	市民大学講座での学習の満足度				単位	%
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			94.0		94.0 98.5		94.0		94.0
評価検証	R5年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は98.5%であり、目標を達成しました。 天体観測講座や受講者参加型の防犯講座など、新しい分野、形式の講座開講に努めたことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 2 事務事業 子ども向けプログラム推進事業（図書館）									
目的	おはなし会や、子ども向け図書の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。					担当課	図書館		
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,110人を目指します。								
事業実施状況	・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施（72回、1,978人） ・家庭における読書活動推進事業の実施（家読にチャレンジ！2023 参加者数112人） ・子育て応援バッグ（絵本セット）の貸出（960セット） ・ブックリストの作成・配布（小学生向け7,000冊作成）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	569	0	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	569	0	0
	指標名		おはなし会（子ども向け）の参加者数			単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	1,143			1,110 1,978		1,110		1,110	
評価検証	R5年度の定例おはなし会への参加者数は1,978人となり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したに伴い、参加人数制限を解除したことや新たに高校生を読み手とした会を開催したことで、興味を持った保護者の参加による増加が要因だと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 3 事務事業 図書館・学校連携事業									
目的	学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。					担当課	図書館		
目標	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について752件を目指します。								
事業実施状況	・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出（1,025件） ・学校図書館クリニック（1回、32名）、リユース会（1回、19名）の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	733		0		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	733		0		0		
		指標名	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数				単位	件	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		752		752		752			
評価検証	R5年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は1,025件であり、目標を達成しました。 年齢に適した図書を手軽に借りられる当事業に継続して取り組んできたことで、学校の先生等に浸透し、児童生徒による活用が拡大したことが要因と考えます。								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 4 事務事業 学習機会提供事業（図書館）												
目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。					担当課	図書館					
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について187人を目指します。											
事業実施状況	・語り手育成講習会ほか各種講座・教室の実施（5回、117人） ・社会教育施設連携講演会（2回、78人） ・畜大連携事業（2回、52人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		33		0		0				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		33		0		0				
		指標名		市民向け講座の参加者数				単位	人			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		149		187 247		187		187				
評価検証	R5年度の市民向け講座の参加者数は247人であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、参加人数制限を解除したことや参加者ニーズの高い講座を再開したことが要因と考えます。											

施策 13 取組 1 番号 5 事務事業 図書館地域サービス運営事業										
目的		移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。				担当課		図書館		
目標		移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。								
事業実施状況	・移動図書館バスの運行 ・コミュニティセンター図書室等への配本		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		5,907		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		5,907		0		0	
			指標名		-				単位	
			基準値		R5 目標値 実績値		R6 目標値 実績値		R7 目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、移動図書館ステーションの停留留所の見直しや資料相談に対応する司書がバスに同乗する回数を増やし、地域への図書館サービスの提供を進めたことで、目標を達成することができました。									

施策 13 取組 1 番号 6 事務事業 体験活動機会提供事業（児童会館）									
目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。					担当課	児童会館		
目標	児童会館利用者の満足度について97.6%を目指します。								
事業実施状況	・児童会館の利用者数280,065人 ・常設コーナーの利用（科学展示室32,966人、プラネタリウム14,128人、遊び場139,618人など） ・科学教室・工作教室等の開催（106回7,113人） ・文化関連事業の開催11,661人（人形劇、将棋、囲碁、児童劇団、リアルジオラマ展等） ・子育て支援事業の開催（もっくん教室8回170人） ・わくわくこどもまつり等の開催（5回7,203人） ・宿泊学習等の実施（76校9団体）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	3,839	0	0
						特定財源	329	0	0
						一般財源	3,510	0	0
	指標名	児童会館利用者の満足度				単位	%		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	96.2		97.6 95.7	97.6		97.6			
評価検証	R5年度の児童会館利用者の満足度は95.7%であり、目標を達成しませんでした。 遊び場の新たな遊具の導入や科学教室等の内容充実に取り組んだことで、前年度（92.8%）より満足度は向上しましたが、利用者から施設環境に対する意見をいただいており、今後は、施設環境の充実にも取り組んでいく必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 7 事務事業 学習機会提供事業（百年記念館）													
目的		博物館活動・創造活動に関する各種の展示・講座等を開催し、市民の学習活動を支援します。					担当課		百年記念館				
目標		百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について7,579人を目指します。											
事業実施状況		・博物館講座（12回、330人）、企画展等（2回、2,973人）の実施 ・美術分野（2回、2,148人）の展示の実施 ・創造活動講座の実施（32回631人）、創造活動関連の展示（3回、705人） ・出前講座の開催		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		4,524		0		0			
				特定財源		712		0		0			
				一般財源		3,812		0		0			
				指標名		事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		6,038			7,579			7,579			7,579		
			6,787										
評価検証		R5年度の事業参加者数は6,787人で目標を達成しませんでした。企画展の内容や魅力の周知が十分に行えなかったことが要因と考えます。今後も参加者の関心の高い講座や企画展等の開催をSNS等で周知するほか、高齢者学級や生涯学習サークル等の学習活動を行う団体へ個別に周知を行うことが必要があると考えます。											

施策 13 取組 1 番号 8 事務事業 学習機会提供事業（動物園）										
目的		飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。				担当課		動物園		
目標		動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。								
事業実施状況	・体験事業（1日飼育係・裏側探検等16回、258人） ・教育事業（スポットガイド・おびZoo寺子屋等8回、147人） ・人材育成（実習受入等）（3回、8人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		3,367		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		3,367		0		0	
	指標名			教育講座、体験講座の参加者数			単位		人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	363			407 413		407	407			
評価検証	R5年度の教育講座、体験講座の参加者数は413人であり、目標を達成しました。 各講座の開催について、広報おびひろやホームページによる周知のほか、園内掲示物を見やすくするなどの工夫に取り組んだことが効果的だったと考えます。									

施策	13	取組	1	番号	9	事務事業	図書館間ネットワーク事業						
目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。						担当課		図書館				
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。												
事業実施状況	・相互貸借業務の実施（貸出：751冊、借受：953冊） ・十勝管内在住者への広域貸出しの実施（14,337人、70,118冊）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	299	0	0			
							特定財源	0	0	0			
							一般財源	299	0	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度も全国の図書館間での相互貸借や管内の図書館と連携した広域貸出サービスを継続したため、目標を達成しました。												

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 10 事務事業 とちかプラザ管理運営事業																
目的	とちかプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。						担当課		生涯学習文化課							
目標	-															
事業実施状況	・とちかプラザの管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		202,570		0		0					
					特定財源		2,805		0		0					
					一般財源		199,765		0		0					
					指標名						-		単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値						
評価検証	-															

施策	13	取組	1	番号	11	事務事業 とかちプラザ施設整備事業									
目的	とかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課		生涯学習文化課						
目標	-														
事業実施状況	・とかちプラザの改修、修繕					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		65,931		0		0			
						特定財源		52,600		0		0			
						一般財源		13,331		0		0			
	指標名					-					単位				
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
評価検証															

施策	13	取組	1	番号	12	事務事業	郷土資料収集・保存整備事業					
目的	帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。						担当課		図書館			
目標	-											
事業実施状況	・郷土資料の収集・整理・保存					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	45		0		0	
						特定財源	43		0		0	
						一般財源	2		0		0	
	指標名					-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 13 事務事業 図書資料・刊行物等整備事業												
目的	蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。							担当課		図書館		
目標	-											
事業実施状況	・蔵書等の整備 ・図書館図書整備基金の管理 ・新聞、雑誌、広報、官報等の収集 ・資料の整備及び製本 ・図書館雑誌スポンサー制度の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		50,061		0			
					特定財源		47,556		0			
					一般財源		2,505		0			
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 14 事務事業 図書館管理運営事業													
目的	図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。							担当課		図書館			
目標	-												
事業実施状況	・ 図書館の管理運営 ・ 図書館情報システムの運用管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		178,319		0		0		
					特定財源		890		0		0		
					一般財源		177,429		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 13 取組 1 番号 15 事務事業 図書館施設整備事業																	
目的		図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課		図書館							
目標		-															
事業実施状況	・施設の改修、修繕					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		3,500		0		0					
						特定財源		0		0		0					
						一般財源		3,500		0		0					
						指標名		-						単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-															

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 16 事務事業 児童会館施設整備事業												
目的		児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保 や施設の機能維持を図ります。						担当課		児童会館		
目標		-										
事業 実 施 状 況	・施設の改修、修繕 ・科学展示室、プラネタリウムの更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		13,028		0		0			
			特定財源		4,600		0		0			
			一般財源		8,428		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価 検 証		-										

施策 13 取組 1 番号 17 事務事業 児童会館管理運営事業												
目的		児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことができる環境など多様な体験活動の機会を提供します。						担当課		児童会館		
目標		-										
事業実施状況	・児童会館の管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		64,738		0		0	
					特定財源		3,123		0		0	
					一般財源		61,615		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

施策 13 取組 1 番号 18 事務事業 野草園管理運営事業											
目的		野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。				担当課		児童会館			
目標		-									
事業実施状況	・野草園の管理運営 ・園内の植物相調査の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		2,815		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		2,815		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 19 事務事業 農業体験実習館管理運営事業										
目的	岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。					担当課	児童会館			
目標	-									
事業実施状況	・廃止後の建物のアスベスト・ダイオキシン調査の実施		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	4,586		0		0		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	4,586		0		0		
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 20 事務事業 百年記念館管理運営事業																
目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。					担当課	百年記念館									
目標	-															
事業実施状況	・ 百年記念館の管理運営 ・ 帯広百年記念館運営審議会の開催					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費	54,763		0							
						特定財源	5,306		0							
						一般財源	49,457		0							
						指標名	-						単位			
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-															

施策 13 取組 1 番号 21 事務事業 百年記念館施設整備事業												
目的	百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。							担当課		百年記念館		
目標	-											
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		13,980		0		0	
					特定財源		11,100		0		0	
					一般財源		2,880		0		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7 実績値	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 22 事務事業 動物園管理運営事業										
目的	動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。					担当課	動物園			
目標	-									
事業実施状況	・動物園の管理運営 ・ばん馬購入	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	162,487		0		0			
		特定財源	83,803		0		0			
		一般財源	78,684		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 23 事務事業 動物園施設整備事業												
目的		動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課		動物園			
目標		-										
事業実施状況	・動物園の魅力アップに向けた整備（馬ふれあい舎、新キリン舎） ・ビジターセンター整備 ・動物園東エリアトイレ整備等 ・基盤的施設の修繕（新サル舎） ・おびひろ動物園ゆめ基金の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		390,819		0		0			
			特定財源		386,528		0		0			
			一般財源		4,291		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値					
評価検証		-										

施策 13 取組 2 番号 1 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業										
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。					担当課	生涯学習文化課			
目標	生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の回数について101回を目指します。									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育関係団体等への支援 ・学生の社会参加（24名） ・指導者登録（登録者数159名） ・20歳の集いの開催			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
				事業費	11,266	0	0			
				特定財源	530	0	0			
				一般財源	10,736	0	0			
				指標名	コミュニティ講座の回数					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		101	101 211	101	101					
評価検証	R5年度のコミュニティ講座の回数は211回となり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、地域における学習活動が再開したことや、随時、生涯学習推進委員会にコミュニティ講座の実施を呼びかけたことで、学校や町内会、PTA等と連携・協力した花壇整備やラジオ体操など、取り組みの増加が要因であると考えます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 2 番号 2 事務事業 図書館ボランティア活動推進事業											
目的	図書館におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。					担当課	図書館				
目標	図書館に関わるボランティア団体数について5団体を目指します。										
事業実施状況	・ボランティア活動への支援（5団体）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		92		0		0	
				特定財源		0		0		0	
				一般財源		92		0		0	
	指標名		ボランティア団体数					単位		団体	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	5		5		5		5		5		
評価検証	R5年度の図書館ボランティアの団体数は5団体であり、目標を達成しました。 ボランティア団体が意見の出しやすい環境づくりや活動状況の情報発信に努め、ボランティアのモチベーション向上につながったことが効果的であったと考えます。										

施策 13 取組 2 番号 3 事務事業 百年記念館ボランティア活動推進事業													
目的		博物館の活性化及び地域住民と博物館とをつなぐ役割を担うボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。						担当課		百年記念館			
目標		百年記念館に関わるボランティア会員数について28人を目指します。											
事業実施状況		・ボランティア養成講座の開催や研修の実施 ・収蔵資料の整理と活用 ・独自事業の開催 ・常設展示室解説		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		10		0		0			
				特定財源		0		0		0			
				一般財源		10		0		0			
				指標名		ボランティア会員数						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
				28		28		28		28			
			26										
評価検証		R5年度のボランティア会員数は26人で目標を達成しませんでした。隔年実施のためボランティア養成講座が実施できなかったことが要因と考えられます。 今後は、ボランティア養成講座を毎年開催し、新規ボランティアの掘り起しに向けたきっかけづくりや既存のボランティアに対して学習機会の提供を行い、活動への関心や意欲を高めていく必要があると考えます。											

施策 13 取組 2 番号 4 事務事業 博物館活動推進事業										
目的	自らが学び、その成果を活かすことができる環境づくりを進めます。					担当課	百年記念館			
目標	郷土の歴史・文化に関わる展示をしている百年記念館常設展示室の入場者数について16,346人にします。									
事業実施状況	・学芸関係職員の調査研究や研修参加 ・博物館資料、美術品の収集、保管 ・常設展示室の充実 ・帯広百年記念館紀要の発行	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	9,688		0		0		0	
		特定財源	34		0		0		0	
		一般財源	9,654		0		0		0	
		指標名	常設展示室入場者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		13,489		16,346 15,438		16,346		16,346		
評価検証	R5年度の常設展示室入場者数は15,438人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことで、観光・視察目的の見学者は増加したものの、インフルエンザの流行により、道内小学校のバス見学や修学旅行のキャンセルが相次いだことが要因であると考えます。 今後は、常設展示室でのモバイルガイドを活用した学習機会の提供を継続することや展示内容の充実、SNS等を活用した周知を強化することで、利用促進をはかっていく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 2 番号 5 事務事業 動物園ボランティア活動推進事業														
目的		動物園におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かします。				担当課		動物園						
目標		動物園に関わるボランティア団体数について9団体を目指します。												
事業実施状況	・施設整備ボランティア（各奉仕活動） 6団体 ・事業協力ボランティア（ZooFul等） 2団体 ・運営推進ボランティア（動物園協会） 1団体		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		0		0		0					
			特定財源		0		0		0					
			一般財源		0		0		0					
			指標名		ボランティア団体数				単位		団体			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			8				8		9				9	
				9										
評価検証		R5年度の動物園ボランティア団体数は9団体であり、目標を達成しました。 ボランティア活動等について、ホームページやSNS等で発信し周知を図ったことで、ボランティア団体の意欲向上につながり、活動の継続や新規参加につながったものと考えます。												

施策 13 取組 3 番号 1 事務事業 高等教育連携事業									
目的		帯広畜産大学や関係団体などと連携し、大学の研究・教育機能の活用等を通じて、高等教育の推進を図ります。				担当課		企画課	
目標		学生が地域との繋がりを築くことを目的に実施する事業の参加人数355人を目指します。							
事業実施状況	・とかち高等教育推進まちづくり会議の運営 ・帯広畜産大学の整備・拡充に向けた情報収集や要望活動の実施 ・帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進（学生主体のまちづくり活動の推進など）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		2,727		0		0	
		特定財源		798		0		0	
		一般財源		1,929		0		0	
		指標名		帯広畜産大学の学生による「学生と地域が つながるまちづくり支援事業」の参加人数				単位	人
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		227		355 358		355		355	
評価検証	R5年度の帯広畜産大学の学生による地域との繋がりを築くことを目的とした事業の参加人数は358人であり、目標を達成することができました。								
	学生へのアンケート結果等を踏まえ、事業のテーマや視察先の選定を行ったことが、効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 人材育成事業<再掲9-1-6>												
目的		関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。						担当課		経済企画課		
目標		-										
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施 (修了者数23名)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（動物園）<再掲13-1-8>										
目的		飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課		動物園	
目標		-								
事業実施状況	・人材育成（実習受入等）（3回、8人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		-		-		-	
			特定財源		-		-		-	
			一般財源		-		-		-	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証	-									

施策 13 取組 0 番号 1 事務事業 社会教育委員会議運営事業										
目的		社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。				担当課		生涯学習文化課		
目標		-								
事業実施状況	・社会教育委員会議の開催 ・研修大会等への参加		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		418		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		418		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 1 事務事業 文化活動団体・指導者育成事業									
目的	市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持します。								
事業実施状況	・文化団体等の情報提供(249団体) ・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者2個人) ・文化団体への活動支援(事業補助3団体、大会派遣補助5件) ・十勝馬唄全国大会への支援(1件)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	3,288	0	0	
					特定財源	200	0	0	
					一般財源	3,088	0	0	
					指標名	-			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	評価検証	R5年度は、文化活動に関心がある人に向けた活動団体の紹介や、文化活動を表彰する機会の提供等を実施することで、文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持し、目標を達成しました。							

施策 14 取組 1 番号 2 事務事業 市民文化活動促進事業										
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課	生涯学習文化課			
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について755人を目指します。									
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数125件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者399人、展示出品者340人) ・文化芸術活動発表会の開催(1件)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	1,460		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	1,460		0		0			
		指標名	市民芸術祭出演者・出品者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		755	755 739		755		755			
評価検証	R5年度の市民芸術祭の出演者・出品者数は739人であり、目標を達成しませんでした。出演者・出品者が固定化しており、新規参加者が伸び悩んでいることに加え、体調不良により出演団体の急なキャンセルが発生したことも一つの要因と考えます。今後は、出演者等の増加はもとより、文化振興の担い手の裾野拡大に向け、若年層を対象としたワークショップの開催等に取り組みます。									

施策 14 取組 1 番号 3 事務事業 市民文芸誌発刊事業												
目的		文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主体的な文化活動を促進します。					担当課		図書館			
目標		市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数について404人を目指します。										
事業実施状況	・文芸作品の募集、表彰 ・各種関連教室の開催（4講座、24人） ・『市民文芸』の発刊（応募者99人） ・『とかちジュニア文芸』の発刊（応募者202人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		2,164		0		0	
					特定財源		252		0		0	
					一般財源		1,912		0		0	
					指標名		市民文芸ととかちジュニア文芸の応募者数					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	404		404 301		404		404					
評価検証		R5年度の市民文芸・とかちジュニア文芸の応募者数は301人であり、目標を達成しませんでした。市民文芸は例年通りの応募数がありましたが、ジュニア文芸の学校を通じた応募が減ったことが要因と考えます。今後は、学校と関わる機会を活用して、先生等に改めて事業を周知するとともに、図書館ホームページやSNSを活用した周知を行うことが必要と考えます。										

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 4 事務事業 文化施設整備事業											
目的		文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保 や施設の機能維持を図ります。				担当課		生涯学習文化課			
目標		-									
事業 実施 状況	・ 市民文化ホールの改修、修繕		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		82,203		0		0		
			特定財源		57,100		0		0		
			一般財源		25,103		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価 検証		-									

施策 14 取組 1 番号 5 事務事業 文化施設管理運営事業											
目的	文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館				
目標	-										
事業実施状況	・グリーンステージの管理 ・市民文化ホールの管理運営 ・市民ギャラリーの管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		190,916		0		0		
			特定財源		3,697		0		0		
			一般財源		187,219		0		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 14 取組 2 番号 1 事務事業 文化芸術鑑賞事業									
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館		
目標	文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について83.0%を目指します。								
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(5事業、16,116人)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	1,700		0		0	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	1,700		0		0	
			指標名	鑑賞者の満足度					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	83.0		83.0 89.1		83.0		83.0		
評価検証	R5年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は89.1%であり、目標を達成しました。前年に実施した鑑賞者アンケート等を踏まえ、参加者の関心やニーズのあるテーマを選定したことが効果的であったと考えます。								

事務事業評価表

施策 14	取組 2	番号 2	事務事業 子ども向け鑑賞機会提供事業			
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。				担当課	生涯学習文化課
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。					
事業実施状況	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供（3事業、3,625人）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	5,151	0	0	
		特定財源	0	0	0	
		一般財源	5,151	0	0	
		指標名	-		単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	R5年度の親子向けコンサートの鑑賞者満足度は97.8%となり、前年度（100%）から減少し目標を達成しませんでした。目標達成とはならなかったものの、高い満足度を得ていることから、引き続き参加者からのアンケートを踏まえ、より親しみやすいコンサートとなるよう継続して取り組みます。					

施策 14	取組 3	番号 1	事務事業 文化財調査・保存事業			
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。				担当課	百年記念館
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。					
事業実施状況	・文化財の保存、利活用	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	484	0	0	
		特定財源	0	0	0	
		一般財源	484	0	0	
		指標名	-		単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	R5年度の文化財を活用した公開事業における参加者数は127人であり、前年から増加し、目標を達成しました。 十勝鉄道蒸気機関車の塗装修理等の地域貢献活動が報道を通じて市民に周知されたことにより、関心が高まったことが要因だと考えます。					

施策 14	取組 3	番号 2	事務事業 おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業			
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。				担当課	百年記念館
目標	歴史に関する講座の受講者数について117人を目指します。					
事業実施状況	・史料収集調査と成果の公表（博物館講座3回、90人／連続講座4回、70名） ・帯広市史専門委員会の開催 ・普及事業を推進するネットワークづくり	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	3,470	0	0	
		特定財源	0	0	0	
		一般財源	3,470	0	0	
		指標名	歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数。		単位	人
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	R5年度の歴史に関する講座の参加者数は160人で目標を達成しました。参加者の関心やニーズのある講座を実施したことやホームページ等の周知が効果的だったと考えます。					

事務事業評価表

施策 14	取組 3	番号 3	事務事業 埋蔵文化財調査・保存・活用事業			
目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。				担当課	百年記念館
目標	埋蔵文化財センター来館者数について184人を目指します。					
事業実施状況	・八千代A遺跡出土品の活用 ・埋蔵文化財の保護、保存 ・埋蔵文化財の調査研究、活用 ・埋蔵文化財センターの管理運営	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	3,746	0	0	
		特定財源	0	0	0	
		一般財源	3,746	0	0	
		指標名	埋蔵文化財センター来館者数		単位	人
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	R5年度の埋蔵文化財センター来館者数は287人であり、目標を達成しました。市民がより郷土の歴史への関心を深める機会を提供するため、重要文化財である出土資料を活用した教育普及事業に継続して取り組んだことが要因だと考えます。					

施策 14	取組 3	番号 再	事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>			
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。				担当課	百年記念館
目標	-					
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	-	-	-	
		特定財源	-	-	-	
		一般財源	-	-	-	
		指標名	-		単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-					

施策 14	取組 3	番号 再	事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>			
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。				担当課	百年記念館
目標	-					
事業実施状況	・帯広カムイトウウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
		事業費	-	-	-	
		特定財源	-	-	-	
		一般財源	-	-	-	
		指標名	-		単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値
評価検証	-					

事務事業評価表

施策	14	取組	0	番号	1	事務事業 文化振興事業								
目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。					担当課		生涯学習文化課						
目標	-													
事業実施状況	・文化振興に関する事務 ・ふるさと文化基金の管理					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費	19,514		0		0			
						特定財源	19,378		0		0			
						一般財源	136		0		0			
	指標名					-					単位			
	基準値					R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 15 取組 1 番号 1 事務事業 学校開放事業									
目的	小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。					担当課	スポーツ課		
目標	市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について151,822人を目指します。								
事業実施状況	・小中学校の体育館等の地域への開放 (265団体、延べ168,326人利用)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	2,020	0	0	
					特定財源	3,147	0	0	
					一般財源	△1,127	0	0	
	指標名		学校開放事業利用者数			単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	87,860		105,432 168,326		126,518		151,822		
評価検証	R5年度の学校開放事業利用者数は168,326人であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、人数等の活動制限を解除したことが要因と考えます。								

施策 15 取組 1 番号 2 事務事業 地域スポーツ振興事業										
目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。					担当課	スポーツ課			
目標	スポーツ教室開催数について37回を目指します。									
事業実施状況	・ 総合型地域スポーツクラブへの支援 ・ 地域ごとのスポーツ推進委員の配置（推進員数49人） ・ 各種スポーツ教室の開催（56回、延べ1,619人参加） ・ スポーツ大会の開催 ・ パークゴルフ場の環境維持 ・ フードバレーとかちマラソンの開催（参加人数4,735人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	31,797	0	0		
					特定財源	14,400	0	0		
					一般財源	17,397	0	0		
					指標名	スポーツ教室開催数			単位	回
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	22			26 56		31		37		
評価検証	R5年度のスポーツ教室開催数は56回であり、目標を達成しました。 各スポーツ推進委員がより多くの競技のスポーツ教室を開催できるように、誰もが気軽に楽しめる「ニュースポーツ」の研修を実施したことが効果的だったと考えます。									

施策 15 取組 1 番号 3 事務事業 社会体育施設管理運営事業											
目的	社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。						担当課	スポーツ課			
目標	-										
事業実施状況	・社会体育施設の管理運営					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	1,467,613	0		0	
						特定財源	35,389	0		0	
						一般財源	1,432,224	0		0	
	指標名					-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 15 取組 1 番号 4 事務事業 社会体育施設整備事業											
目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	スポーツ課				
目標	-										
事業実施状況	・施設の改修、修繕				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	287,283	0		0		
					特定財源	267,600	0		0		
					一般財源	19,683	0		0		
					指標名	-				単位	
					基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
							実績値		実績値		実績値
評価検証	-										

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 健康づくり推進事業<再掲1-1-1>												
目的		健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。						担当課		健康推進課		
目標		-										
事業実施状況	・健康マイレージの推進(参加者数延4,458人)				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	-		-		-		
					特定財源	-		-		-		
					一般財源	-		-		-		
	指標名				-						単位	
	基準値				R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
評価検証	-											

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>												
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。							担当課		企画総務課		
目標	-											
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		-		-		-				
		特定財源		-		-		-				
		一般財源		-		-		-				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 15 取組 2 番号 1 事務事業 スケート競技振興事業										
目的	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。					担当課	スポーツ課			
目標	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について2,130人を目指します。									
事業実施状況	・スケート競技の裾野拡大や競技力向上を図る「ほっとドリームプロジェクト」の推進 ・競技者育成事業（延べ403名） ・地域応援体制確立事業（延べ1,518名） ・裾野拡大事業（延べ733名）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,303		0		0		0	
		特定財源	505		0		0		0	
		一般財源	1,798		0		0		0	
		指標名	ほっとドリームプロジェクト事業参加者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,840		1,932 2,654		2,029		2,130		
評価検証	R5年度のほっとドリームプロジェクト事業の参加者数は2,654人であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、屋内スケート場でのスピードスケート授業を再開した小学校の増加が要因であると考えます。									

施策 15 取組 2 番号 2 事務事業 団体・人材育成事業										
目的	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通し、人材の育成を図ります。					担当課	スポーツ課			
目標	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。									
事業実施状況	・スポーツ少年団への支援（少年団数62団体、登録者数1,218人） ・スポーツ少年団指導者育成への支援（指導者数278人） ・各種交流大会等の開催 ・スポーツ推進委員の育成 ・帯広市スポーツ協会への支援 ・全国・全道大会等への派遣支援（187件、713人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	13,149		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	13,149		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度のスポーツ少年団の加入割合は15.1%（前年比1.4ポイント減）であり、目標を達成しませんでした。 指導者不足やスポーツ、習い事の多様化などが要因と考えます。 今後、指導者の確保や指導者の育成を目的とした研修会の開催などのほか、児童生徒や保護者に関心を持ってもらうきっかけづくりとして、気軽に参加できる教室の開催などに取り組んでいくことが必要と考えます。									

施策 15 取組 2 番号 3 事務事業 スポーツ振興推進事業												
目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。					担当課	スポーツ課					
目標	-											
事業実施状況	・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施（スポーツ賞 成績部門・個人2名 団体1組、スポーツ奨励賞 個人6名 団体3組） ・スポーツ振興に関する事務 ・スポーツ推進審議会の開催 ・スポーツ振興基金の管理					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	192,729	0	0			
						特定財源	185,792	0	0			
						一般財源	6,937	0	0			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 15 取組 3 番号 1 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業										
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。					担当課	スポーツ課			
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について8,561人を目指します。									
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援（30大会への支援） ・合宿および大会の誘致（宿泊団体数413団体、宿泊者数7,657人） ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致 ・全国高等学校総合体育大会北海道大会への支援		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	44,986		0		0		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	44,986		0		0		
			指標名	大会・合宿で訪れた人数					単位	人
	基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		4,954	5,945 7,657		7,134		8,561			
評価検証	R5年度の大会・合宿により帯広市を訪れた人数は7,657人であり、目標を達成しました。 全国高等学校総合体育大会、スピードスケートワールドカップの開催や、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴う合宿団体の増加が要因であると考えます。									

事務事業評価表

施策 16 取組 1 番号 1 事務事業 再生可能エネルギー導入促進事業																		
目的		太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの有効活用を図ります。				担当課		環境課										
目標		新エネルギー機器の導入数の増加を目指します。																
事業実施状況	・新エネルギー機器の導入促進 （太陽光発電システム、蓄電池120件、木質ペレットストーブ5件、エコジョーズ（潜熱回収型ガス給湯暖房機）、ガスエンジンコージェネレーションシステム（ガスによる発電発熱利用システム）127件、エコキュート（C02冷媒ヒートポンプ給湯器）120件、太陽光発電システム貸付6件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		88,114		0		0							
					特定財源		68,137		0		0							
					一般財源		19,977		0		0							
					指標名		-				単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、市の補助事業をホームページや広報紙で周知し、新エネルギー機器の導入が進み、目標を達成しました。																	

施策 16 取組 1 番号 2 事務事業 環境意識向上対策事業									
目的	学校などと連携した環境教育などを進め、市民の環境に対する意識の向上を図ります。					担当課	環境課		
目標	環境に対する市民の意識向上を図る出前環境教室の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・帯広市環境白書の作成、公表 ・ホームページ等による環境情報の提供 ・環境にやさしい活動実践校の取り組み支援（活動実践校：市内25小学校、13中学校、1高校、1義務教育学校） ・出前環境教室の実施（46回 1,917人） ・環境パネル展の開催 ・環境学習会（1回 5名参加）、環境交流会の開催（1,104人来場） ・省エネ啓発チラシの全戸配布（71,000部配布） ・COOL CHOICEの推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	828	0	0	
					特定財源	516	0	0	
					一般財源	312	0	0	
					指標名 -			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、ホームページや市民全戸へのチラシ配布などで周知し、前年より出前環境教室の参加者数が増加しており、目標を達成しました。								

施策 16 取組 1 番号 3 事務事業 省エネルギー活動推進事業										
目的	行政における省エネルギーへの率先した取り組みや市民、企業への普及啓発などにより、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課			
目標	廃食用油の家庭からの回収量について78,917ℓを目指します。									
事業実施状況	・公共施設の省エネ化 ・廃食用油のリサイクル推進 (廃食用油の回収、バイオディーゼル燃料の公用車等での利用) ・電気自動車などエコカーの普及啓発 ・ノーカーデーの実施(延参加人数6,813人、距離数31,018km、CO2削減量4,532kg) ・家庭における省エネの促進		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費		77		0	0		
			特定財源		0		0	0		
			一般財源		77		0	0		
			指標名	家庭用廃食用油の回収量				単位	ℓ	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		72,424		78,917 63,164		78,917	78,917			
評価検証	R5年度の家庭用廃食用油の回収量は63,164ℓであり、目標を達成できませんでした。食品価格の高騰により、家庭における食用油の使用量の減少などが主な要因と推測します。今後も目標回収量の達成に向け、ホームページや広報を活用し、市民に廃食用油回収の意義について周知啓発を行っていく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 16 取組 1 番号 4 事務事業 エコタウン構想推進事業												
目的		リサイクル関連施設等の集積など、エコタウン構想を推進し、環境負荷低減・温室効果ガス削減を図ります。						担当課		中島地区振興課		
目標		-										
事業実施状況	・土地利用に向けた地域、関係機関等との調整 ・環境関連企業の立地促進 ・中島緑地用地の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		809		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		809		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

施策 16 取組 1 番号 再 事務事業 フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>2													
目的		十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。						担当課		経済企画課			
目標		-											
事業実施状況	・バイオマス産業都市構想の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		-		-		-		
					特定財源		-		-		-		
					一般財源		-		-		-		
					指標名		-						単位
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

施策 16 取組 2 番号 1 事務事業 排出指導事業														
目的		排出マナーの周知や指導などにより、ごみの適正排出を促進します。				担当課		清掃事業課						
目標		ごみの適正排出に関する問い合わせ・苦情件数について22,384件以下を目指します。												
事業実施状況	・清掃指導員の巡回パトロールの実施 ・排出マナーの周知・適正排出指導 ・ごみの減量化・資源化の周知・指導 ・ごみステーションのごみ飛散防止（カラス等への対策） ・身体障害などによりごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集事業）の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		10,230		0		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		10,230		0		0			
					指標名		問い合わせ・苦情件数				単位		件	
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
		24,941		24,058 23,040		23,206		22,384						
評価検証		R5年度のごみに関する問い合わせ・苦情件数（指導件数）は23,040件であり、目標を達成しました。SNSを活用した排出方法の周知や、分別パンフレット・指導チラシの配布などにより、排出ルールが市民に浸透し、適正排出に関する問い合わせ・苦情件数が減少したことが要因であると考えます。												

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 2 事務事業 不法投棄対策事業									
目的	夜間パトロールなどの実施により、ごみの不法投棄を防止します。					担当課	清掃事業課		
目標	ごみの不法投棄件数について24件以下を目指します。								
事業実施状況	・ 不法投棄防止の意識啓発 ・ 夜間パトロールの実施				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	4,449	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	4,449	0	0	
	指標名		不法投棄件数				単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	47		24 27		24		24		
評価検証	R 5年度の不法投棄件数は27件で、目標を達成できませんでした。特定廃家電の不法投棄が27件中25件を占めていることから、今後は、特定廃家電の適正処理についてパンフレットやチラシ配布を通して意識啓発に努めていくことが必要と考えます。								

施策 16 取組 2 番号 3 事務事業 資源回収推進事業										
目的		町内会等の資源集団回収・資源回収事業者への支援により、地域の自主的なリサイクル活動を進め、再資源化やごみの減量化を促進します。				担当課		清掃事業課		
目標		町内会等における資源集団回収量について5,669tを目指します。								
事業実施状況	・ 資源集団回収の奨励 ・ 資源回収事業者への支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		38,767		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		38,767		0		0	
	指標名		資源集団回収量					単位		t
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	5,669		5,669		5,669		5,669			
評価検証			4,749							
	R 5年度の資源集団回収量は4,749tであり、目標を達成しませんでした。回収される資源の軽量化に加え、資源集団回収を実施する団体数が減少傾向であることや団体規模（参加人数）の縮小化により回収量が減少していることが要因と考えられます。今後も効果的な周知を図りながら地域の自主的なリサイクル活動を支援していくことが必要と考えます。									

施策 16 取組 2 番号 4 事務事業 リサイクル推進事業									
目的		ごみの分別収集を進め、再資源化を促進します。				担当課		清掃事業課	
目標		資源ごみの排出量について8,462tを目指します。							
事業実施状況	・ 廃棄物減量等推進審議会の開催 ・ 資源ごみの収集・運搬 ・ 資源の収集車両の維持管理 ・ 小型家電リサイクル事業の実施		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	251,370	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	251,370	0	0			
	指標名		資源ごみ排出量			単位	t		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	7,980		8,138 7,781		8,298		8,462		
評価検証	R 5年度の資源ごみ排出量は7,781tであり、目標を達成しませんでした。町内会等の資源集団回収ではなくSの日にごみを排出する市民が増えてきているものの、容器・包装等の軽量化や紙媒体のデジタル化などの企業側のリデュースの取り組みが進んでいることなどが要因と考えられます。今後も広報紙やごみ懇談会等を通じて、資源化の促進について効果的に周知を図る必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 5 事務事業 ごみ発生抑制・再使用促進事業											
目的			市民への意識啓発などにより、ごみの発生抑制及び再使用を促進します。			担当課		清掃事業課			
目標			ごみの発生抑制や資源の再使用に対する意識向上を図る出前講座の参加者数について1,679人を目指します。								
事業実施状況	・生ごみ減量の促進 （「デイスボーザ」の周知、生ごみ堆肥化容器（44件）・電動生ごみ処理機（31件）の購入支援、ダンボールコンポストのPR） ・ごみ発生抑制の周知 （「ごみユニティメール」の発行（2回）、環境学習支援事業の実施（20校）ごみ懇談会の開催（6回）、エコエコ紙芝居の開催（2回）、簡易包装のPR、マイバッグ持参運動の推進） ・リサイクルイベント（リサイクル広場）の開催（2回） ・収集曜日区域図の作成			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		2,365		0		0	
				特定財源		327		0		0	
				一般財源		2,038		0		0	
				指標名			出前講座参加者人数			単位	
	基準値			R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
						1,679				1,679	
				1,307		1,336					
	評価検証			R5年度の出前講座参加者人数は1,336人であり、目標を達成しませんでした。学校からの参加人数が減少していることが要因であると考えます。一方、ごみ懇談会の参加人数は、これまで活動を自粛していた団体の活動再開もあり、前年より増加しているため、今後は、団体への周知を増やして、実施団体や実施回数の増加につなげていく必要があると考えます。							

施策 16 取組 2 番号 6 事務事業 災害廃棄物処理事業												
目的		大規模災害発生時に、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めます。					担当課		清掃事業課			
目標		-										
事業実施状況	・災害廃棄物の処理方法に関する市民周知 ・災害廃棄物を迅速に処理するための準備 ・災害発生時の適正かつ迅速な災害廃棄物の処理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 16 取組 2 番号 7 事務事業 清掃施設管理運営事業																
目的		清掃施設を管理運営し、業務を円滑に進めます。						担当課		清掃事業課						
目標		-														
事業実施状況	・ 清掃センターの管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		11,591		0		0					
					特定財源		303		0		0					
					一般財源		11,288		0		0					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-														

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 8 事務事業 旧ごみ埋立処分場管理事業															
目的	旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。							担当課		清掃事業課					
目標	-														
事業実施状況	・旧ごみ埋立処分場の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		1,882		0		0				
					特定財源		0		0		0				
					一般財源		1,882		0		0				
					指標名 -						単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 16 取組 2 番号 9 事務事業 ごみ処理施設管理運営事業												
目的	一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。							担当課	清掃事業課			
目標	-											
事業実施状況	・ごみ処理施設の管理運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉 （くりりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	791,764		0		0		
					特定財源	0		0		0		
					一般財源	791,764		0		0		
					指標名	-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 16 取組 2 番号 10 事務事業 し尿処理施設管理運営事業										
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・し尿処理施設の管理運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	28,156		0		0			
		特定財源	1,459		0		0			
		一般財源	26,697		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 11 事務事業 ごみ収集・運搬事業										
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・ごみの収集、運搬業務 ・ごみの収集車両の維持管理		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	314,893	0	0				
			特定財源	260,850	0	0				
			一般財源	54,043	0	0				
	指標名	-					単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 12 事務事業 ごみ処理手数料収納管理事業										
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務 ・ごみ処理手数料の収納管理事務				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	129,196	0	0		
					特定財源	104,917	0	0		
					一般財源	24,279	0	0		
	指標名		-					単位		
	基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値			
			実績値		実績値		実績値			
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 13 事務事業 し尿収集・運搬事業										
目的		し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。				担当課		清掃事業課		
目標		-								
事業実施状況	・し尿、汚水の収集、運搬業務		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費		68,383	0	0			
			特定財源		19,570	0	0			
			一般財源		48,813	0	0			
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 14 事務事業 し尿処理手数料収納管理事業														
目的		し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課		清掃事業課					
目標		-												
事業実施状況	・し尿処理券の作成、販売業務 ・し尿処理手数料の収納管理業務					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		1,545		0		0		
						特定財源		0		0		0		
						一般財源		1,545		0		0		
	指標名		-								単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-													

施策 16 取組 2 番号 15 事務事業 一般廃棄物処理業関連事業																
目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。							担当課		清掃事業課						
目標	-															
事業実施状況	・一般廃棄物処理業許可事務 ・浄化槽清掃業許可事務				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		488		0		0					
					特定財源		1,376		0		0					
					一般財源		△888		0		0					
	指標名				-						単位					
	基準値				R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-															

施策 16 取組 3 番号 1 事務事業 環境監視・測定事業												
目的		環境（大気、河川、騒音、振動、悪臭）の監視・測定や対策に取り組む、生活環境の保全を図ります。				担当課		環境課				
目標		河川水質等の環境基準の達成を維持します。										
事業実施状況	・大気の実測調査の実施（各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質） ・河川の水質実測調査の実施（市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査） ・地下水の水質観測の実施（市内4箇所） ・航空機騒音の実測調査の実施（固定局2箇所、移動局4箇所） ・道路交通騒音常時監視測定（8路線 16区間） ・悪臭の実測調査（市内4事業所） ・公害苦情対応（25件） ・PCB廃棄物の処分の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		18,277		0		0	
					特定財源		45		0		0	
					一般財源		18,232		0		0	
	指標名								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	R5年度は、環境基準類型指定河川の6測定地点のうち1地点で、4回測定中1回環境基準を超過する項目（90％値）がありましたが、その他の項目は基準値内にあり、類型指定外の河川を含め概ね良好な状態を維持しており、目標を達成しました。											

事務事業評価表

施策 16 取組 3 番号 2 事務事業 自然環境保全対策事業																
目的		自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。				担当課		環境課								
目標		自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。														
事業実施状況	・自然環境保全地区の監視（監視員3名、月2回） ・移入動物問題等に関する情報提供（ホームページ、広報おびひろ、ラジオ等による情報提供） ・公共工事環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進 ・日高山脈樺裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みの推進（期成会要望、実行委員会による子ども向けプログラムの実施） ・アライグマ防除対策の実施（捕獲頭数：98頭）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
				事業費		2,762		0		0						
				特定財源		329		0		0						
				一般財源		2,433		0		0						
				指標名		-				単位						
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証		R5年度は、私有林の森林面積が減少し、前年より総面積が減少しましたが、自然環境保全地区等の自然環境は保全されており、目標を達成しました。														

施策 16 取組 3 番号 3 事務事業 環境保全連携促進事業											
目的		市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。				担当課		環境課			
目標		個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進（広報活動1回、花苗共同購入事業実施1回：26連合町内会の参加） ・清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進（登録者数3,933人） ・清掃ボランティア「グリーン・キャンパス・21」への協力、支援 ・空き地の草刈り指導（苦情受付件数85件）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		210		0		0	
				特定財源		0		0		0	
				一般財源		210		0		0	
	指標名			-					単位		
	基準値			R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
評価検証		R5年度は、ホームページや窓口で取り組みを周知したことで、エコフレンズの登録者数が増加し、目標を達成しました。									

施策 16 取組 3 番号 4 事務事業 犬等管理事業											
目的 犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。				担当課		環境課					
目標 -											
事業実施状況	・ 畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進 (新規登録：744頭、注射接種：4,874頭) ・ 犬等の適正飼育の啓発、指導（飼い主へのチラシの送付、町内会回覧による啓発、苦情等による指導件数：40件） ・ 野犬の掃とう（浮浪犬捕獲頭数：4頭）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		7,900		0		0	
				特定財源		4,915		0		0	
				一般財源		2,985		0		0	
				指標名 -					単位		
	基準値			R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策	16	取組	0	番号	1	事務事業 環境関連計画推進事業									
目的	環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。					担当課		環境課							
目標	-														
事業実施状況	・帯広市環境基本計画の推進 ・帯広市環境審議会の開催（5回） ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく事務 ・帯広市環境モデル都市行動計画の推進 ・帯広市環境基金の管理 ・帯広市エコオフィスプランの推進 ・帯広市ゼロカーボン推進計画の策定					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		34,053		0		0			
						特定財源		27,142		0		0			
						一般財源		6,911		0		0			
						指標名 -					単位				
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 17 取組 1 番号 1 事務事業 防災意識普及啓発事業									
目的	防災に関する情報提供や教育、実践的な防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課		
目標	防災訓練・講座の参加者数について6,047人を目指します。								
事業実施状況	・地域防災訓練の実施 ・冬季防災訓練の実施 ・防災講座の実施(128件) ・地域防災マネージャーの配置(1人) ・WEB版ハザードマップの維持管理				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	5,316	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	5,316	0	0	
	指標名		防災活動への参加者数				単位	人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	4,529			6,047 6,739		6,047		6,047	
評価検証	R5年度の防災活動への参加者数は6,739人であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、活動が再開されたことに加え、防災に関する意識の高まりなどにより、防災出前講座の申し込みが大幅な増となりました。								

施策 17 取組 2 番号 1 事務事業 要援護者避難支援体制整備事業											
目的	要援護者の把握を進めるとともに、地域などと協力し、避難支援体制を整備します。					担当課		危機対策課			
目標	災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の避難支援等を定める個別計画の策定完了件数について374件を目指します。										
事業実施状況	・おびひろ避難支援プランの推進（R5年度末：登録者数1,509人、策定完了件数281件、個別計画作成協議会数24） ・避難行動要支援者の条件整理				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	505		0		0	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	505		0		0	
	指標名				災害時要援護者の個別計画策定完了件数				単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	334			374 281			374			374	
評価検証	R5年度の災害時要援護者の個別計画策定完了件数は281件（新規作成6件、施設入所などでの除外29件）であり目標を達成しませんでした。 支援者となる地域（町内会）が、制度の複雑さや要援護者の支援を負担に感じ、個別計画作成協議会の設立につながらないことが要因であると考えます。 今後は、協議会だけでなく地域で広く計画策定が行えるよう、取り組みやすい制度に見直していく必要があります。										

施策 17 取組 2 番号 2 事務事業 自主防災組織育成事業									
目的	自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成を進め、地域防災力の向上を図ります。					担当課	危機対策課		
目標	自主防災組織への防災出前講座の実施率について65.0%を目指します。								
事業実施状況	・帯広市町内会連合会への支援 ・自主防災組織の育成 ・地域防災マネージャーの配置（1人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	5,364	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	5,364	0	0	
	指標名				自主防災組織への防災出前講座実施率		単位	%	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	35.1			65.0 38.4		65.0		65.0	
評価検証	R5年度の自主防災組織への防災出前講座実施率は38.4%であり、目標を達成しませんでした。 自主防災組織の主体である町内会活動自体が新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に縮小し、活動が感染症前の状態に戻っていないことが要因であると考えます。 今後は、町内会への防災出前講座の情報提供を行うなど、様々な機会を通じて講座の周知と自主防災組織の活動支援を行っていく必要があります。								

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 1 事務事業 建築物耐震化推進事業									
目的	地震による建築物の倒壊の被害や、これに起因する市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を促進します。					担当課	建築開発課		
目標	住宅の耐震化率について95.0%を目指す。								
事業実施状況	・耐震診断・改修・建替え・除却への支援及び相談体制の整備（診断 支援0件相談4件、改修 支援0件相談4件、建替え 支援0件相談0件、除却 支援2件相談3件） ・パンフレット等による情報提供及び市民向けセミナー等の開催 ・無料耐震簡易診断の実施 ・帯広市耐震改修促進計画の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	218	0	0	
					特定財源	100	0	0	
					一般財源	118	0	0	
	指標名		住宅耐震化率			単位	%		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	92.3			93.7 93.2		94.3		95.0	
	評価検証	R5年度の耐震化率は93.2%であり、目標を達成しませんでした。無料耐震簡易診断を行い住宅耐震化への理解を促進しましたが、耐震改修に要する経費の負担感などが要因で耐震化が進んでいないと考えます。引き続き、住宅相談で耐震化の重要性を説明するなど、地震防災対策に対する理解の促進を図っていく必要があります。							

施策 17 取組 3 番号 2 事務事業 地域防災推進事業												
目的	災害・緊急時の通信体制の確保や避難経路の明示など、避難所や防災拠点施設の維持管理に取り組みます。					担当課		危機対策課				
目標	災害時における市民の適切な避難行動につなげる体制を確保します。											
事業実施状況	・災害時の情報発信、連絡体制の整備及び維持管理 ・避難所機能の整備及び維持管理（非常用発電機、ジェットヒーター等） ・防災資機材等整備基準に基づく備蓄品の更新、整備 ・緊急情報一斉伝達システムの運用				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		160,860		0		0	
					特定財源		147,000		0		0	
					一般財源		13,860		0		0	
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、備蓄基準に基づく備蓄品の整備を計画通りに進め、拠点備蓄倉庫及び各指定避難所の防災備蓄倉庫、自主防災倉庫を適正に維持・管理しました。 また、指定避難所の冬季の停電対策として、非常用発電機整備を14ヶ所で開催したほか、地域防災無線や緊急情報一斉伝達システムなどの各種通信・周知手段のシステム維持管理及び操作訓練を行い、いずれも適正に作動・操作できる体制を維持しており、目標を達成しました。											

施策 17 取組 3 番号 3 事務事業 防災事業									
目的	防災関係機関との連携による防災体制の整備のための事務を行います。					担当課	危機対策課		
目標	民間企業等との防災協定の締結数の増加を目指します。								
事業実施状況	・防災会議の開催（1回） ・民間企業等との防災協定の締結（累計：84件、新規：0件） ・自衛官募集事務の実施 ・十勝地方山岳遭難防止対策協議会に係る事務対応				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	798	0	0	0
					特定財源	163	0	0	0
					一般財源	635	0	0	0
	指標名				-		単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度の民間企業等との防災協定締結数は、締結に向けた協議を行ったものの、協定内容の調整などに時間を要したため、年度内の締結には至らず0件となり、目標を達成しませんでした。今後は、引き続き協定締結に向けた調整を進めるとともに、他の民間企業等とも協定の締結に関する協議を行い、帯広市の防災力の強化を図ります。								

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 4 事務事業 国民保護計画推進事業											
目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。					担当課	危機対策課				
目標	-										
事業実施状況	・ 国民保護協議会の開催（1回） ・ 帯広市国民保護計画の推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	0	0	0		
						特定財源	0	0	0		
						一般財源	0	0	0		
						指標名	-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 17 取組 3 番号 5 事務事業 河川管理事業										
目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。						担当課	管理課、道路維持課		
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。									
事業実施状況	・ 樋門樋管の点検管理（36箇所） ・ 河川敷地の管理 ・ 河川敷地の支障木処理 ・ 河川のパトロール				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	13,816	0	0		
					特定財源	2,786	0	0		
					一般財源	11,030	0	0		
					指標名					
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	R 5 年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採を実施するなど、河川の適正管理に取り組んでおり、目標を達成しました。									

施策 17 取組 3 番号 6 事務事業 治水対策事業										
目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを 通し、治水対策を促進します。					担当課	管理課			
目標	-									
事業 実施 状況	・十勝川治水促進期会会を通じた要望活動 の実施（要望活動3回、意見交換会2回）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	140		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	140		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価 検証	-									

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>2												
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。						担当課		水道課		
目標		-										
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,262.8m ・管路近代化事業 L=8,936.1m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>													
目的		浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課				
目標		-											
事業実施状況	・ 稲田浄水場等の地震対策		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		-		-						
			特定財源		-		-						
			一般財源		-		-						
			指標名		-					単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-												

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>												
目 的		雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。						担当課		下水道課		
目 標		-										
事業実施状況		・ 公共下水道雨水管整備事業		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		-		-				
				特定財源		-		-				
				一般財源		-		-				
				指標名		-						単位
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 災害時体制強化事業<再掲20-1-4>									
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であつても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。					担当課	水道総務課ほか		
目標	-								
事業実施状況	・ 災害対策備蓄資器材等の充実 ・ 応急給水体制などの維持				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	-	-	-	-
					特定財源	-	-	-	-
					一般財源	-	-	-	-
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 18 取組 1 番号 1 事務事業 広域消防管理運営事業									
目的	管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効果的な消防体制の充実を図ります。					担当課	消防課		
目標	管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。								
事業実施状況	・とちか広域消防事務組合を通じた消防に関する事務の共同処理の推進（実施主体：とちか広域消防事務組合） ・高規格救急自動車 1 台の更新		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	1,944,066		0		0	
			特定財源	1,552		0		0	
			一般財源	1,942,514		0		0	
			指標名	-					
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R 5 年度も、管内19市町村で構成するとちか広域消防事務組合が主体となり、車両整備や緊急消防援助隊の体制強化、消防職員の教育・育成強化など消防に関する事務の共同処理を進めており、目標を達成しました。								

施策 18 取組 1 番号 2 事務事業 消防水利整備事業										
目的		消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	・消火栓の更新（20基）、移設（6基）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		40,158		0		0	
			特定財源		31,300		0		0	
			一般財源		8,858		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 18 取組 1 番号 3 事務事業 消防行政事業																
目的	消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。							担当課	消防課							
目標	-															
事業実施状況	・ 消防庁舎の維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		2,344		0		0					
					特定財源		2,344		0		0					
					一般財源		0		0		0					
					指標名						-		単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 1 事務事業 消防団活動促進事業										
目的	消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。					担当課	消防課			
目標	消防団協力事業所の累計数について18事業所を目指します。									
事業実施状況	・消防団員確保に向けた普及啓発の実施（消防団員344人、消防団協力事業所新規認定1事業所） ・教育訓練、研修会の充実（教育訓練11回、研修会4回 計759人） ・安全装備品等の整備（雨衣兼防寒衣（下衣）360着）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	54,333		0		0		0	
		特定財源	6,215		0		0		0	
		一般財源	48,118		0		0		0	
		指標名	消防団協力事業所累計数					単位	事業所	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		15	16 16		17		18			
評価検証	R5年度の消防団協力事業所累計数は16事業所であり、目標を達成しました。 消防団制度への理解促進を深めるため、ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業の情報収集を行い、説明の機会を設けたことで消防団協力事業所表示制度の理解や関心が得られました。また、市公式YouTubeチャンネルによる消防団PR動画の配信や、イベント時に消防庁が作成したPR動画を放映するなど情報発信の強化を図ってきたことが効果的であったと考えます。									

施策 18 取組 2 番号 2 事務事業 消防団詰所管理事業														
目的		消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。						担当課		消防課				
目標		-												
事業実施状況		・消防団詰所の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費		1,583		0		0				
				特定財源		0		0		0				
				一般財源		1,583		0		0				
		指標名		-							単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証		-												

施策 18													取組 2		番号 3		事務事業 消防団詰所整備事業									
目的		消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。										担当課		消防課												
目標		-																								
事業実施状況		・消防団詰所の改築等（上帯広農業センターと川西第2分団詰所の複合化）											単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
													事業費		0		0		0							
													特定財源		0		0		0							
													一般財源		0		0		0							
		指標名		-								単位														
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値															
評価検証		-																								

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 4 事務事業 消防団車両整備事業												
目的	消防団車両を更新し、消防力を充実します。								担当課		消防課	
目標	-											
事業実施状況	・消防団車両の更新（水槽付消防ポンプ自動車 1 台）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		45,451		0		0	
					特定財源		42,000		0		0	
					一般財源		3,451		0		0	
	指標名 -								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 18 取組 2 番号 5 事務事業 消防機器更新事業													
目的	消防機器を更新し、消防力を充実します。								担当課		消防課		
目標	-												
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		0		0		0					
		特定財源		0		0		0					
		一般財源		0		0		0					
		指標名 -								単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-												

施策 18 取組 2 番号 6 事務事業 消防団車両・装備管理事業												
目的	消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。						担当課	消防課				
目標	-											
事業実施状況	・消防団に係る消防車両・装備の維持管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費	2,940		0		0					
		特定財源	0		0		0					
		一般財源	2,940		0		0					
		指標名	-						単位			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 1 事務事業 交通安全教育推進事業									
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課		
目標	交通安全教室の参加者数について38,081人を目指します。								
事業実施状況	・交通安全教室の実施（274回、22,916人） ・交通安全誘導の実施（1,266回）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		16,291	0	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		16,291	0	0		
	指標名		交通安全教室の参加者数				単位	人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	30,360			38,081 22,916		38,081		38,081	
評価検証	R5年度の交通安全教室の参加者数は22,916人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の5類移行後もインフルエンザ等の流行などにより、これまで交通教室を実施していた各種イベントの開催や申込数が減少しているほか、小中学校や保育所を中心に開催している交通安全教室の参加者数も児童の減少などにより減ったことが要因と考えます。 今後は、より多くの市民の参加によって交通安全意識の向上を図るため、交通教室の周知方法や開催方法を工夫していく必要があります。								

施策 19 取組 1 番号 2 事務事業 交通安全運動推進事業									
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動などを進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。				担当課	危機対策課			
目標	高齢者向けドライビング体験会、交通安全研修会の参加者数について254人を目指します。								
事業実施状況	・交通安全街頭啓発の実施 ・交通安全研修会の開催（1回） ・交通安全体験会の開催（3回） ・交通安全市民会議の開催（2回） ・交通安全に関する広報活動の実施 ・交通安全関係団体の活動への支援		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		7,914	0	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		7,914	0	0		
			指標名		高齢者向け体験会の参加者数				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	152			254 76		254		254	
評価検証	R5年度の高齢者向けドライビング体験会、高齢者交通安全研修会の参加者数は76人であり、目標を達成しませんでした。 会場提供者の感染症対策により、少人数で開催したことが要因と考えます。 今後は、高齢ドライバーの運転技術及び適性のチェックによる交通事故の未然防止を図るため、関係機関と連携し、人数制限を行わずに実施するほか体験会などの周知や開催手法を工夫していく必要があります。								

施策 19 取組 1 番号 3 事務事業 防犯意識啓発事業										
目的	防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。				担当課		危機対策課			
目標	防犯・不審者情報にかかるLINE情報の登録者数について16,702件を目指します。									
事業実施状況	・防犯グッズ展の開催(1回) ・防犯パトロールの実施 (1,893回) ・防犯関係団体の活動への支援	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		7,632		0		0		
		特定財源		0		0		0		
		一般財源		7,632		0		0		
	指標名		防犯・不審者にかかる市公式LINE登録者数					単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	11,480			14,862 14,492			15,782			16,702
評価検証	R5年度は、窓口でLINE登録を案内するなど周知を実施したことにより、登録者数は昨年度より増加したものの14,492件であり、目標を達成しませんでした。 今後は、防犯に関わる講座や街頭啓発などを利用した周知を強化するとともに、市民の防犯意識の動向を把握しながら、防犯意識の一層の向上に向けて広報活動を行っていく必要があります。									

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 4 事務事業 交通安全施設整備事業（危機対策課）									
目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。					担当課	危機対策課		
目標	-								
事業実施状況	・信号機設置等の要望活動の実施 ・交通安全注意喚起看板の設置		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		951	0	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		951	0	0		
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 5 事務事業 交通安全施設整備事業（土木課）									
目的	学校周辺や危険箇所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。					担当課	土木課		
目標	-								
事業実施状況	・幹線道路や生活道路における歩道の整備 ・通学路などの歩道の再整備（南21丁目西甲線）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	11,374		0		0		
		特定財源	10,200		0		0		
		一般財源	1,174		0		0		
		指標名 -					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 6 事務事業 交通安全対策特別交付金対象事業									
目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・ 視線誘導標の設置（14基） ・ 区画線の設置（延長L=53.2km）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		24,565	0		0	
			特定財源		0	0		0	
			一般財源		24,565	0		0	
			指標名 -					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 7 事務事業 防犯灯整備支援事業												
目的	防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。							担当課		市民活動課		
目標	-											
事業実施状況	・町内会の防犯灯新設、更新の支援（67灯） ・町内会の防犯灯維持費用の支援（16,339灯）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		69,643		0		0	
					特定財源		5,229		0		0	
					一般財源		64,414		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 19 取組 2 番号 1 事務事業 消費者活動促進事業											
目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。					担当課	商業労働課				
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,181人を目指します。										
事業実施状況	・消費生活に関する講座、講演会の開催 (1,925人) ・消費生活展の開催 (830人) ・消費生活審議会の開催 (1回) ・消費者団体の活動支援 (314人)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	1,431		0		0			
			特定財源	0		0		0			
			一般財源	1,431		0		0			
		指標名	消費生活に関する講座等の参加者数					単位	人		
		基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		1,081		1,449 3,069			1,815			2,181	
評価検証	R5年度の消費生活に関する講座等の参加者数は3,069人であり、目標を達成しました。 高校生や高齢者など、対象者に合わせたテーマによる消費者講座の開催やイベント開催方法の見直しを行ったことによる参加者の増が要因であると考えます。										

施策 19 取組 2 番号 2 事務事業 消費者情報提供活動事業											
目的		消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。				担当課		商業労働課			
目標		食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について3,360件を目指します。									
事業実施状況	・消費生活に関する情報提供 ・小売価格調査の実施 (毎月10日、生活関連商品等32品目、36点の価格を調査)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,605		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		5,605		0		0		
			指標名		小売価格調査HP閲覧数				単位		件
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			3,360			3,360		3,360		3,360	
評価検証	R5年度の小売価格調査ホームページ閲覧数は2,892件であり、目標を達成しませんでした。小売価格調査に関する認知度が低く、周知不足が要因と考えられます。今後は、各種イベントや講座などにおける効果的な周知に取り組む必要があると考えます。										

事務事業評価表

施策 19 取組 2 番号 3 事務事業 消費生活相談支援事業										
目的	消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。					担当課	商業労働課			
目標	消費生活に関する相談機能を維持します。									
事業実施状況	・消費生活アドバイスセンターの運営 ・地域消費者講座の開催 ・消費生活相談員の資質向上 ・専門家による相談の実施 ・消費者被害防止啓発資料の作成・配布 (委託料22,033千円、相談実績：1,436件)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	24,001		0		0			
		特定財源	5,690		0		0			
		一般財源	18,311		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、消費生活アドバイスセンターの運営や相談員の研修派遣等を通じた消費生活相談を実施してきており、目標を達成しました。									

施策 19 取組 2 番号 4 事務事業 計量適正化推進事業												
目的		計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。					担当課		商業労働課			
目標		-										
事業実施状況	・検査、指導の実施（計量器定期検査：253戸745台、量目立入検査：13戸、2355個）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		4,106		0		0			
			特定財源		1,323		0		0			
			一般財源		2,783		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 1 事務事業 配水管整備事業											
目的		配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課		
目標		-									
事業実施状況	・ 配水管整備事業 L=2,262.8m ・ 管路近代化事業 L=8,936.1m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		977,163		0		0		
			特定財源		977,163		0		0		
			一般財源		0		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証	-										

施策 20 取組 1 番号 2 事務事業 浄水場等耐震化事業												
目的		浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課			
目標		-										
事業実施状況	・ 稲田浄水場等の地震対策		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		10,230		0		()			
			特定財源		10,230		0		()			
			一般財源		0		0		()			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 20 取組 1 番号 3 事務事業 浸水対策下水道事業											
目的		雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課			
目標		-									
事業実施状況	・公共下水道雨水管整備事業		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	464,173		0					
			特定財源	464,058		0					
			一般財源	115		0					
			指標名	-					単位		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 4 事務事業 災害時体制強化事業										
目的		自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。				担当課	水道総務課ほか			
目標		-								
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の充実 ・応急給水体制などの維持		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		17,399		0		0	
			特定財源		17,399		0		0	
			一般財源		0		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 20 取組 1 番号 5 事務事業 浄水場等施設整備事業											
目的		浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課		
目標		-									
事業実施状況	・稲田浄水場等の改修・設備更新 ・川西地区受水切替事業 L=2,775.3m			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		452,927		0		0	
				特定財源		452,927		0		0	
				一般財源		0		0		0	
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-									

施策 20 取組 1 番号 6 事務事業 未普及解消下水道事業										
目的	汚水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。						担当課	下水道課		
目標	-									
事業実施状況	・ 公共下水道汚水管整備事業				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費		15,420	0	0	
					特定財源		15,420	0	0	
					一般財源		0	0	0	
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	評価検証	-								

事務事業評価表

施策 20												取組 1		番号 7		事務事業 管渠長寿命化更新事業									
目的		下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。										担当課		下水道課											
目標		-																							
事業実施状況		・管渠長寿命化更新事業										単位：千円		R5年度決算額				R6年度決算額				R7年度決算額			
												事業費		170,775				0				0			
												特定財源		170,743				0				0			
												一般財源		32				0				0			
		指標名		-										単位											
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値											
評価検証		-																							

施策 20 取組 1 番号 8 事務事業 流域下水道事業													
目的	北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。							担当課	下水道課				
目標	-												
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターの施設整備 〈実施主体：北海道〉				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		70,744		0		0		
					特定財源		67,327		0		0		
					一般財源		3,417		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 20 取組 1 番号 9 事務事業 汚水処理施設統合事業												
目的		汚水の一括処理などを進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・終末処理場などの改修、設備更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		543,728		0		0			
			特定財源		543,651		0		0			
			一般財源		77		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 10 事務事業 農村下水道施設整備事業												
目的		農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・ 個別排水処理施設の整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		65,208		0		0			
			特定財源		65,208		0		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 20 取組 2 番号 1 事務事業 情報提供事業										
目的		イベントなどを通したPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。				担当課	水道総務課、下水道課			
目標		各種事業の情報を掲載している上下水道部ホームページののアクセス数について、54,568件を目指します。								
事業実施状況	・イベントによるPRや学習機会の提供 ・広報紙やホームページなどによる情報提供 ・マンホールカードの制作		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,120		0		0	
			特定財源		2,120		0		0	
			一般財源		0		0		0	
	指標名		上下水道部ホームページアクセス数（セッション数）				単位	件		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	39,031			43,644 92,717		48,801		54,568		
評価検証	R5年度のホームページのアクセス数は92,717件となり、目標を達成しました。通水70周年の記念PR動画の配信や特別展示における情報発信方法の周知が効果的であったと考えます。									

施策 20 取組 2 番号 2 事務事業 量水器整備事業														
目的		水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。					担当課		水道課					
目標		-												
事業実施状況		・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		409,874		0		0	
							特定財源		409,874		0		0	
							一般財源		0		0		0	
							指標名		-					
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 3 事務事業 利用者サービス推進事業												
目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。						担当課	水道総務課、水道課、料金課				
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。											
事業実施状況	・水道凍結注意チラシの作成・配布 ・上下水道料金収納業務等包括委託に向けた準備				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	606		0		0		
					特定財源	606		0		0		
					一般財源	0		0		0		
	指標名				-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、水道料金・下水道使用料の納付の利便性向上に向け、R6年度に実施する上下水道料金収納業務等包括委託に係る事業者の選定や円滑な業務移行のための引継ぎを実施し、目標を達成しました。											

施策 20 取組 2 番号 4 事務事業 組織力向上対策事業									
目	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。					担当課	水道総務課ほか		
目	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について各年度10人を目指します。								
目標									
事業実施状況	・研修会、講習会などへの参加				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	2,059	0	0	
					特定財源	2,059	0	0	
					一般財源	0	0	0	
	指標名 先進地等研修参加数					単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	8		10		10		10		
			14						
評価検証	R5年度の先進地域等研修会及び講習会への参加者数は14人であり、目標を達成しました。今後も質の高い上下水道のサービスの提供に向けて、職員の専門的な知識や技術の習得を進めます。								

施策 20 取組 2 番号 5 事務事業 水道料金・下水道使用料収納事業																
目的		料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。						担当課		料金課						
目標		-														
事業実施状況	・水道メーターの検針 ・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務 ・収納率向上対策の推進 ・基本料金免除に係るシステムの設定変更及び市民周知					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		280,274		0		0				
						特定財源		273,846		0		0				
						一般財源		6,428		0		0				
						指標名			-			単位				
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 6 事務事業 財政基盤強化対策事業											
目的		業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。				担当課		水道総務課ほか			
目標		上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。									
事業実施状況		・GISや各種業務システムの活用 ・終末処理場等の維持管理委託の実施 ・上下水道料金収納業務等包括委託に向けた準備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		226,732		0		0	
				特定財源		226,732		0		0	
				一般財源		0		0		0	
		指標名 -						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		R5年度は電気代等の高騰に伴うコスト増加の影響などにより、水道事業以外の事業の純損益で上下水道ビジョンの収支見通しを下回ったものの、適切な維持管理や業務の効率化を推進する中で、両会計の累積資金残高は上下水道ビジョンの収支見通し以上を確保できており、健全で安定的な経営を維持できています。									

施策 20 取組 2 番号 7 事務事業 水道施設維持管理事業											
目的		適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。					担当課		水道課		
目標		-									
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		442,474		0		0		
			特定財源		442,474		0		0		
			一般財源		0		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 20 取組 2 番号 8 事務事業 下水道施設維持管理事業										
目的		適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。					担当課		下水道課	
目標		-								
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費		735,326	0	0			
			特定財源		735,326	0	0			
			一般財源		0	0	0			
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 9 事務事業 水道事業経営管理事業												
目的	水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。							担当課	水道総務課			
目標	-											
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		3,892,581		0		0	
					特定財源		3,218,542		0		0	
					一般財源		674,039		0		0	
	指標名		-							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 20 取組 2 番号 10 事務事業 下水道事業経営管理事業														
目的		下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。						担当課		水道総務課				
目標		-												
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		5,199,541		0		0					
			特定財源		3,838,607		0		0					
			一般財源		1,360,934		0		0					
			指標名		-						単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-												

施策 20 取組 2 番号 11 事務事業 上下水道資源有効利用事業												
目的	浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。					担当課	下水道課					
目標	-											
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理 ・下水汚泥の耕地への還元 ・発生ガスの有効活用					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	32,469	0				
						特定財源	32,469	0				
						一般財源	0	0				
						指標名	-				単位	
						基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
								実績値		実績値		実績値
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 12 事務事業 下水道普及促進事業									
目的		下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。				担当課		下水道課	
目標		下水道未接続家屋の減少を目指します。							
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		7,158	0		0	
			特定財源		7,158	0		0	
			一般財源		0	0		0	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、文書指導や排水設備改造資金貸付制度の周知などにより、下水道未接続家屋は減少しており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 20 取組 2 番号 13 事務事業 水道水源水質保全事業										
目的		札内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。				担当課		水道課		
目標		-								
事業実施状況	・ 札内川上流域等の河川表流水調査 ・ 札内川上流域等の水源水質調査 ・ 水道法に基づく水質基準検査		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		46,405		0		0	
			特定財源		46,405		0		0	
			一般財源		0		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 1 事務事業 にぎわいづくり支援事業														
目的		歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。				担当課		商業労働課						
目標		中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,121人を目指します。												
事業実施状況	・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援 （歩行者通行量（6地点）5,109人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		2,550		0		0					
			特定財源		500		0		0					
			一般財源		2,050		0		0					
	指標名		イベント実施時の歩行者通行量 （6地点）					単位		人				
	基準値		R5		目標値		R6		目標値		R7		目標値	
					実績値				実績値					
		3,464		7,016		10,568		14,121						
				5,109										
評価検証	R5年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は5,109人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、回復傾向にありますが、市内中心部の大型店舗の閉店等もあり目標値を下回っている状況です。 今後も歩行者天国等への支援を通じて、中心市街地におけるにぎわい創出を促進していく必要があると考えます。													

施策 21 取組 1 番号 2 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業										
目的		市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課		商業労働課
目標		-								
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		23,131		0		0	
			特定財源		71		0		0	
			一般財源		23,060		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 3 事務事業 駅北多目的広場管理事業												
目的	駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用の促進を通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。							担当課	商業労働課			
目標	-											
事業実施状況	・ 駅北多目的広場の管理、整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		1,508		0		0	
					特定財源		610		0		0	
					一般財源		898		0		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 4 事務事業 市営駐車場管理運営事業													
目的		市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。						担当課		商業労働課			
目標		-											
事業実施状況	・市営駐車場の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		23,099		0		0				
			特定財源		23,099		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

施策 21 取組 1 番号 5 事務事業 中心市街地整備事業													
目的		市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。					担当課		商業労働課				
目標		-											
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		0		0		0					
		特定財源		0		0		0					
		一般財源		0		0		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-											

施策 21 取組 1 番号 6 事務事業 中心市街地活性化基本計画推進事業													
目的		関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。						担当課		商業労働課			
目標		-											
事業実施状況	・ 中心市街地活性化基本計画の進捗管理 ・ 中心市街地活性化協議会への運営支援 ・ 中心市街地活性化事業の推進 ・ まちなか居住及び開業の相談対応、情報提供 ・ 中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		12,718		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		12,718		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 1 事務事業 帯広の森づくり活動促進事業									
目的	帯広の森における市民の自主的な森づくり活動を促進するとともに、その活動を支援します。					担当課	みどりの課		
目標	帯広の森の育成に関わる活動者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・ 帯広の森づくり協議会の運営 ・ 帯広の森づくり活動団体の承認 ・ 帯広の森利活用事業の実施（活動者数2,948人） ・ 植生、小動物等調査の実施		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	941	0	0			
			特定財源	805	0	0			
			一般財源	136	0	0			
			指標名					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、体験機会の提供を通じた森の利活用の取り組みや、フォトコンテスト・作品展示による森の認知度向上に取り組んだことで、森の育成に関わる活動者数は増加し、目標を達成しました。								

施策 21 取組 2 番号 2 事務事業 花いっぱい推進事業										
目的	市民協働による花とみどりの環境づくりなどにより、市民の緑化意識の向上を図ります。						担当課	みどりの課		
目標	市民協働による花とみどりの環境づくりの機会の提供等により、市民の緑化意識の醸成を図ります。									
事業実施状況	・花壇コンクール事業の実施（73団体） ・フラワー通り整備事業の実施（35団体） ・花による緑化活動団体への支援（花コミュニケーションとかち、とかちオープンガーデンなど） ・市民協働のモデルガーデン事業等による庭づくりなどの推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	6,478	0	0		
					特定財源	6,034	0	0		
					一般財源	444	0	0		
					指標名	-				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、新たな参加団体の掘り起しに取り組んだことで、フラワー通り整備事業への参加団体が増加し、目標を達成しました。									

施策 21 取組 2 番号 3 事務事業 緑化推進事業										
目的	緑の基本計画に基づく緑地の保全や緑化の推進に総合的に取り組みます。					担当課	みどりの課			
目標	市民の緑化に対する意識を高めながら、適切な緑地の保全や緑化の推進に取り組めます。									
事業実施状況	・緑化審議会の開催 ・みどりの基本計画の推進 ・緑の募金活動の実施 ・おびひろマザーフォレスト事業による苗木の配付(29本) ・緑の保全地区及び保存樹木の管理・周知 ・緑化協議 ・緑化の啓発(イベント開催など) ・緑化重点地区の支援 ・みどり資源利活用の推進 ・緑化活動団体との連携・支援 ・慶事記念樹の贈呈(引換数:371本) ・帯広の森基金の管理					単位:千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	30,936	0	0	
						特定財源	29,427	0	0	
						一般財源	1,509	0	0	
						指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	評価検証	R5年度は、緑化協議や慶事記念樹の贈呈、緑化活動団体との連携・支援等に取り組んできており、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 4 事務事業 公園整備事業											
目的		公園緑地の整備により、市民のレクリエーションや憩いの場等を提供します。					担当課		みどりの課		
目標		-									
事業実施状況	・緑地の整備（中島緑地） ・公園の整備（丘の町公園） ・河川管理者などの関係機関と協議・連携		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		83,998		0		0		
			特定財源		72,681		0		0		
			一般財源		11,317		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 2 番号 5 事務事業 公園管理運営事業									
目的	草刈や樹木の剪定・遊具の安全点検など公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境の確保や多様な利活用を促進します。					担当課	みどりの課		
目標	-								
事業実施状況	・公園・緑地の維持管理 ・みどりと花のセンターの管理運営 ・公園の多様な利活用の促進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	273,822	0	0
						特定財源	3,076	0	0
						一般財源	270,746	0	0
	指標名		-				単位		
	基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
			実績値		実績値		実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 2 番号 6 事務事業 帯広の森管理運営事業										
目的		帯広の森を適切に管理し、帯広の森の育成や利活用の促進を図ります。				担当課		みどりの課		
目標		-								
事業実施状況	・帯広の森維持管理、育成管理 ・帯広の森・はぐくむの管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		57,887		0		0	
			特定財源		4,043		0		0	
			一般財源		53,844		0		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 2 番号 7 事務事業 既存公園整備事業													
目的	公園施設の改修・更新などにより、安全で快適な利用環境を維持します。						担当課		みどりの課				
目標	-												
事業実施状況	・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設（木製遊具等）の更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		194,139		0		0				
			特定財源		186,151		0		0				
			一般財源		7,988		0		0				
	指標名		-						単位				
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-												

施策 21 取組 2 番号 8 事務事業 帯広の森整備事業												
目的		運動施設等と連絡する園路などの整備を進め、散歩や森林浴など市民の多様な利活用を促進します。						担当課		みどりの課		
目標		-										
事業実施状況	・西11～12号間園路整備（実施設計）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		7,777		0		0			
			特定財源		7,388		0		0			
			一般財源		389		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 21 取組 3 番号 1 事務事業 住宅サポートシステム事業									
目的	住まいに関する情報の提供や相談業務、住宅建設費への支援などにより、良質な住宅取得を促進します。					担当課	建築開発課		
目標	相続や売却をはじめ住宅に関する様々な相談に応じる住まいのワンストップ相談窓口の利用件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・市ホームページ、リーフレットなどによる住情報の提供 ・住まいの総合相談窓口対応 ・住まいのワンストップ相談窓口の実施（実施回数16回、相談者数16名、相談員数延24名） ・良質な住宅の新築への支援		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		3,774	0	0		
			特定財源		3,560	0	0		
			一般財源		214	0	0		
			指標名		-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、住まいのワンストップ相談窓口を通した空き家に関する相談が減少し、目標を達成しませんでした。 新たに、不動産事業者と連携した空き家のマッチング事業を開始しており、今後も、良質な住宅取得の促進に向け、住まいに関する情報の提供や、市民のニーズに合わせた相談対応をしていく必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 21 取組 3 番号 2 事務事業 住まいの改修助成事業										
目的	住宅改修を促進し、住宅環境の向上を図ります。					担当課	建築開発課			
目標	市の支援による住宅の長寿命化や省エネ化の実施件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・住宅改修への助成の実施（申請件数404件、交付決定348件、助成件数342件（6件取り止め））	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	20,182		0		0		0	
		特定財源	10,132		0		0		0	
		一般財源	10,050		0		0		0	
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、物価・資材価格等の高騰により、リフォーム需要が減少したことなどから申請数が減少し、目標を達成しませんでした。 今後、ホームページ等での掲載や関連事業者への情報提供を通して制度の周知を行うとともに、より利用が進むよう制度の見直しを図っていく必要があると考えます。									

施策 21 取組 3 番号 3 事務事業 ユニバーサルデザイン住宅普及促進事業									
目的	ユニバーサルデザイン住宅に関する相談や支援により、住宅環境の向上を図ります。					担当課	建築開発課		
目標	誰もが暮らしやすい住宅についてのアドバイスを行うユニバーサルアドバイザーへの相談件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・福祉、保健医療及び建築の専門知識を有するアドバイザーによるユニバーサルデザイン住宅相談会の実施 ・ユニバーサルデザイン住宅補助金の実施（相談会12回、相談件数17件、補助件数15件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	6,258		0		0		
		特定財源	2,011		0		0		
		一般財源	4,247		0		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、物価・資材価格等の高騰により、リフォーム需要が減少したことなどから相談件数が減少し、目標を達成しませんでした。 今後、専門家への相談につながるよう、ホームページ等での掲載や関連事業者への情報提供を進めるほか、ユニバーサル住宅補助金制度の見直しを図っていく必要があると考えます。								

施策 21 取組 3 番号 4 事務事業 空家等対策事業													
目的		空家等の発生の抑制や、危険な空家等（特定空家等）の解消の促進を図ります。					担当課		建築開発課				
目標		放置すると倒壊等のおそれがある特定空家等の減少を目指します。											
事業実施状況	・水道データに基づく実態調査の実施 ・特定空家等の調査、認定及び措置 ・出前講座、リーフレットなどによる情報発信 ・ワンストップ相談窓口などによる相談対応 ・改修補助、特定空家解体補助金などの実施（相談件数39件、補助件数9件、うち改修1件、解体8件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		5,897		0		0		
					特定財源		2,500		0		0		
					一般財源		3,397		0		0		
					指標名		-						単位
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		R5年度は、空き家所有者等へのリーフレット送付や、空き家に関する相談窓口の創設などにより、相談対応が進み、空き家の除却、利活用が進んでおり目標を達成しました。											

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 1 事務事業 地域優良賃貸住宅整備事業											
目的	民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・ 地域優良賃貸住宅の供給				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	0	0	0			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	0	0	0			
	指標名	-						単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 2 事務事業 ストック総合改善事業												
目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。							担当課	住宅営繕課			
目標	-											
事業実施状況	・福祉対応や長寿命化等の個別改善（北郊団地）			単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費	43,975		0		0			
				特定財源	41,401		0		0			
				一般財源	2,574		0		0			
	指標名			-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 4 番号 3 事務事業 公営住宅整備事業														
目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課						
目標	-													
事業実施状況	・ 公営住宅の建替（大空団地4街区）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		906,084		0		0			
					特定財源		902,487		0		0			
					一般財源		3,597		0		0			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 4 事務事業 公営住宅維持修繕事業												
目的		公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。						担当課		住宅営繕課		
目標		-										
事業実施状況	・ 公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕 ・ 柏林台地区の道路境界標（石標）埋設		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		176,083		0		0			
			特定財源		612,681		0		0			
			一般財源		△436,598		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証		-										

施策 21 取組 4 番号 5 事務事業 公営住宅管理運営事業										
目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課		
目標	-									
事業実施状況	・公営住宅の管理 ・借上公営住宅の管理 ・入居事務 ・公営住宅審議会の開催 ・公営住宅使用料の賦課、徴収事務 ・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	173,120	0	0		
					特定財源	95,720	0	0		
					一般財源	77,400	0	0		
					指標名	-				
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 4 番号 6 事務事業 高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業												
目的		地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。						担当課		住宅営繕課		
目標		-										
事業実施状況	・高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		60,311		0		0			
			特定財源		25,977		0		0			
			一般財源		34,334		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値				
				実績値		実績値		実績値				
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 1 事務事業 市道除雪事業									
目的	除雪作業の実施による安全な道路通行の確保や除雪方法等の情報発信を進めます。					担当課	道路維持課		
目標	除雪に関する問い合わせ件数について1,210件以下を目指します。								
事業実施状況	・道路除雪業務 ・砂散布などの凍結路面対策の実施 ・雪捨場の管理 ・町内会が主体となり除排雪を行う「パートナーシップ除排雪」の促進 ・除雪方法等の情報発信				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	986,803	0	0	
					特定財源	85,537	0	0	
					一般財源	901,266	0	0	
					指標名	除雪に関する問い合わせ件数			単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	1,211			1,210 640	1,210		1,210		
評価検証	R5年度の除雪に関する問い合わせ件数は640件であり、目標を達成しました。 迅速な除排雪や除雪の情報発信を行ったほか、生活道路や歩道などの柔軟な除雪対応をしたことが効果的であったと考えます。								

施策 21 取組 5 番号 2 事務事業 自転車駐車対策事業										
目的	巡回・指導などにより、自転車の放置や迷惑駐車を防止します。					担当課	管理課			
目標	放置自転車および長期間駐車自転車等の減少を目指します。									
事業実施状況	・放置禁止区域、駐輪場の巡回、点検 ・放置自転車および長期間駐車自転車等に対する指導、警告、撤去		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,030		0		0	
			特定財源		11		0		0	
			一般財源		2,019		0		0	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	評価検証	R5年度は、対象区域の放置自転車等の確認に伴う指導・警告・撤去により、放置自転車や長期間駐車自転車等が0台となり、目標を達成しました。								

施策 21 取組 5 番号 3 事務事業 自転車通行空間整備事業										
目的		自転車道等の利用環境の整備を進め、自転車の利用を促進します。				担当課		都市政策課		
目標		-								
事業実施状況	・自転車通行空間の整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		70,792		0		0	
			特定財源		67,817		0		0	
			一般財源		2,975		0		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 4 事務事業 都市計画道路整備事業										
目的	都市計画道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。						担当課		土木課	
目標	-									
事業実施状況	・都市計画道路の整備（青柳通、18条通、大和通線、川西・稲田西2線線）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		800,708		0		0	
			特定財源		762,237		0		0	
			一般財源		38,471		0		0	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 21 取組 5 番号 5 事務事業 生活道路整備事業								
目的	市民に身近な生活道路の整備を進め、生活基盤の充実を図ります。				担当課	土木課		
目標	-							
事業実施状況	・生活道路の整備（西17北2・2号線、西21南2・4号線、競馬場南・西郊線、別府・空港南町西9号線、稲田町・1号線、川西・西4線線、八千代・広野西1線線、八千代・30号線、昭和・20号西線、大正・10号線、泉・以平西8線線、幸福・東5線線、幸福・24号線、幸福・29号線、泉8号・以平西10線線、西16北2・2号線、(仮)別府・南15線線、(仮)富士・24号線、(仮)大正・11号線）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
			事業費		626,478	0	0	
			特定財源		310,501	0	0	
			一般財源		315,977	0	0	
			指標名		-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	-							

施策 21 取組 5 番号 6 事務事業 橋梁長寿命化事業											
目的 目標	橋梁の点検や修繕などにより、道路網の安全性向上を図ります。					担当課		土木課			
	-										
事業 実施 状況	・橋梁の修繕（西4条橋、西3号橋、北1線橋、緑橋、中太平橋、千鳥橋、緑森大橋） ・橋梁の補修設計（西帯広駅横断歩道橋） ・大型カルバートの定期点検（弥生通アンダーパス）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		243,285		0		0	
				特定財源		230,296		0		0	
				一般財源		12,989		0		0	
				指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価 検証	-										

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 7 事務事業 道路ストック修繕事業													
目的	道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。						担当課	土木課、道路維持課					
目標	-												
事業実施状況	・道路舗装（東3号甲線・西7条北線） ・道路の路面性状調査（延長L=149.7km）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		61,204		0		0				
			特定財源		53,522		0		0				
			一般財源		7,682		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-												

施策 21 取組 5 番号 8 事務事業 道路案内標識整備事業														
目的		道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。						担当課		管理課				
目標		-												
事業実施状況	・道路案内標識の修正 ・信号機地点名標示板の設置（2枚取替）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		231		0		0					
			特定財源		0		0		0					
			一般財源		231		0		0					
			指標名		-						単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 21 取組 5 番号 9 事務事業 市道管理事業														
目的		市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。						担当課		管理課				
目標		-												
事業実施状況	・不法占用物件の撤去、道路美化 ・市道認定 ・法定外公共物等管理システムの運用 ・駅南北広場等の管理 ・長期放置自転車の処理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		36,118		0		0					
			特定財源		56,226		0		0					
			一般財源		△20,108		0		0					
			指標名		-						単位			
			基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値				
						実績値		実績値		実績値				
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 10 事務事業 道路台帳整備事業											
目的	道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。						担当課	管理課			
目標	-										
事業実施状況	・道路台帳の補正 ・道路台帳図の作成				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	4,119	0	0			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	4,119	0	0			
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策	21	取組	5	番号	11	事務事業	特殊舗装整備事業								
目的	特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。						担当課	道路維持課							
目標	-														
事業実施状況	・特殊舗装道路の改良（大通・西1条仲通 丙線外13路線）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
							事業費	199,078	0	0					
							特定財源	179,100	0	0					
							一般財源	19,978	0	0					
							指標名	-					単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-														

施策 21 取組 5 番号 12 事務事業 街路樹維持管理事業												
目的		街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。					担当課		道路維持課			
目標		-										
事業実施状況	・街路樹の維持管理 ・植樹帯の草刈		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		131,852		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		131,852		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 13 事務事業 道路照明管理事業												
目的	道路照明を適切に管理し、夜間における安全な通行の確保を図ります。						担当課		道路維持課			
目標	-											
事業実施状況	・道路照明灯の維持管理（照明灯交換119灯、安定器交換45個） ・道路照明灯の省エネルギー化（29灯）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		105,494		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		105,494		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 5 番号 14 事務事業 橋梁維持補修事業														
目的	橋梁の維持補修により、安全な通行の確保を図ります。							担当課		道路維持課				
目標	-													
事業実施状況	・ 橋梁の高欄などの簡易的修繕				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費	395		0		0				
					特定財源	0		0		0				
					一般財源	395		0		0				
					指標名	-						単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-													

施策 21 取組 5 番号 15 事務事業 道路車両センター管理運営事業																
目的		道路車両センターを適切に管理運営し、道路管理体制を保持します。						担当課		道路維持課						
目標		-														
事業実施状況	・道路車両センターの管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		4,553		0		()					
					特定財源		270		0		()					
					一般財源		4,283		0		()					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 16 事務事業 オーバーレイ事業												
目的		高級舗装道路のひび割れやわだちの補修を行い、道路機能の改善を図ります。				担当課		道路維持課				
目標		-										
事業実施状況	・オーバーレイの実施（基松東1線・別府西6号線外1路線）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		27,027		0		0			
			特定財源		24,300		0		0			
			一般財源		2,727		0		0			
			指標名 -						単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7 目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 21 取組 5 番号 17 事務事業 道路側溝整備事業											
目的		道路冠水を防止するため、雨水管や雨水桝を設置し、排水施設の整備を進めます。				担当課		道路維持課			
目標		-									
事業実施状況	・道路側溝の整備（西3・4号北1・2線間・18号線外2路線）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	24,035		0		0			
			特定財源	24,000		0		0			
			一般財源	35		0		0			
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 21 取組 5 番号 18 事務事業 道路維持車両整備事業												
目的		除雪機械などの道路維持車両を計画的に配備し、道路の維持補修や除雪の体制強化を図ります。					担当課		道路維持課			
目標		-										
事業実施状況	・道路維持車両の整備（ロータリ除雪車2台）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		72,600		0		0			
			特定財源		56,400		0		0			
			一般財源		16,200		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 19 事務事業 市道維持補修事業												
目的	パトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。						担当課	道路維持課				
目標	-											
事業実施状況	・道路パトロールの実施 ・道路の維持補修 ・道路維持車両の管理 ・ロードヒーティング、凍結防止設備の管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		209,937		0		0				
		特定財源		31		0		0				
		一般財源		209,906		0		0				
		指標名		-						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 21 取組 6 番号 1 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業										
目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。					担当課	都市政策課			
目標	あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	29,993		0		0		
			特定財源	3,825		0		0		
			一般財源	26,168		0		0		
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、前年と比較し、あいのりタクシーの利用者数は微減となったものの、あいのりバスの利用者が増加したことから、目標を達成しました。 一方で新型コロナウイルス感染症流行以前と比較して利用者数は大幅に減少していることから、今後も利用者の多くを占める高齢者を中心に意見聴取等を行うとともに、交通事業者等と連携しながら、地域の住民が利用しやすい運行形態を検討していくなど、利便性向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。									

施策 21 取組 6 番号 2 事務事業 地域公共交通活性化事業										
目的	地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。					担当課	都市政策課			
目標	市内運行路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・公共交通の利用促進（小学生等への交通環境学習の実施、バス停留所除雪対策の実施など） ・バス運行維持に対する支援 ・地域公共交通計画の推進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	182,304		0		0			
		特定財源	2,178		0		0			
		一般財源	180,126		0		0			
		指標名	-						単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進に向けた取り組みを実施したことにより、路線バス利用者が増加し、目標を達成しました。 一方で、新型コロナウイルス感染症流行以前の比較では、路線バス利用者は大幅に減少していることから、今後、事業者等と連携し、公共交通サービスの利便性向上や利用促進などの取り組みを進めていく必要があります。									

事務事業評価表

施策 21 取組 6 番号 再 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>															
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。							担当課		介護高齢福祉課					
目標	-														
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率59.6％）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		-		-		-				
					特定財源		-		-		-				
					一般財源		-		-		-				
					指標名		-				単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 21 取組 0 番号 1 事務事業 中島霊園管理運営事業												
目的	中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。						担当課	戸籍住民課				
目標	-											
事業実施状況	・ 中島霊園の維持管理 ・ 墓地区画貸出業務				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		45,112		0		0	
					特定財源		5,413		0		0	
					一般財源		39,699		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値					
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 2 事務事業 既存墓地管理運営事業												
目的		既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。						担当課		戸籍住民課		
目標		-										
事業実施状況	・ 既存墓地の維持管理 ・ 墓地区画貸出業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		13,885		0		0			
			特定財源		443		0		0			
			一般財源		13,442		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値				
				実績値		実績値		実績値				
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 3 事務事業 火葬場管理運営事業												
目的	火葬場を適切に管理運営します。							担当課	戸籍住民課			
目標	-											
事業実施状況	・火葬場の維持管理 ・火葬業務 ・施設の長寿命化				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		83,170	0				
					特定財源		37,782	0				
					一般財源		45,388	0				
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 4 事務事業 鉄道高架レリーフ維持管理事業														
目的		鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。						担当課		商業労働課				
目標		-												
事業実施状況	・ 鉄道高架レリーフの維持管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		3,212		0		0			
					特定財源		3,212		0		0			
					一般財源		0		0		0			
	指標名		-								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
評価検証		-												

施策 21 取組 0 番号 5 事務事業 都市景観形成促進事業												
目的	地区計画制度の推進や景観形成に資する建築物の表彰などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。					担当課	都市政策課					
目標	まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。											
事業実施状況	・まちづくりデザイン賞の実施 ・帯広市都市環境デザイン委員会の開催 ・帯広市都市景観形成主要建築物等担当者会議の開催					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	325	0				
						特定財源	325	0				
						一般財源	0	0				
						指標名 帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数		単位	件			
						基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
								実績値		実績値		実績値
											4	6
評価検証	R5年度のまちづくりデザイン賞の応募件数は3件であり、目標を達成しませんでした。ホームページなどによる周知のほか、関連する業界団体や建築物の所有者への案内を進めましたが、表彰制度の趣旨の理解に至らず応募につながらなかったことが要因であると考えます。今後、本制度の見直しも含めて検討を進めていく必要があると考えます。											
											3	

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 6 事務事業 都市計画制度推進事業												
目的		都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。						担当課		都市政策課		
目標		-										
事業実施状況	・都市計画に関する調査、情報収集等 ・帯広圏広域都市計画協議会の運営 ・帯広市都市計画審議会の開催 ・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進 ・都市開発基金の管理 ・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進 ・帯広少年院跡地土地利用調査事業		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		32,707		0		0			
			特定財源		426		0		0			
			一般財源		32,281		0		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 21 取組 0 番号 7 事務事業 開発行為等審査・指導事業										
目的		民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課		建築開発課	
目標		-								
事業実施状況	・開発行為等許可申請審査、指導		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		140		0		0	
			特定財源		472		0		0	
			一般財源		△332		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 0 番号 8 事務事業 民間土地区画整理指導事業											
目的		民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課		建築開発課		
目標		-									
事業実施状況	・民間土地区画整理事業への指導			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		467		0		0	
				特定財源		0		0		0	
				一般財源		467		0		0	
				指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 9 事務事業 土地取引届出事業													
目的	国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。							担当課	建築開発課				
目標	-												
事業実施状況	・土地取引届出に対する審査等				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		66		0		0		
					特定財源		58		0		0		
					一般財源		8		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 21 取組 0 番号 10 事務事業 建築物確認事業															
目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。							担当課	建築開発課						
目標	-														
事業実施状況	・建築物の確認、検査、許可等 ・既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等 ・建築相談の実施 ・建築行政に関する事務				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額							
					事業費	11,777	0	0							
					特定財源	14,832	0	0							
					一般財源	△3,055	0	0							
					指標名	-						単位			
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-														

施策 21 取組 0 番号 11 事務事業 住宅改修等貸付金事業												
目的	過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。						担当課		建築開発課			
目標	-											
事業実施状況	・貸付金の管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		154,816		0		0	
					特定財源		153,058		0		0	
					一般財源		1,758		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 1 事務事業 市民提案型協働のまちづくり支援事業									
目的	市民グループやNP0、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。					担当課	市民活動課		
目標	市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について14団体を目指します。								
事業実施状況	・市民からの提案事業への支援（応募14件、採択11件）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	1,998	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	1,998	0	0	
	指標名 支援事業の応募団体数					単位	団体		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	12			14 14		14		14	
評価検証	R5年度の応募団体は14団体となり、目標を達成しました。 今後も市民協働のまちづくりを進めるため、若い世代を含めた幅広い世代から、多様な分野での応募を促すように周知啓発を進めます。								

施策 22 取組 1 番号 2 事務事業 町内会活動等支援事業									
目的	町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。					担当課	市民活動課		
目標	身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。								
事業実施状況	・町内会活動の周知、加入促進 ・町内会のあり方検討会実施（４回） ・帯広市町内会連合会への支援 ・町内会自治活動への支援（単位町内会755件、地区連合町内会47件）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	34,808	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	34,808	0	0			
			指標名	-				単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	町内会加入率の低下や役員の高齢化、固定化などにより、町内会の活動が難しくなっている中、R5年度は帯広市町内会連合会と「町内会のあり方検討会」を実施し、今後の取り組みの方向性を整理しました。 今後は、町内会活動の継続に向けた具体策を検討し、活動継続を支援していく必要があると考えます。								

施策 22 取組 1 番号 3 事務事業 市民協働推進事業									
目的	活動相談や情報提供などにより、NP0、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。					担当課	市民活動課		
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。								
事業実施状況	・市民活動ポータルサイトの運用 ・市民活動交流センター市民活動情報室の運営（利用者数242人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	4,505	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	4,505	0	0			
			指標名					単位	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証									
	新型コロナウイルス感染症の流行以降、オンラインによる講演会や会議の実施など、新しいかたちでの活動が見られるようになり、参加しやすい環境づくりが進んでいます。 また、市民活動情報室も、市民交流や情報発信の場として一定の利用があることから、目標達成に向け進捗しています。								

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 4 事務事業 コミュニティ施設維持管理事業											
目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。							担当課	市民活動課		
目標	-										
事業実施状況	・コミュニティ施設の整備、維持管理（利用者数444,263人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	170,843	0				
					特定財源	1,009	0				
					一般財源	169,834	0				
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 健康教育事業<再掲1-2-2>												
目的		健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課		健康推進課		
目標		-										
事業実施状況	・ 集団健康教育の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 地域福祉推進事業<再掲3-1-2>											
目的		市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。					担当課		地域福祉課		
目標		-									
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-				
			特定財源		-		-				
			一般財源		-		-				
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校地域支援本部）<再掲12-4-1>												
目的		地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。					担当課		学校地域連携課			
目標		-										
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成(研修会参加者57名) ・帯広市学校・家庭・地域協議会議の運営 ・子ども学校応援地域事業の実施（3回） ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（子どもの居場所づくり）<再掲12-4-2>												
目的		放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。						担当課		学校地域連携課		
目標		-										
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ3,494名、実施回数499回） ・居場所づくりに関わるボランティアの養成参加者（23名） ・放課後子ども広場運営委員会の開催				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名							
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）＜再掲13-1-1＞2														
目的		学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課		生涯学習文化課					
目標		-												
事業実施状況	・市民大学講座の実施（45講座1,500人） ・高齢者学級の実施（1年生48人、2年生28人） ・プラザエンジョイスクールの実施（第Ⅰ期523人、第Ⅱ期529人、第Ⅲ期542人、第Ⅳ期493人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		-		-		-			
					特定財源		-		-		-			
					一般財源		-		-		-			
					指標名								単位	
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業<再掲13-2-1>																			
目的		社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。					担当課		生涯学習文化課										
目標		-																	
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育関係団体等への支援 ・学生の社会参加（24名） ・指導者登録（登録者数159名）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		-		-		-							
						特定財源		-		-		-							
						一般財源		-		-		-							
						指標名					-					単位			
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
評価検証	-																		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民文化活動促進事業<再掲14-1-2>													
目的		市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課		生涯学習文化課				
目標		-											
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数125件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者399人、展示出品者340人) ・文化芸術活動発表会の開催(1件)					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		-		-		-	
						特定財源		-		-		-	
						一般財源		-		-		-	
						指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 文化芸術鑑賞事業<再掲14-2-1>																
目的		市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。					担当課		生涯学習文化課、百年記念館							
目標		-														
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(5事業、16,116人)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		-		-						
						特定財源		-		-						
						一般財源		-		-						
						指標名				-				単位		
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業<再掲21-1-2>											
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課	商業労働課			
目標	-										
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	-	-		-		
					特定財源	-	-		-		
					一般財源	-	-		-		
					指標名	-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 22 取組 2 番号 1 事務事業 移住推進事業										
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。					担当課	観光交流課			
目標	移住に関するホームページアクセス数について21,673件を目指します。									
事業実施状況	・ 移住に関する情報収集、提供 ・ 移住に関する相談の実施（延べ137人） ・ ちょっと暮らしサポート事業の実施（3件125日間）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	554		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	554		0		0			
		指標名	移住に関するホームページアクセス数					単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		13,268		21,673 21,266		21,673		21,673		
		R5年の移住に関するホームページアクセス数は、21,266件と前年に比べて増加していますが、目標値の達成には至りませんでした。 今後は、移住支援金（テレワーク型）の周知や、移住パンフレットの掲載によるホームページの充実を図るなど、移住希望者に対する効果的な情報の発信に努めていく必要があると考えます。								
評価検証										

施策 22 取組 2 番号 2 事務事業 国内地域間交流促進事業														
目的	東京帯広会や関西帯広会等との交流や支援を通して、多様な地域間交流を進めます。					担当課	観光交流課							
目標	東京帯広会・関西帯広会への支援を通じ、帯広を応援する人材を確保するための運営体制を維持します。													
事業実施状況	・東京帯広会の活動への支援（総会・秋の集い、会報の発行） ・関西帯広会の活動への支援（総会、会報の発行） ・ふるさと訪問ツアーの受入（関西帯広会より21名） ・県人会、ふるさと会等の活動への対応（香川県人会総会・帯広清水会定期総会・帯広鹿追会式典・岐阜県人会総会・帯広中札内会に参加）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	1,418	0	0					
						特定財源	0	0	0					
						一般財源	1,418	0	0					
						指標名					-		単位	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、東京帯広会や関西帯広会をはじめとする各地での総会への参加や、関西帯広会のふるさと訪問ツアーの受入などを通じて、帯広を応援するための地域間交流を進めてきており、目標を達成しました。													

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 3 事務事業 国際姉妹・友好都市交流事業										
目的	国際姉妹・友好都市との交流に関する業務を進め、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。					担当課	観光交流課			
目標	国際姉妹・友好都市間における市民主体の交流活動を維持します。									
事業実施状況	・ 国際姉妹・友好都市交流事業 ・ 高校生派遣（スワード市 4 名、朝陽市 2 名）、受入（朝陽市 3 名） ・ 市民主体の交流活動への支援（帯広・マディソン交流協会事業） ・ 姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供 ・ 訪問団派遣交流（スワード市姉妹都市締結55周年相互派遣）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	13,107		0		
					特定財源	12,766		0		
					一般財源	341		0		
					指標名	-			単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、姉妹都市との派遣交流やスワード市との姉妹都市締結55周年記念事業を実施するなど、市民主体の継続した交流を実施してきており、目標を達成しました。									

施策 22 取組 2 番号 4 事務事業 国内姉妹都市交流事業												
目的	国内姉妹都市への派遣等により、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。					担当課	観光交流課					
目標	国内姉妹都市間における市民主体の交流活動を維持します。											
事業実施状況	・ 市民主体の交流活動促進 ・ 子ども親善訪問団派遣・受入（松崎町10名、徳島市6名、大分市6名） ・ 子どもオンライン交流（4校6クラス） ・ 姉妹都市展示コーナーなどによる情報提供 ・ 周年事業等の交流（松崎町45周年記念相互派遣、徳島市40周年派遣）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	5,912	0	0			
						特定財源	4,062	0	0			
						一般財源	1,850	0	0			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
評価検証	R5年度は、子ども親善訪問団の相互派遣の実施や姉妹都市との小学生のオンライン交流、松崎町と徳島市との姉妹都市締結周年事業を実施するなど、市民主体の継続した交流を実施してきており、目標を達成しました。											

施策 22 取組 2 番号 5 事務事業 国際交流活動促進事業										
目的	市民主体の国際交流活動を支援し、市民レベルの交流拡大を図ります。					担当課	観光交流課			
目標	国際交流ボランティアの増加を目指します。									
事業実施状況	・市民主体の国際交流活動への支援 ・国際親善交流基金の管理 ・留学生による地域活動への支援 ・国際交流ボランティアの育成（27名増加） ・国際交流団体のネットワークづくり ・国際交流団体への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	5,897		0		0			
		特定財源	5,585		0		0			
		一般財源	312		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、イベントなどで国際交流ボランティアに関する周知に取り組んだほか、関係機関と連携してボランティア向け講座を開催したことから、国際交流ボランティア登録者数は増加し、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 22 取組 2 番号 6 事務事業 国際理解推進事業										
目的	国際理解教育や在住外国人への日本文化紹介など、異なる文化・習慣等の相互理解を促進します。					担当課	観光交流課			
目標	外国人講師の派遣回数や日本文化紹介機会の増加を目指します。									
事業実施状況	・外国人講師派遣（紹介）事業の実施（派遣5回、紹介2回） ・国際交流員による小中学校訪問（81時間） ・諸外国の生活文化紹介 ・日本文化紹介事業の実施（5回） ・国際交流員による事業の企画、実施 ・通訳・翻訳業務 ・在住外国人への情報提供・相談の実施 ・多文化共生社会の推進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	18,436		0		0			
		特定財源	721		0		0			
		一般財源	17,715		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R5年度は、各種イベントにおける周知により、市民団体による外国人講師派遣の機会が増えたことや、新型コロナウイルス感染症による入国制限がなくなり、JICA研修員などの外国人に向けた日本文化紹介の機会が増えたことから、目標を達成しました。									

施策 22 取組 2 番号 7 事務事業 国際協力事業											
目的	地域の技術や特性を活かした人材の育成など、JICA北海道センター（帯広）を核に関係機関と連携し、国際協力を進めます。						担当課	観光交流課			
目標	JICA北海道センター（帯広）等との連携による研修事業などを通じ、国際協力が可能な体制を維持します。										
事業実施状況	・国際研修指導員による青年研修事業等の実施 ・国際協力関係機関との連絡調整		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,294		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		5,294		0		0		
	指標名 -							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、新型コロナウイルス感染症による移動制限がなくなり、研修員の来帯が再開されたことで、関係機関や市内企業等への訪問が行われるなど、地域が一体となった取り組みを行っており、目標達成を達成しました。										

施策 22 取組 2 番号 8 事務事業 森の交流館・十勝管理運営事業											
目的	国際交流の拠点施設である森の交流館・十勝の管理運営を通して、地域の国際化を総合的に進めます。							担当課	観光交流課		
目標	-										
事業実施状況	・森の交流館・十勝の管理運営										
	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
	事業費		23,989		0		0				
	特定財源		1,053		0		0				
	一般財源		22,936		0		0				
	指標名 -							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 22 取組 3 番号 1 事務事業 女性活躍推進事業									
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。				担当課	市民活動課			
目標	審議会等への女性の参画率について40%を目指します。								
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進 (33.9%) ・女性活躍に関する講座の開催（2回51人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,031枚） ・男女共同参画専門員の配置		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	2,834	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	2,834	0	0			
			指標名	審議会等への女性の参画率			単位	%	
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
			32.9	40.0	40.0		40.0		
		33.9							
評価検証	R5年度の各種審議会等への女性の登用率は33.9%であり、目標を達成しませんでした。委員が選出される団体の女性割合が低いことや、専門的知識を有する女性の人材確保の難しさが要因と考えます。今後も、目標値に達していない審議会等について、関係団体への働きかけや具体的な対応について協議を行っていくとともに、育児・介護休業制度や男女雇用均等法などの制度の周知啓発等を進め、審議会等への女性参画を推進します。								

施策 22 取組 3 番号 2 事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業										
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。					担当課	市民活動課			
目標	男女共同参画講座のうちDVに関する講座の参加人数について25人を目指します。									
事業実施状況	・男女共同参画講座の開催（1回25人） ・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・デートDV予防講座の開催（6回1,106人） ・女性相談員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催（4回） ・民間シェルターへの支援		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	4,162	0	0				
			特定財源	491	0	0				
			一般財源	3,671	0	0				
			指標名	DVに関する講座の参加者数					単位	人
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	23			25 25		25		25		
	評価検証	R5年度のDVに関する講座の参加者数は25人であり、目標を達成しました。 講座への参加しやすい環境づくりとして、対面とオンラインを併用した開催方法を継続してきたことが、参加者数の増加の要因と考えます。								

施策 22 取組 3 番号 3 事務事業 男女共同参画推進事業										
目的	男女平等参画に関する講演会の開催などにより、男女平等意識の向上を図ります。				担当課	市民活動課				
目標	男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数について249人を目指します。									
事業実施状況	・女と男の一行詩の実施（応募者数128人、作品数257作品） ・男女共同参画セミナーの開催（188人） ・男女共同参画講座の開催（6回202人） ・男女共同参画情報誌「カスターネット」の発行（2回各3,000部） ・とちぎラブラ女性情報コーナーでの情報提供 ・男女共同参画関係団体への支援活動 ・パートナーシップ制度の実施 ・多様な性に関する研修会（自治体職員向け）（1回68人） ・LGBT等の若者居場所づくり（VIVID!!）（3回）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	2,191	0	0					
		特定財源	1,000	0	0					
		一般財源	1,191	0	0					
		指標名	男女共同参画講座参加者数				単位	人		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		209		249		249	249			
				390						
		評価検証	R5年度の男女共同参画セミナー及び男女共同参画講座の参加者数は390人であり、目標を達成しました。 オンラインと併用した講座開催を継続してきたほか、セミナーでは話題性のある講師の選定ができたことなどで参加者数が増加しました。							

事務事業評価表

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>2														
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育てで支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課							
目標	-													
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施（818人、2,167件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数291事業所） ・出産子育て応援給付金の支給（2,285人）					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費	-		-		-			
						特定財源	-		-		-			
						一般財源	-		-		-			
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>2														
目的		労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課		商業労働課				
目標		-												
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施（41件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		-		-		-			
					特定財源		-		-		-			
					一般財源		-		-		-			
					指標名		-						単位	
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 22 取組 4 番号 1 事務事業 アイヌ民族理解促進事業										
目的	アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進など、アイヌの人たちの施策を総合的に推進します。					担当課	地域福祉課			
目標	アイヌ協会主催イベント等への参加のべ人数について1,259人を目指します。									
事業実施状況	・アイヌ生活文化展の開催(225人) ・講習会等の開催 ・帯広アイヌ協会への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	600		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	600		0		0			
		指標名	生活文化展や講習会等の参加者数				単位	人		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,082		1,259 1,231		1,259		1,259		
評価検証	R5年度の生活文化展や文化交流会等の参加者数は1,231人であり、昨年度より200人以上増加しましたが、目標を達成しませんでした。 イベントの周知時期を早めるなどの工夫を行ったことで昨年度よりも参加者が増加し、目標達成に近い参加が得られたものと考えます。 今後も、様々な手法を検討しながら、アイヌ民族の歴史・文化の理解促進を図っていくことが必要と考えます。									

事務事業評価表

施策 22 取組 4 番号 2 事務事業 アイヌの人たちの生活相談事業										
目的	生活館の管理運営や、生活相談・指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図ります。					担当課	地域福祉課			
目標	アイヌ生活相談員による生活相談体制を維持します。									
事業実施状況	・生活相談員の配置（相談件数677件） ・住宅新築資金等の貸付 ・生活館の管理運営 ・生活館の改修		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	66,747	0					
			特定財源	58,657	0					
			一般財源	8,090	0					
			指標名	生活相談件数				単位	件	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			960	989 677		989		98		
評価検証	R5年度における生活相談件数は677件となり、目標を達成しませんでした。 昨年度は、数年に一度実施される北海道アイヌ生活実態調査において、困りごとなどの聞き取りや相談対応が行われ、結果として通常の相談業務に寄せられる件数が減少したものと考えます。 今後も、相談後の状況確認を積極的に行うなど、きめ細かな相談対応に努めます。									

施策 22 取組 4 番号 3 事務事業 アイヌ子弟教育支援事業										
目的	遠隔地で就学するアイヌ子弟の教育費助成や教育相談・指導により、アイヌ子弟の教育環境の充実を図ります。					担当課	学校教育課、学校教育指導課			
目標	-									
事業実施状況	・アイヌ子弟高等教育に係る教育扶助の支給 ・教育相談員の配置	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	2,708		0					
		特定財源	0		0					
		一般財源	2,708		0					
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 22 取組 4 番号 4 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業											
目的		アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課		百年記念館		
目標		リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について18,198人を目指します。									
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		1,034		0		0			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		1,034		0		0			
		指標名		リウカの利用者数					単位		人
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		18,198		18,198		18,198		18,198			
				17,222							
評価検証	R5年度の「リウカ」利用者数は17,222人で目標を達成できませんでした。新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことで、観光・視察目的の見学者は増加したものの、インフルエンザの流行により、道内小学校のバス見学や修学旅行のキャンセルが相次いだことが要因であると考えます。今後は、アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットを駅周辺ホテルへ配布し、観光客に向けて周知するほか、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、利用促進をはかっていくことが必要と考えます。										

事務事業評価表

施策 22 取組 4 番号 5 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業										
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。					担当課	生涯学習文化課、百年記念館			
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について18,198人を目指します。									
事業実施状況	・帯広カムイトウウボボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	2,964	0	0		
					特定財源	0	0	0		
					一般財源	2,964	0	0		
	指標名		リウカの利用者数					単位	人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	18,198			18,198		18,198		18,198		
評価検証	R5年度の「リウカ」利用者数は17,222人で目標を達成できませんでした。新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことで、観光・視察目的の見学者は増加したものの、インフルエンザの流行により、道内小学校のバス見学や修学旅行のキャンセルが相次いだことが要因であると考えます。									
	今後は、アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットを駅周辺ホテルへ配布し、観光客に向けて周知するほか、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、利用促進をはかっていくことが必要と考えます。									

施策 22 取組 5 番号 1 事務事業 核兵器廃絶平和都市推進事業												
目的	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、核兵器廃絶などの平和に関する意識の向上を図ります。						担当課	市民活動課				
目標	各種平和事業の参加者数について4,392人を目指します。											
事業実施状況	・語り継ぐ核兵器廃絶、平和展の開催（827人） ・原爆パネル移動展の開催（2カ所） ・平和コンサートの開催（100人） ・平和の絵・詩の募集（181人、絵83点、詩99点） ・平和カレンダーの作成・配布（3,300部） ・語り部の会の開催（31人） ・平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への参画				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		524		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		524		0		0	
					指標名 平和啓発事業参加者数				単位	人		
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					3,020			4,392 2,189	4,392		4,392	
評価検証	R5年度の参加者は2,189人となり、目標には達しませんでした。 戦後70年以上が経ち、身近に戦争経験者がいないことなどから、自分事としての関心がなくなりつつあることが要因と考えます。 今後も引き続き、平和に対する意識の啓発に、取り組む必要があります。											

施策 22 取組 5 番号 2 事務事業 人権擁護推進事業											
目的	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和の実現をめざします。						担当課	市民活動課			
目標	-										
事業実施状況	・人権啓発活動への支援				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	120		0		0	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	120		0		0	
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業<再掲2-1-10>										
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	子育て支援課			
目標	-									
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数195件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費			-	-		-	
			特定財源			-	-		-	
			一般財源			-	-		-	
	指標名			-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 高齢者虐待防止事業<再掲4-1-5>														
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。						担当課		介護高齢福祉課					
目標	-													
事業実施状況	・ 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催（1回） ・ 高齢者虐待防止研修会の開催（1回） ・ 被虐待高齢者の保護、支援（通報件数29件、認定件数6件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		-		-		-			
					特定財源		-		-		-			
					一般財源		-		-		-			
	指標名				-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
評価検証	-													

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 障害者虐待防止事業<再掲5-1-2>											
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	障害福祉課				
目標	-										
事業実施状況	・障害者虐待防止センターの運営（通報件数 31件） ・虐待防止に関する啓発活動の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>															
目的		女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。					担当課		市民活動課						
目標		-													
事業実施状況	・男女共同参画講座の開催（1回25人） ・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・デートDV予防講座の開催（6回1,106人） ・女性相談員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催（4回） ・民間シェルターへの支援					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		-		-		-			
						特定財源		-		-		-			
						一般財源		-		-		-			
						指標名		-				単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 23 取組 1 番号 1 事務事業 広報活動事業											
目的	広報紙等の発行や、ホームページ、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、市民に行政情報を分かりやすく提供します。					担当課	広報広聴課				
目標	情報発信の満足度について61.0%を目指します。										
事業実施状況	・ 広報紙の発行、配布（月1回発行・852,000部/年・164頁/年）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
	・ 点字・声の広報の発行、配布（対象27人）				事業費	55,459	0	0			
	・ ホームページ、テレビ、ラジオ等による				特定財源	3,479	0	0			
	情報発信（ホームページアクセス数5,365,687回）				一般財源	51,980	0	0			
	・ 報道機関との連絡調整				指標名	情報発信の満足度			単位	%	
	・ 市長記者会見の実施（10回）				基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					54.2	61.0 60.2		61.0		61.0	
評価検証	R5年度の情報発信の満足度（情報発信の満足度を計る指標の市民まちづくりアンケートにおける「行政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した割合）は60.2%で、目標を達成しませんでした。広報紙やホームページ、SNS、動画、記者会見など、様々なツールを通じて積極的な情報発信を行いました。分かりやすさの点において十分でなかったことが要因であると考えます。今後は、各ツールの特徴を活かしながら、より分かりやすい表現やレイアウトなどの工夫に努め、効果的な情報発信を行っていく必要があると考えます。										

施策 23 取組 1 番号 2 事務事業 広聴活動事業										
目的	様々な機会を通した市民との対話や、市長への手紙やパブリックコメントの制度の実施などにより、施策に関する市民意見を把握します。					担当課	広報広聴課			
目標	市民対話推進事業参加者の満足度について92.1%を目指します。									
事業実施状況	・ 市民との対話事業の実施（4回18人参加） ・ 市政講座の実施（37件1,903人参加、※申込み時点） ・ 市長への手紙の実施（240件） ・ 要望書等の受理（591件） ・ パブリックコメントの実施（9案件53件の意見）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	4,841		0		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	4,841		0		0			
		指標名	市民対話推進事業参加者の満足度				単位	%		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		92.1		92.1 94.1		92.1		92.1		
評価検証	R5年度の市民対話推進事業の参加者満足度（実施後のアンケートにて「参加して良かった」と回答した割合）は94.1%であり、目標を達成しました。少人数での意見交換を行ったことで、参加者の満足度が高い結果となりました。今後も、市民の関心の高いテーマを取り上げ、場所や形式など、より対話しやすい環境を整えながら、事業を進めていく必要があると考えます。									

施策 23 取組 1 番号 3 事務事業 まちづくり基本条例推進事業												
目的		まちづくり基本条例の普及・啓発や条例に基づく取り組みを進め、市民協働による自主・自立のまちづくりを進めます。						担当課		企画課		
目標		-										
事業実施状況	・ 市民への普及・啓発 ・ 条例に基づく取り組みの推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 23 取組 1 番号 4 事務事業 情報公開・提供推進事業												
目的		帯広市情報公開条例に基づき、適切に情報公開を進めるとともに、情報室などにおいて、市民に行政情報を幅広く提供します。						担当課		総務部総務課		
目標		-										
事業実施状況	・ 情報室における情報提供 ・ 公文書開示請求への対応		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		78		0		0			
			特定財源		14		0		0			
			一般財源		64		0		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 1 事務事業 おびひろ応援寄附金推進事業												
目的	おびひろ応援寄附金に関し、返礼品の充実や地域の魅力発信を行うとともに、寄附金の受納に関する事務の適正な執行に努めます。					担当課	観光交流課、総務部総務課					
目標	おびひろ応援寄附金額について2,226,400千円を目指します。											
事業実施状況	・ おびひろ応援寄附金に関する返礼品の充実、情報発信 ・ おびひろ応援寄附金の受納に関する事務	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		774,527		0		0				
		特定財源		746,772		0		0				
		一般財源		27,755		0		0				
		指標名		寄附金額				単位	千円			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		1,373,726			1,800,060 1,351,457			2,013,230			2,226,400	
評価検証	R5年度のおびひろ応援寄附金は1,351,457千円であり、目標を達成しませんでした。前年度と比較して大口寄附が減少したことや国の制度変更に基づく返礼割合の見直しに伴いポータルサイトを一定期間停止したことなどが要因と考えます。引き続き、返礼品取扱事業者の増加や返礼品の充実等をはかり、寄附金額の増額を目指します。											

施策 23 取組 2 番号 2 事務事業 自主財源確保対策事業												
目的		新たな自主財源を検討するとともに、自主財源の確保・拡大を図ります。					担当課		財政課			
目標		自主財源の確保に向けた広告媒体の拡大などを目指します。										
事業実施状況	・新たな自主財源の検討及び実施 ・自主財源の確保、拡大				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		0		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		0		0		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		R5年度は、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、新たな取組について各部と検討しており、目標達成に向けて進捗しています。										

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 3 事務事業 公有財産管理・運用事業														
目的	公有財産の取得・処分や土地・建物の管理など、公有財産の適切な管理・運用を進めます。					担当課		契約管財課						
目標	未利用・低利用地の有効活用件数について4件を目指します。													
事業実施状況	・公有財産の取得、処分、貸付け ・普通財産の管理、運用（土地等売払い：7件 391,542千円、貸付け：46件 8,987千円） ・不動産鑑定評価等				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		99,348		0		0			
					特定財源		3,670		0		0			
					一般財源		95,678		0		0			
					指標名		未利用・低利用地の有効活用件数				単位		件	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			4						4				4	
					4									
評価検証	有効活用推進要領に基づき取り組みを進め、R5年度の未利用地・低利用地の有効活用件数は4件であり、目標を達成しました。													

施策 23 取組 2 番号 4 事務事業 ICT利活用推進事業										
目的	ICT等の活用により事務の改善を図り、行政サービスの向上や事務の効率化を進めます。					担当課	ICT推進課			
目標	RPAなどのICTの業務活用範囲の拡大を目指します。									
事業実施状況	・情報システム関連業務のアウトソーシングの推進 ・業務システムの運用管理 ・情報セキュリティ対策の強化 ・ICT等を活用した事務改善の推進（RPA活用により削減された作業時間3,963時間） ・社会保障、税番号制度の運用・周知 ・公共施設予約システムの運用 ・電子申請システムの運用（36,294件利用） ・デジタル活用策等の検討 ・自治体標準標準システムへの移行に向けた機能比較分析等の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	613,978		0		0			
		特定財源	171,699		0		0			
		一般財源	442,279		0		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
				実績値		実績値		実績値		
評価検証	R5年度は、行政事務の効率化に向けて、国が示す標準標準システムへ移行するため、現システムとの機能比較分析を行ったほか、RPAの業務活用範囲の拡大を進めており、目標を達成しました。									

施策 23 取組 2 番号 5 事務事業 総合計画推進事業												
目的	地域の意志と責任に基づく自主・自立のまちづくりを進めるため、総合計画を計画的に推進します。						担当課		企画課			
目標	-											
事業実施状況	・総合計画の推進 ・総合計画策定審議会の開催 ・推進計画の改訂 ・市民まちづくりアンケートの実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		1,239		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		1,239		0		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 6 事務事業 総合戦略推進事業													
目的		PDCAサイクルの考え方にに基づき、総合戦略の施策立案、評価・検証、取り組みの見直しを行い、効果的に人口対策を推進します。					担当課		企画課				
目標		-											
事業実施状況	・帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みの進捗管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		40		0		0		
					特定財源		0		0		0		
					一般財源		40		0		0		
					指標名 -						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証		-											

施策 23 取組 2 番号 7 事務事業 財政運営事業												
目的		事業の選択と集中を進め、持続可能で健全な財政運営を図ります。					担当課		財政課			
目標		-										
事業実施状況		・効果的な予算編成手法の検討 ・財政健全化判断比率の適正維持		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		0		0		0		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		0		0		0		
		指標名		-						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-										

施策 23 取組 2 番号 8 事務事業 財務管理事業										
目的		予算編成・決算調製などを通して、適正な事務執行の徹底を図ります。					担当課		財政課	
目標		-								
事業実施状況	・財務管理業務の実施 ・一部事務組合への負担金支出 ・財政調整基金の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,075,458		0		0	
			特定財源		34		0		0	
			一般財源		2,075,424		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 9 事務事業 市債等管理事業												
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。						担当課	財政課				
目標	-											
事業実施状況	・市債の発行、償還（普通会計） ・減債基金の管理 ・資金運用 ・公営企業会計へ水道料金の免除に伴う補助	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		8,062,599		0		0				
		特定財源		256,278		0		0				
		一般財源		7,806,321		0		0				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 10 事務事業 一般行政事業												
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。							担当課	総務部総務課、商業労働課			
目標	-											
事業実施状況	・ 総合案内、電話交換業務 ・ 新年交礼会、褒章・表彰業務 ・ 田本憲吾元帯広市長お別れ会 ・ 訴訟委任事務				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		49,685		0		0	
					特定財源		3,436		0		0	
					一般財源		46,249		0		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 11 事務事業 戸籍・住民基本台帳関連事業										
目的	戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。					担当課	戸籍住民課			
目標	-									
事業実施状況	・ 戸籍・住民基本台帳に関する事務 (241,846件) ・ パスポートの申請交付に関する事務 (2,334件) ・ マイナンバーカードの交付に関する事務 (20,454件) ・ 諸証明のコンビニ交付サービスの実施 (29,821件) ・ 窓口サービスのスマート化					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費		214,460	0	0
						特定財源		235,407	0	0
						一般財源		△20,947	0	0
	指標名		-			単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 12 事務事業 川西支所管理運営事業											
目的		川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。					担当課		川西支所		
目標		-									
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・川西支所の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,773		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		1,773		0		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証		-									

施策 23 取組 2 番号 13 事務事業 大正支所管理運営事業											
目的		大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。					担当課		大正支所		
目標		-									
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・大正支所の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		590		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		590		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標準値 実績値		R6	目標準値 実績値		R7	目標準値 実績値	
評価検証		-									

施策 23 取組 2 番号 14 事務事業 効率的行政運営推進事業											
目的		継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民満足度の高い効率的な行政運営を進めます。				担当課		人事課、契約管財課			
目標		-									
事業実施状況	・行財政改革の推進（日赤東保育所の民間移管、上下水道料金収納業務の包括委託先への引継、プラスチックごみ収集業務の民間委託拡充準備、RPAの活用拡大 等） ・民間委託等幅広い手法の検討・推進（他自治体の事例収集や民間企業からの情報収集等） ・事務権限の移譲への対応（1件：農地中間管理事業、関連情報の収集・庁内共有） ・指定管理者制度の運用（281施設）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		85		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		85		0		0		
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 15 事務事業 行政情報基盤運営事業											
目的	行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。						担当課	ICT推進課			
目標	-										
事業実施状況	・ 行政情報ネットワークの維持管理 ・ 情報セキュリティ対策の推進		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	83,146		0		0			
			特定財源	1,647		0		0			
			一般財源	81,499		0		0			
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-										

施策 23 取組 3 番号 1 事務事業 物品購入・工事契約事業													
目的	地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。							担当課		契約管財課			
目標	入札・契約事務の改善を進めます。												
事業実施状況	・工事の契約事務（105件うち入札103件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		288		0		0		
					特定財源		0		0		0		
					一般財源		288		0		0		
	指標名				-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	評価検証	R5年度は、建設業の労働規制適用に向け働き方改革を考慮した制度導入の取り組みを含め、公正性等の確保、雇用環境へ配慮した契約事務を進めており、目標を達成しました。											

施策 23 取組 3 番号 2 事務事業 税収入払戻事業												
目的		市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。						担当課		収納課		
目標		-										
事業実施状況	・ 市税過誤納付金の還付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		103,344		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		103,344		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 3 事務事業 収納率向上対策事業																			
目的		市税等の収納率向上対策などを進め、自主財源の確保を図ります。					担当課		収納課										
目標		-																	
事業実施状況	・ 収納率向上対策の推進 ・ 広域連携による市税等の滞納整理（実施主体：十勝圏複合事務組合） ・ 納税啓発の推進 ・ 納付環境の整備（地方税共通納税システムの運用） ・ 納税相談の実施（夜間窓口の開設、納税推進強調月間の実施） ・ 収納管理業務 ・ 滞納処分の実施					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		53, 203		0		0							
						特定財源		301, 094		0		0							
						一般財源		△247, 891		0		0							
						指標名			-			単位							
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証		-																	

施策 23 取組 3 番号 4 事務事業 諸税賦課事業												
目的		市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。					担当課		市民税課			
目標		-										
事業実施状況	・ 諸税の賦課		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		9,208		0		0			
			特定財源		12		0		0			
			一般財源		9,196		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値					
評価検証		-										

施策 23 取組 3 番号 5 事務事業 市民税賦課事業												
目的	市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。							担当課	市民税課			
目標	-											
事業実施状況	・市民税の賦課 ・電子申告システムの運用				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	41,797	0	0				
					特定財源	11	0	0				
					一般財源	41,786	0	0				
	指標名				-				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 6 事務事業 固定資産税・都市計画税賦課事業													
目的	固定資産税・都市計画税の賦課事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。							担当課		資産税課			
目標	-												
事業実施状況	・固定資産税の賦課 ・都市計画税の賦課				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		56,141		0		0		
					特定財源		1,011		0		0		
					一般財源		55,130		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 23 取組 3 番号 7 事務事業 固定資産評価審査委員会運営事業												
目的	固定資産評価審査委員会を運営し、固定資産評価に対する不服について審査します。							担当課		総務部総務課		
目標	-											
事業実施状況	・ 固定資産評価審査委員会の運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		114		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		114		0		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 8 事務事業 公平委員会運営事業												
目的	地方公務員法に基づき公平委員会を運営し、適正な人事管理を進めます。							担当課		総務部総務課		
目標	-											
事業実施状況	・公平委員会の運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		207		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		207		0		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 9 事務事業 法制事業										
目的	法令遵守の徹底など法制事務を実施し、行政事務を適正に執行します。					担当課	総務部総務課			
目標	-									
事業実施状況	・ 法制事務 ・ 行政不服審査会の運営 ・ 個人情報保護制度の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	5,832	0	0		
					特定財源	247	0	0		
					一般財源	5,585	0	0		
	指標名				-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 10 事務事業 文書管理事業												
目的		公文書の適正管理や印刷業務を効率的に行うなど、文書管理事務を進めます。					担当課		総務部総務課			
目標		-										
事業実施状況	・ 公文書等の管理 ・ 印刷業務 ・ 郵便業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		9,478		0		0			
			特定財源		10		0		0			
			一般財源		9,468		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
評価検証		-										

施策 23 取組 3 番号 11 事務事業 統計調査事業											
目的		統計調査の実施や統計データの提供などの統計調査業務を進めます。				担当課		総務部総務課			
目標		-									
事業実施状況	・各種統計調査の実施 ・統計冊子の発行		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		8,489		0		0		
			特定財源		8,062		0		0		
			一般財源		427		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標準値 実績値		R6	目標準値 実績値		R7	目標準値 実績値	
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 12 事務事業 会計事業															
目的	安全で有利な現金管理や正確な現金出納など、会計事務を適正に執行します。							担当課	会計課						
目標	-														
事業実施状況	・ 公金保護対策の基本方針に基づく現金管理 ・ 公金収納状況検査の実施	単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額					
		事業費		28,598			0			0					
		特定財源		92			0			0					
		一般財源		28,506			0			0					
		指標名		-							単位				
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
評価検証	-														

施策 23 取組 3 番号 13 事務事業 議会議員活動事業												
目的	調査研究など議員活動の円滑な推進を支えます。							担当課 議会事務局				
目標	-											
事業実施状況	・ 調査研究活動の推進に関する業務 ・ タブレット端末等の導入		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		21,094		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		21,094		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 3 番号 14 事務事業 本会議・委員会運営事業												
目的		議会活動に関する情報発信などを進め、市民にわかりやすい開かれた議会運営を支えます。						担当課		議会事務局		
目標		-										
事業実施状況	・ 議会活動等の情報提供に関する業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		16,953		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		16,953		0		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 15 事務事業 議会運営事業												
目的		議会がその役割を十分に発揮できるよう、円滑な議会運営を支えます。					担当課		議会事務局			
目標		-										
事業実施状況	・ 議会運営に関する業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		9,090		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		9,090		0		0			
	指標名		-							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 23 取組 3 番号 16 事務事業 監査事業												
目的		公正で合理的かつ効果的な行政運営の確保に資するため、監査等を実施します。					担当課		監査委員事務局			
目標		-										
事業実施状況	・ 定期監査の実施 ・ 決算審査の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		3,707		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		3,707		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

施策 23 取組 3 番号 17 事務事業 選挙管理委員会運営事業												
目的		有権者への情報提供など、選挙管理委員会に関する業務を進め、有権者の意識啓発を図ります。					担当課		選挙管理委員会事務局			
目標		-										
事業実施状況	・有権者への情報提供 ・選挙管理委員会の運営に関する業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		4,929		0		0			
			特定財源		1,713		0		0			
			一般財源		3,216		0		0			
			指標名 -							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 18 事務事業 各選挙執行事業													
目的	各選挙を公正に執行し、まちづくりの参加意識の向上を図ります。							担当課	選挙管理委員会事務局				
目標	-												
事業実施状況	・ 各選挙の執行 ・ 有権者への選挙の周知及び啓発 ・ 投票所の利便性向上				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		115,492		0		0		
					特定財源		37,912		0		0		
					一般財源		77,580		0		0		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

施策 23 取組 4 番号 1 事務事業 公共施設マネジメント推進事業												
目的	公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを進めます。						担当課		企画課			
目標	施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを図る個別施設計画の策定を進めます。											
事業実施状況	・ 公共施設マネジメントの推進 ・ 公共施設マネジメントに関する情報発信 ・ 個別施設計画の策定				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		0		0		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		0		0		0	
					指標名	-					単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R5年度は、コミュニティ施設、保健・福祉・医療施設の個別施設計画を策定し、目標を達成しました。引き続き、策定した個別施設計画等に基づき、公共施設マネジメントの取り組みを進めます。											

施策 23 取組 4 番号 2 事務事業 公共施設営繕事業															
目的	公共施設の整備に関する事務や既存施設の改築、長寿命化等の適正な工事監理を進めます。						担当課		住宅営繕課						
目標	-														
事業実施状況	・ 公共施設の整備に関する事務 ・ 既存施設の改修等に関する事務 ・ 市有施設建築保全システムの運用				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		2,820		0		0				
					特定財源		30		0		0				
					一般財源		2,790		0		0				
					指標名 -						単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 23 取組 5 番号 1 事務事業 人材育成・評価事業											
目的		職員の働く意欲と能力を高める視点から人事評価等を進め、自らの成長し能力を発揮できる職員を育成します。					担当課		人事課		
目標		-									
事業実施状況	・職員研修の実施（44項目、参加者延2,449人） ・国等への職員の派遣・受入（派遣17人、受入3人） ・人材育成基本方針に基づく取り組みの推進（職員研修・職場環境整備・人事管理） ・人材そだち評価制度の実施（評価結果を処遇に反映）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		14,952		0		0	
				特定財源		4,856		0		0	
				一般財源		10,096		0		0	
				指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 23 取組 5 番号 2 事務事業 職場環境整備事業										
目的		職員の健康管理や公務災害の未然防止など、職員が安心して働 き、能力を発揮することができる職場環境づくりを進めます。				担当課		人事課		
目標		-								
事業 実施 状況	・ 職員の健康管理（定期健康診断等受診者 数:1,480人、ストレスチェック1,107人） ・ 職員と職場の安全衛生管理（公務災害補 償、施設職場における救急薬品の整備） ・ 福利厚生の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		109,891		0		0	
			特定財源		28,670		0		0	
			一般財源		81,221		0		0	
			指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価 検証	-									

施策 23 取組 6 番号 1 事務事業 十勝圏連携推進事業											
目的		管内自治体や関係機関と連携し、十勝圏の発展に向けた取り組みを進めます。				担当課		企画課			
目標		-									
事業実施状況	・十勝圏複合事務組合の活動を通じた広域事業の推進 ・十勝圏活性化推進期成会を通じた要請活動の実施 ・帯広圏地方拠点都市地域協議会及びとかち航空宇宙産業基地誘致期成会の運営 ・国、道、管内自治体等との連携による十勝圏の振興		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,853		0		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		4,853		0		0		
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 23 取組 6 番号 2 事務事業 都市間連携推進事業												
目的		北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。						担当課		企画課		
目標		-										
事業実施状況	・北海道市長会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・北海道基地協議会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・道東六都市等による情報交換などの実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		4,126		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		4,126		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 6 番号 3 事務事業 定住自立圏構想推進事業													
目的		帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。							担当課		企画課		
目標		-											
事業実施状況	・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取り組みの実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		85		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		85		0		0				
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
評価検証		-											

施策 23 取組 6 番号 4 事務事業 東京事務所運営事業													
目的		東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供などを進めます。						担当課		東京事務所			
目標		-											
事業実施状況	・東京事務所の運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		10,140		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		10,140		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 1 事務事業 市民相談室運営事業															
目的		市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。					担当課		地域福祉課						
目標		市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。													
事業実施状況		・市民相談の実施（相談件数1,263件） ・弁護士無料法律相談の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
				事業費		6,173		0		0					
				特定財源		0		0		0					
				一般財源		6,173		0		0					
				指標名		相談件数						単位		件	
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
				1,275		1,371 1,263		1,371				1,371			
評価検証		R5年度における市民相談件数は1,263件となり、目標を達成しませんでした。 女性相談サポートラインや法テラスなどの相談先の認知度向上により、市民相談室以外の機関に相談する人が増えたことが要因と考えます。 今後も幅広い内容の相談場所は必要であることから、引き続き、市民への広報を進め、身近な相談窓口としての認知度向上を図ります。													

施策 23 取組 0 番号 2 事務事業 政策推進事業												
目的		幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。						担当課		企画課		
目標		-										
事業実施状況	・ 政策推進に関する情報収集等 ・ 重要施策の企画調整 ・ 国・道などへの要請活動の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		5,696		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		5,696		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証		-										

施策 23 取組 0 番号 3 事務事業 秘書事業												
目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。								担当課		秘書課	
目標	-											
事業実施状況	・ 秘書業務			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		11,910		0		0		
				特定財源		0		0		0		
				一般財源		11,910		0		0		
				指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 4 事務事業 市役所庁舎管理事業												
目的		計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。						担当課		総務部総務課		
目標		-										
事業実施状況	・市役所庁舎の設備等の維持管理 ・光熱水費削減の取り組み（経済的な電力確保の継続等） ・広告事業の推進 ・広告事業の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		195,573		0		0	
					特定財源		26,234		0		0	
					一般財源		169,339		0		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
評価検証	-											

施策 23 取組 0 番号 5 事務事業 公用車管理事業													
目的		公用車を効率的に管理・運行します。							担当課		総務部総務課		
目標		-											
事業実施状況	・ 公用車の管理（共用車稼働率90.7%）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		19,762		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		19,762		0		0				
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証		-											

施策 23 取組 0 番号 6 事務事業 職員任用管理事業													
目的		人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。						担当課		人事課			
目標		-											
事業実施状況	・ 職員定数の管理（R 5 . 4 . 1 時点職員数1,318人） ・ 職員採用に関する事務（〔正職員〕試験回数2回、受験者数446人、合格者数56人〔任期付〕試験回数13回、受験者数19人、合格者数9人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		2,659		0		0		
					特定財源		0		0		0		
					一般財源		2,659		0		0		
	指標名								単位				
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
評価検証	-												

令和5年度 施策・事務事業評価表

編集 帯広市政策推進部企画室企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL : 0155-65-4105 FAX : 0155-23-0151

E-mail : plan@city.obihiro.hokkaido.jp